



2023 年度

かながわ文化芸術振興計画 年次報告書（素案）

2024 年●月



目 次

I	かながわ文化芸術振興計画について	1
1	かながわ文化芸術振興計画とは	
2	かながわ文化芸術振興計画年次報告の位置付け	
3	重点施策の実施状況の概要	
II	重点施策の実施状況	
重点施策 1	地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用	5
重点施策 2	子どもや高齢者・障がい者など、あらゆる人の文化芸術活動の充実等	8
重点施策 3	国際文化交流の充実	12
重点施策 4	東京2020大会を契機とした施策	14
重点施策 5	文化芸術の振興を推進するための環境整備	17
III	基本的な施策の実施状況	
1	県民の文化芸術活動の充実	20
2	文化資源を活用した地域づくりの推進	23
3	文化芸術の振興を図るための環境整備	25
IV	施策事業の実施状況一覧	27
V	進行管理のための参考指標等	
1	総合計画「かながわグランドデザイン」における文化芸術の位置付け	53
2	県立文化施設の利用者数	57
3	文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度	59
4	県立文化施設の利用率（ホール・劇場等）	61
5	過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合	67
VI	年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）	71

I かながわ文化芸術振興計画について

1 かながわ文化芸術振興計画とは

本県では、文化芸術振興基本法（現文化芸術基本法）の趣旨に則り、文化芸術の振興についての基本理念や施策の基本となる事項を明らかにした神奈川県文化芸術振興条例（以下「条例」という。）を2008（平成20）年7月に制定し、2019（平成31）年4月に改定しました。

また、同条例に基づき、文化芸術の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、文化芸術の振興に関する基本的な計画を定めることを目的として、かながわ文化芸術振興計画を2009（平成21）年3月に策定し、その後、2014（平成26）年3月、2019（平成31）年3月及び2024（令和5年）3月に改定を行っており、現行計画は、2024（令和6）年度から2028（令和10）年度を計画期間としています。

計画においては、5年間を計画期間としており、これまでの間の文化芸術を取り巻く状況の変化とこれまでの取組の実績と課題を踏まえ、今後取り組むべき「基本的な施策」及び「重点施策」を整理しました。

2 かながわ文化芸術振興計画年次報告の位置付け

県は、かながわ文化芸術振興計画（以下「計画」という。）について、2009（平成21）年3月に策定後、2014（平成26）年3月に改定（以下「第2期計画」という。）し、2014（平成26）～2018（平成30）年度の5か年間に取り組む「重点施策」及び「基本的な施策」を掲げ、取組を進めました。

この年次報告は、2019（平成31）年3月に改定を行った前計画（計画期間：2019（令和元）年度～2023（令和5）年度。以下「第3期計画」という。）のそれぞれの施策に係る2023（令和5）年度の実施状況について県文化芸術振興審議会に報告し、御意見を踏まえまとめたものです。

このうち、重点施策については概要を3のとおり整理しました。

資料の構成は、「重点施策の実施状況」（5～19ページ）、「基本的な施策の実施状況」（20～26ページ）で整理しています。

「II 重点施策の実施状況」（5ページ）

計画の施策体系のうち、「重点施策」と位置付けている各施策の実施内容を記載しています。また、その効果、課題、今後の方向性について、記載しています。

「III 基本的な施策の実施状況」（20ページ）

計画に掲げる「基本的な施策」に位置付けられている各事業の実施状況について、その概要を記載しています。

「IV 施策事業の実施状況一覧」（27ページ）

2023（令和5）年度に実施した施策の概要を一覧にしています。

「V 進行管理のための参考指標等」（53ページ）

施設の利用者数、利用率など量的なもの、文化芸術に関する県民の意識など質的なもの両面から、それぞれ関連するデータを記載しています。

3 重点施策の実施状況の概要（詳細は5～19ページに記載しています。）

「重点施策」に位置付けた各事業の2023（令和5）年度の実施状況は次のとおりでした。

重点施策1：地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用



かながわ伝統文化こども歳時記

○県民が伝統文化の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、「カナガワリ・古典プロジェクト in 海老名・山北」などの地域の伝統文化を紹介する事業を実施した。

○各地域で継承されている伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成することを目的として「かながわ伝統文化こども歳時記」を実施した。

重点施策2：子どもや高齢者・障がい者など、あらゆる人の文化芸術活動の充実等



県営団地におけるシニア合唱

○「シニア劇団」や「シニアダンス企画」の運営、障がい者等が参加する公演等の実施など、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まですべての人が、舞台芸術に参加し楽しめる取組を行った。また、県内10か所の県営団地において、住民等を対象としたシニア合唱事業を実施し、県立音楽堂にて成果発表会を実施した。

○「ともいきアートサポート事業」を実施し、障がい者のアート作品を展示することで、創作活動の支援を図った。

○演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」では、中学校の演劇部の部員217名を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。

重点施策3：国際文化交流の充実

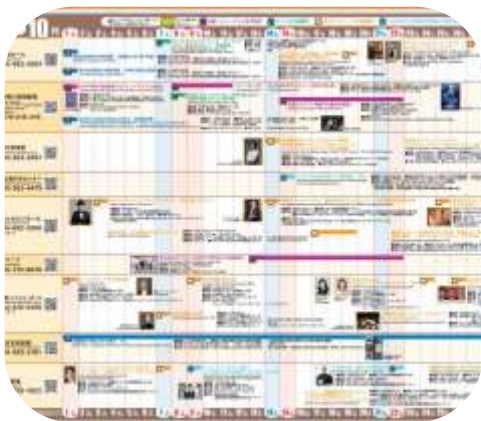


「カナガワビエンナーレ国際児童画展」表彰式

○KKAAT神奈川芸術劇場において、国内外のプロフェッショナルが交流するYPAM（横浜国際舞台芸術ミーティング）を開催し、日本の舞台芸術を国内外に向けて発信した。

○次代を担う子どもたちの夢と創造力を育み、絵画を通じてお互いの生活や文化を理解し、交流を深めるふれあいの場となることを目的として、「カナガワビエンナーレ国際児童画展」を開催した。

重点施策4：東京2020大会を契機とした施策



イベントカレンダー 9～11月号

○東京2020大会を契機として開始した「かながわ文化プログラム」認証制度により、市町村等との連携を強め、県民が文化芸術活動に参加する機運の醸成を図った。この取組をレガシーとし、文化の日を中心とした9～12月を「かながわ県民文化祭」の期間と位置付けた。

○県内の文化芸術イベント情報をカレンダー形式で掲載する情報誌「イベントカレンダー」を、日英併記で作成し、文化施設、駅、商業施設等での配布のほか、インターネット上でも掲載するなど、適時適切な文化イベント情報の収集・発信を行った。

重点施策5：文化芸術の振興を推進するための環境整備



かながわパフォーミングアーツアワード 決勝

○「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、「かながわ短編演劇アワード」を令和5年度より「かながわパフォーミングアーツアワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを開催した。

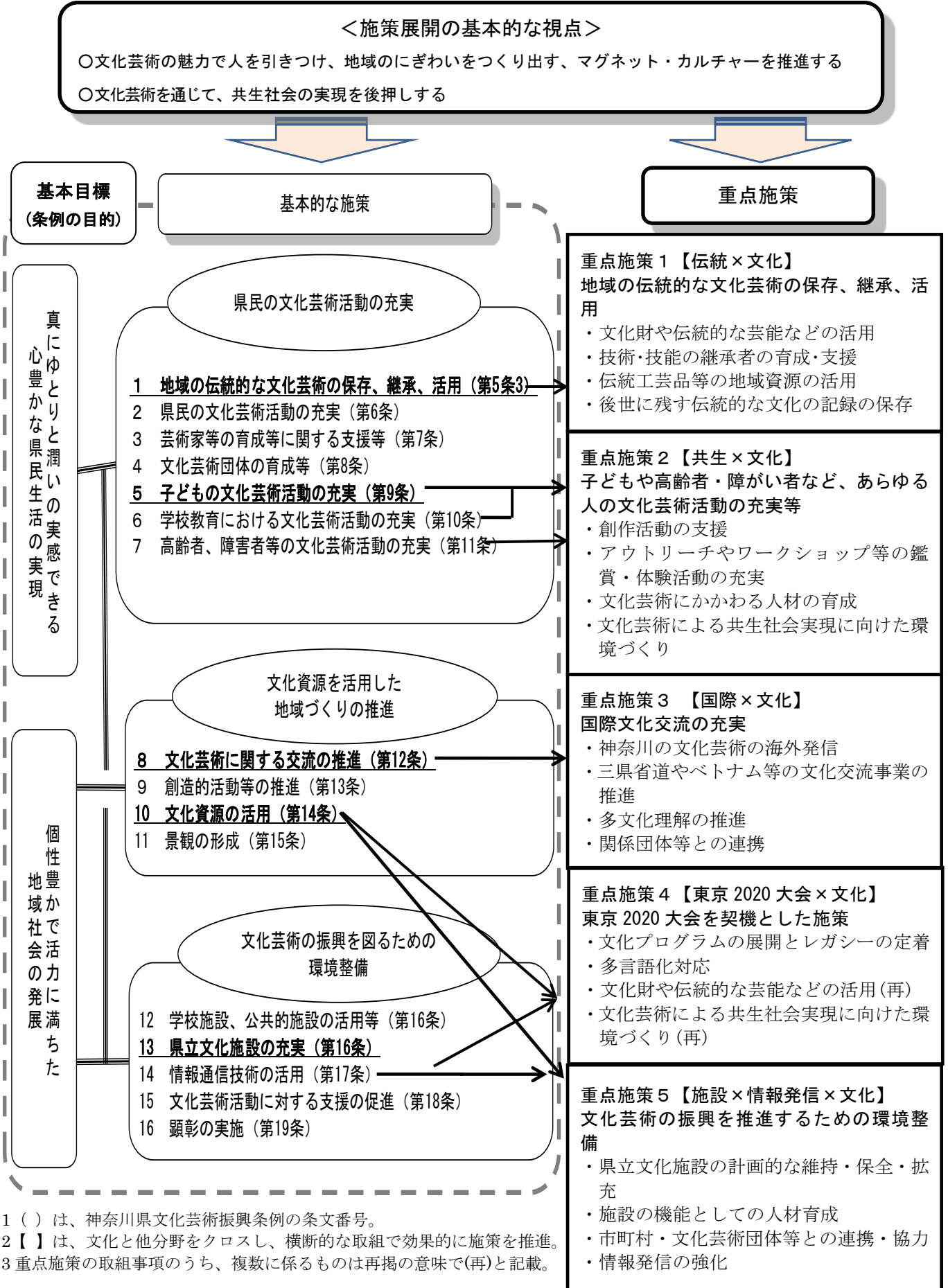
○KAAT神奈川芸術劇場や近代文学館などの県立文化施設において、施設機能の維持や来館者の安全・安心の確保のため、修繕・工事等を実施した。

令和5年度には、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、県内の文化芸術活動が活気を取り戻してきた。

新型コロナの影響によりオンラインで文化芸術を表現・鑑賞することが活発になり、これにより、新たな方法による有意義な文化芸術体験の可能性が飛躍的に広がるとともに、博物館・美術館、劇場・音楽堂等といった文化施設において公演等を鑑賞することや、建物、遺跡等の文化財に触れることといった直接的な文化芸術体験が持つ、目の前にあるリアルな体験や演者と観客、観客間の一体感の共有等の重要性が改めて確認されることとなった。

今後は、コロナ禍で大きく影響を受けた、本県の文化芸術を一層振興していくため、活動の場の提供や補助金等により、県内における文化芸術活動を支援するとともに、伝統芸能の普及振興や共生社会の実現、人材の育成を推進していく必要がある。さらに、東京2020大会の機会を捉えて実施した取組の成果を今後の事業に生かしていくため、市町村や関係団体等と引き続き連携し、年齢や障がいなどに関わらず誰もが県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しめるよう、文化芸術活動の裾野を広げる取組をオール神奈川で推進していく必要がある。

<第3期計画（計画期間：2019年度～2023年度）の施策体系図>



※1（ ）は、神奈川県文化芸術振興条例の条文番号。

※2【 】は、文化と他分野をクロスし、横断的な取組で効果的に施策を推進。

※3 重点施策の取組事項のうち、複数に係るものは再掲の意味で(再)と記載。

II 重点施策の実施状況

重点施策1 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

1 施策の内容

(1) 文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信

市町村と連携しながら、県民が伝統的な芸能の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、「カナガワリ・古典プロジェクト in 海老名・山北」を開催した。海老名市を舞台に山北のお峰入り、大谷歌舞伎などのホール公演やワークショップなど様々な企画を実施したほか、山北町ではサブ会場としてお峰入りの歴史・体験ブースの設置やハイキングツアーを行った。山北町で事前 PR 等を行い、多様な媒体による広報活動等も功を奏し海老名の公演は過去最大の人数の集客に繋げることができた。



カナガワリ・古典プロジェクト in 海老名・山北

また、「かながわ民俗芸能祭」では、地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。

これらの取組により、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を醸成した。

(2) 伝統的な芸能を支える技術・技能の継承者の育成・支援

伝統的な芸能についての理解と認識を深めるとともに、継承者の育成につながるよう、高等学校等において、伝統的な芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行う「相模人形芝居学校交流ワークショップ」を実施した。



日本舞踊に学ぶ‘和’の作法

また、子どもを対象とした伝統的な芸能の鑑賞に加え、祭礼や民話、昔遊びといった地域の伝統文化の体験プログラムを組み合わせた「かながわ伝統文化こども歳時記」では、複数回のワークショップを経て成果発表まで行うワークショップを実施することで、参加するこども達の成長や達成感を高めることができた。このほか、市町村と連携しながら、小・中学生を対象に日本舞踊等を体験できる「日本舞踊に学ぶ‘和’の作法」については実施回数を増やしてより多くの方に参加してもらった

ほか、能の歩き方や使用する楽器の体験といった「能楽ワークショップ」により、伝統的な芸能の体験機会の充実を図った。

II 重点施策の実施状況

(3) 伝統工芸品等の地域資源の活用

ものづくりに必要な設備機器等の木製品製造事業者への貸出しや、新商品の試作等のための依頼加工・製作を実施し、工芸品を主とする木製品事業者向けの支援を行った。

また、「工芸ヤングフォーラム」を実施し、木製品製造業に携わる若手工芸技術者を対象に、交流の場を提供したほか、専門家による講座を開催することで市場に受け入れられる工芸品の商品づくりを支援し、地域に根付いた工芸品産業の技術・技能を継承する人材の育成を図った。

このほか、有名宿泊施設と連携して伝統的工芸品を展示・販売し、一部の宿泊施設では箱根寄木細工制作体験を行った。

(4) 後世に残す伝統的な文化の記録保存

「菊名の飴屋踊り」をはじめとした県内に所在する「飴屋踊り、万作踊り」について、現状等の記録保存を行うことにより、県内の民俗芸能の保存・継承の基礎資料とするとともに、当該芸能の特色を明らかにする調査を実施した。

また、県が実施した伝統的な芸能に係る事業について、報告書の整理を実施し、記録として後世に残していく取組を行った。

2 施策の効果

伝統芸能や地域で受け継がれている貴重な民俗芸能を紹介する公演により、県民の理解・認識を深めることができた。

「かながわ伝統文化こども歳時記」のワークショップでは、複数回のワークショップを経て成果発表まで行う構成とすることで、参加する子どもたちの成長や達成感を高めることができ、ワークショップに参加して「大変よかった」・「よかった」が99%と、好評を得た。

また、「カナガワ リ・古典プロジェクト in 海老名・山北」のアンケート結果では、公演に「大変満足している」・「満足している」が92.7%、観覧者からは伝統芸能を気軽に楽しめる良いイベントだった、出演者からは晴れやかな機会を設けていただけて嬉しかったという声をいただき、本県ゆかりの伝統文化の魅力を伝えることができた。

3 今後の課題

人口減少、少子高齢化の影響などにより、地域において伝統的な芸能の継承者が不在になり、伝統文化が失われていくおそれがある。伝統的な芸能の担い手だけでなく、広く県民が伝統的な芸能の存在意義に対する認識を深め、守り、継承していけるよう、伝統的な芸能の発表の機会及び鑑賞・参加による実際に体験できる機会を継続して提供していくことや、伝統的な文化芸術の継承者に対する支援の充実を図ることが、引き続き必要である。

4 今後の方向性

県民をはじめ多くの人たちが県内各地域の伝統的な芸能を知る機会を持ち、価値を知って大切に継承していけるような公演・ワークショップ等の事業や、伝統的な芸能の記録を保存し、後世に伝えることを視野に入れた取組を継続して実施する。

その際、県内市町村や文化芸術団体とも連携しながら、各事業の参加者や対象地域を広げてい

II 重点施策の実施状況

くとともに、地域に根付かせ、地域住民の具体的な動きにつなげていく取組を進める。

また、次世代を担う子ども・若者が文化財や伝統的な芸能に興味を持つような企画・広報を目指し、より幅広い世代に向けて発信する取組を進める。特に、子どもに興味関心を持ってもらうため、公演事業においても、体験の機会を充実させていく。

重点施策2 子どもや高齢者・障がい者など、あらゆる人の文化芸術活動の充実等

1 施策の内容

(1) 創作活動の支援



ともいきアートサポート事業 巡回展示

全国公募による「神奈川県美術展」や、中高生を対象とした「神奈川県美術展中高生特別企画展」を開催し、平面立体・工芸・書・写真といった様々な作品発表の機会の充実を図った。また、2023年度より、巡回先として鎌倉芸術館で巡回展を行った。

また、障がい者のアート作品を展示する「ともいきアートサポート事業（常設展示）」として、青少年センター内の交流スペース、ランチ茅ヶ崎2、ランチ南部市場内カフェ、大和ハウスの住宅展示場において、通年で障がいのあるアーティストが描いた作品の常設展示を行ったほか、巡回展

示として、県庁新庁舎1階ロビー、県民ホール本館ギャラリーでの巡回展示を行った。

また、県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「マグカル開放区」を回数を増やして実施し、日本大通りの更なる活性化を図るとともに、県民の文化芸術活動を後押しした。

さらに、文化芸術オールジャンルの動画コンテスト「バーチャル開放区」では、ペイントアートやアニメーションと実写を融合させた動画など、映像だからこそ表現できる作品が生まれた。リアルで開催する「マグカル開放区」とは別の、新たな表現の場としての価値が認識され、154件の応募があり、188,600回の総再生回数を記録するなど、全国の文化芸術団体やアーティストに、音楽やダンス、大道芸など文化芸術を発表する機会や、どこでも気軽に文化芸術に触れる機会を提供した。

このほか、高齢者が行う文化芸術活動の充実を図る事業等を支援するため、「マグカル展開促進補助金」を交付した。



バーチャル開放区

(2) アウトリーチやワークショップ等の鑑賞・体験活動の充実

県内10か所の県営団地において、住民等を対象としたシニア合唱事業を展開し、文化芸術の振興とともに、共生社会の実現や、団地におけるコミュニティの活性化、未病改善など健康団地の推進に向けた取組を実施し、2,552人の方が参加した。

II 重点施策の実施状況

また、県立文化施設での子どもたちを対象とした公演として、KAAT神奈川芸術劇場における「KAATキッズプログラム」や県民ホール本館における「オープンシアター2023」神奈川近代文学館における「かなぶんキッズクラブ」などを実施し、演劇や音楽、ダンス、文学など、様々な芸術作品を体験する機会を提供した。



県民ホール本館 オープンシアター2023 (撮影 岩田 えり)

ほか、「ともいきアートサポート事業（創作×地域展示）」として、県立の特別支援学校等にアーティスト等を派遣したワークショップや、創作した作品の展示会を実施した。また、特別支援学校の児童・生徒の鑑賞及び創作の場づくりを目的とした、特別支援学校の教員等に向けた研修講義を企画、実施した。

(3) 文化芸術にかかわる人材の育成

2023年まで開催されていた「かながわ短編演劇アワード」を「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、令和5年度より「かながわパフォーミングアーツアワード」へと名称をリニューアルしてコンペティションを開催し、神奈川の舞台芸術人材の技術向上や創作活動の活性化を図った。

また、青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる「紅葉坂舞台塾」を開講しダンス、音楽、演劇等の舞台芸術のレッスン及び成果発表会を通じて、舞台上にとどまらないコミュニケーション力、表現力、社会性を持つ人材の育成を図った。

(4) 文化芸術による共生社会の実現に向けた環境づくり

年齢や障がいなどにかかわらず、すべての人が舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」において、シニア劇団やシニアダンス企画を運営し集客公演を行ったほか、障がい者等が出演する演劇の舞台公演等を実施した。

KAAT 神奈川芸術劇場主催公演「ジャズ大名」には、横須賀シニア劇団よっしゃ！等の団体と、「虹む街の果て」では、公募した多国籍の県民の方たちとともに市民参加の演劇をつくることができた。



KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『虹む街の果て』(撮影 田中 亜紀)

また、「神奈川県障害者文化・芸術祭」を実施し、障がい者の文化芸術活動（絵画、工作等）の作品展示の場を用意したほか、ライトセンターにおいて視覚障がい者同士の交歓活動となる

II 重点施策の実施状況

文化クラブの場を提供するなど、障がい者の社会参加の推進を図った。「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」では、障がいのある方が、身近な地域で芸術文化に触れることができるよう支援するため、相談支援事業やワークショップの実施、コーディネーターの養成等の人材育成事業等を行った。

「楽絵ん祭」では、会場のアートホールがある地元保土ヶ谷で活動を続けている団体と協働し、障がい児を対象とした音楽・紙芝居等の公演を行った。

その他、文化芸術がより多くの人の心に届くよう、視覚障がい者向け音声ガイドや聴覚補助のためのヒアリンググループなど、鑑賞サポートを充実させた。

2 施策の効果

県立文化施設での子ども向け公演の開催、県内の小学校等へのアウトリーチやワークショップ等を実施したほか、歌舞伎鑑賞教室などへの親子券の導入により、舞台やオーケストラの鑑賞機会が少ない子どもたちや障がい者等が優れた文化芸術に触れ、文化芸術への関心を高めることに繋げることができた。

また、「かながわパフォーミングアーツアワード」では、全国から公募した団体が舞台芸術を競うことで、県民へよりレベルの高い舞台芸術の鑑賞機会を提供できた。「シニア劇団」やシニアダンス企画「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」の参加者へのアンケート結果では、身体や体調・心や気分の変化について「元気になった」と回答した方の割合が85.05%、公演等の鑑賞者へのアンケート結果では、「共生社会の実現が必要だと感じた」と回答した方の割合が78.44%あり、高齢者の文化活動の充実を図るとともに、共生の理念を普及し「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与することができた。

「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」で障がい者の文化芸術を支援するコーディネーター養成のための研修会や勉強会をオンラインでも開催し、多くの方に気軽に見ていただける環境を用意したことで障がい者の文化芸術活動を支援する体制の充実に貢献した。

3 今後の課題

子ども・若者の趣味・嗜好は多様化してきているため、ニーズを踏まえた優れた文化芸術の体験の機会の充実を図るとともに、文化芸術の次世代を担う人材として育成する取組も必要である。

共生社会時代に向けた環境づくりにおいては、共生共創事業の実施地域に偏りが生じていることから、共生の理念の一層の浸透を目指し、文化芸術団体等による取組との連携を図ることで、県内全域での事業展開を推進し、「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与する必要がある。

4 今後の方向性

年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人までのあらゆる人が文化芸術に親しめるよう、市町村や文化芸術団体をはじめ、他分野との連携も図りつつ創作活動の支援や発表の場の提供を広げていく取組を引き続き行っていくとともに、アウトリーチ等による鑑賞・参加の機会を提供する取組の県内全域での実施を目指す。

II 重点施策の実施状況

また、文化芸術に関わる人材の育成については、青少年センター等を活用した子ども・若者を対象とする舞台芸術の裾野を広げる取組や、県内の中高生を対象とした公募美術展の開催など、関係団体と協力しながら取組を進める。



マグカル開放区

重点施策3 国際文化交流の充実

1 施策の内容

(1) 神奈川の文化芸術の海外発信

KAAT 神奈川芸術劇場において、YPAM（横浜国際舞台芸術ミーティング）を複数の文化芸術関連団体等と共同で開催し、舞台芸術に係るプロフェッショナルが公演・ディスカッション・ワークショップ等を通じて、舞台芸術の国際交流の拠点としての役割を発揮した。



横浜国際舞台芸術ミーティング2023 (YPAM2023)
『イタリア コンテンポラリーダンスショーケース』 撮影：前澤秀登

(2) 三県省道やベトナム等との文化交流事業の推進

ベトナム・神奈川の文化や魅力を感じられるプログラムを盛り込んだイベントを通して、両地域の相互理解を深め、幅広い分野での交流をさらに推進するため、「ベトナムフェスタ in 神奈川2023」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2023」を実施した。

また、コロナ禍を経て4年ぶりに「友好県省道交流会議」を開催して3地域の代表者が対面で集い、青少年等の未来を担う世代の友好増進のため交流を図った。



ベトナムフェスタ in 神奈川 2023

(3) 多文化理解の推進

多様な国籍や文化、民族の違いを理解し、認め合うことのできる社会の実現を目指す多文化共生イベント「あーすフェスタかながわ 2023」を実施会場拡大や企画内容の充実を図りながら、象の鼻パーク周辺で開催した。

また、次代を担う子どもたちの夢と創造力を育み、絵画を通じてお互いの生活や文化を理解し、交流を深めるふれあいの場となることを目的として、広く世界各地から作品を募集し、また受賞作品の地球市民か



あーすフェスタ 2023

II 重点施策の実施状況

ながわプラザでの展覧会や巡回展等を行った。

(4) 関係団体等との連携

(公財) かながわ国際交流財団は、国際交流や国際協力の積極的な推進、多文化共生社会の実現を目的とした各種事業を展開しており、高校生等を対象に、日本と外国の異なる文化や多様な価値観等を知るための「青少年国際交流セミナー」を、企画段階から県立高校と意見交換を行い、対面で開催した。

また、大学生等を対象に、県内 NPO による多文化共生活動について学ぶセミナーを開催し、青少年が国際理解や課題を学ぶことにより、今後、主体的に学ぶきっかけを提供した。

2 施策の効果

YPAM（横浜国際舞台芸術ミーティング）では、多彩なプログラムを通じて、情報交換や相互学習、ネットワーク構築の場を提供できた。当プログラムを12年開催してきた実績から、舞台芸術の国際交流の拠点として、国内外から認知されつつある。

「ベトナムフェスタ in 神奈川」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI」は、例年多数の来場者と高い満足度を得ることができているが、日越外交関係樹立50周年及び日本ASEAN友好協力50周年記念事業として開催した令和5年度は、それぞれ昨年を上回る集客を得ることができ、日本とベトナム両国の関係強化に貢献した。多文化理解の推進については、イベントにより外国人や外国籍県民と県民との交流が促進され、「あーすフェスタかながわ2023」では、アンケートの結果、約88.4%の人が「とてもたのしかった」「たのしかった」と回答している。

また、学生向けのセミナーを開催することにより、多文化共生の意識醸成に繋げることができた。

3 今後の課題

今後も、国際色豊かな文化事業を展開するとともに、相互理解を深めるための国際交流事業の中で文化交流を推進することが必要である。

今後は、これまでに構築した三県省道やベトナム等とのネットワークを活用し、文化芸術の国際交流の活性化に向けた再始動に取り組んでいくことが必要である。

また、神奈川県には多くの外国籍県民が居住しており、若い世代やより多くの外国籍県民等が参加・交流できる事業を実施し、多文化理解の推進のため、より一層の文化交流に取り組む必要がある。

4 今後の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止していた国際交流事業が再開しており、今後も引き続き、様々な国や地域との国際交流事業を実施しながら、神奈川発の文化芸術を海外に発信していくとともに、県立文化施設において国際色豊かな取組を充実させることで、県民の国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組を推進していく。

また、関係団体等と連携しながら、地域における多文化理解の推進に引き続き取り組んでいくとともに、県内の文化資源を活用した観光との連携も意識した取組を行っていく。

重点施策4 東京2020大会を契機とした施策

1 施策の内容

(1) 文化プログラムの展開とレガシーの定着

東京2020大会を契機に開始した「神奈川文化プログラム」認証制度により、県内各地の様々な文化イベントなど、554件を認証し、神奈川全体で一体感を高め、東京2020大会で醸成した機運のレガシーとしての継承を図った。

さらに、この取組により築き上げた市町村や関係団体とのネットワークをレガシーとし、県民が幅広く文化芸術に親しむ機会を提供するため、文化の日を中心とした9月から12月に「かながわ県民文化祭」を開催し、参加プログラムの効果的なプロモーションを行った。

(2) 多言語化対応

県内の文化芸術イベント情報をカレンダー形式で掲載する情報誌「イベントカレンダー」を、日英併記で作成し、文化施設、駅、商業施設等での配布のほか、インターネット上でも掲載するなど、県民及び国内外の観光客に向けて、適時適切な文化イベント情報の収集・発信を行った。

多言語情報紙「こんにちは神奈川」の発行に当たり、記事や発行趣旨に合ったイラストを盛り込み、より適切な表現になるよう多言語の翻訳チェックを行い、外国籍県民等が手に取りやすい紙面となるよう工夫した。

また、県の文化芸術ポータルサイト「マガカル・ドット・ネット」において、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。

さらに、県民ホール本館で開催した「オーブシアター2023」、音楽堂で開催した「子どものための音楽堂 せかいはともだち」では、日本語を母国語としない人々への鑑賞サポートを行った。



イベントカレンダー 9月～11月号

(3) 文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信（重点施策1の再掲）

市町村と連携しながら、県民が伝統的な芸能の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、「カナガワ リ・古典プロジェクト in 海老名・山北」を開催した。海老名市を舞台に山北のお峰入

II 重点施策の実施状況

り、大谷歌舞伎などのホール公演やワークショップなど様々な企画を実施したほか、山北町ではサブ会場としてお峰入りの歴史・体験ブースの設置やハイキングツアーを行った。山北町で事前 PR 等を行い、多様な媒体による広報活動等も功を奏し海老名の公演は過去最大の人数の集客に繋げることができた。

また、「かながわ民俗芸能祭」では、地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内 3 市町の伝統芸能を紹介した。

これらの取組により、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を醸成した。

(4) 文化芸術による共生社会実現に向けた環境づくり（重点施策 2 の再掲）



共生共創事業 綾瀬シニア劇団

年齢や障がいなどにかかわらず、すべての人が舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」において、シニア劇団やシニアダンス企画を運営し集客公演を行ったほか、障がい者等が出演する演劇の舞台公演等を実施した。

また、KAAT 神奈川芸術劇場主催公演「虹む街の果て」では、公募した多国籍の県民の方たちとともに市民参加の演劇をつくることができた。

「神奈川県障害者文化・芸術祭」を実施し、障がい者の文化芸術活動（絵画、工作

等）の作品展示の場を用意したほか、ライトセンターにおいて視覚障がい者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供するなど、障がい者の社会参加の推進を図った。「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」では、障がいのある方が、身近な地域で芸術文化に触れることができるよう支援するため、相談支援事業やワークショップの実施、コーディネーターの養成等の人材育成事業等を行った。

「楽絵ん祭」では、会場のアートホールがある地元保土ヶ谷で活動を続けている団体と協働し、障がい児を対象とした音楽・紙芝居等の公演を行った。

その他、県立施設において文化芸術がより多くの人々の心に届くよう、視覚障がい者向け音声ガイドや聴覚補助のためのヒアリンググループなど、鑑賞サポートの内容を充実させた。

2 施策の効果

「イベントカレンダー」により県内の文化芸術イベント情報を積極的に発信するとともに、「マガカル・ドット・ネット」において、今後のインバウンド需要を喚起するため、通年で英語によるインターネット広告を行ったことから、より多くの人々が県内で実施するイベント等の情報を閲覧することで、イベント等の周知に貢献するとともに、将来的な観光客の誘客に寄与することができた。

3 今後の課題

「神奈川文化プログラム」の認証は、昨年に引き続き多数の認証数を記録し、芸術文化団体等に対して認知度を向上させることができた。今後は、各イベントと連携して相乗効果を図るなど、県内の文化芸術活動や地域の継続的な活性化に繋ぐことができるよう、取り組む必要がある。

また、東京 2020 大会の機会を捉え、公式文化プログラムに参画するなど、官民一体となってオール神奈川で盛り上げてきた文化プログラムや文化芸術振興の取組をレガシーとして継承し、地域の活性化につなげていく必要がある。

4 今後の方向性

引き続き、「神奈川文化プログラム」の認証により、官民一体となってオール神奈川で文化プログラムに取り組むとともに、各地の文化芸術活動が盛り上がるよう文化プログラムを通じて構築された市町村や関係団体等とのネットワークを生かし、東京 2020 大会のレガシーとしてより充実したマグカル事業を展開していく。

その上で、あらゆる人に情報が伝わるよう、県内に訪れる外国人や外国籍県民等に必要な情報が効果的に提供できるよう努める。

Event information in Kanagawa Prefecture

Area Category Purpose Date

Coming soon

A very lively concert
07/26
横浜みなとみらいホール

Special exhibition: Lalique x Dance
03.23 - 12.01
横浜マリッセ美術館

Ajjurabai #6
08/16
横浜マリッセ美術館

Shiki Theater Company Musical "Phantom of the Opera"
04.23 - 08.11
KAG 神奈川芸術劇場

マグカル・ドット・ネット

重点施策5 文化芸術の振興を推進するための環境整備

1 施策の内容

(1) 県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充

県民ホール本館ではピンスポット修理工事、KAAT 神奈川芸術劇場ではホール吊物機構・舞台連絡設備改修、音楽堂では3点吊りマイクワイヤー交換、神奈川近代文学館では空調関連設備の改修工事など、施設機能の維持や来館者の安全・安心の確保のため、修繕・工事等を実施した。

(2) 施設の機能としての人材育成

県民ホール本館や KAAT 神奈川芸術劇場において、現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。音楽堂では、制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを、例年より対象人数を増やして実施した。また、大学の寄付講座では、昭和音楽大学と連携し、劇場職員による講義を実施した。



「KAAT 舞台技術講座 2024」 写真提供：(公財) 神奈川芸術文化財団



「音楽堂 制作・広報インターン」 写真提供：(公財) 神奈川芸術文化財団

II 重点施策の実施状況

(3) 市町村・文化芸術団体等との連携・協力

9月から12月を「かながわ県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す取組を行った。

また、文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進するため、県内市町村と連携しながら取り組むことを目的とした市町村文化行政連絡会議を開催し、県と市町村の文化行政について情報共有を行い、連携を強化した。

(4) 情報発信の強化

神奈川近代文学館では、SNSの積極的な活用やコミック、ゲームとのコラボレーションにより

ホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する特集記事を掲載するとともに、SNSを利用し、各媒体のユーザーに合った情報を提供して情報発信の強化を行った。

情報誌については、県内の文化芸術イベント情報をカレンダー形式で掲載する「イベントカレンダー」を日英併記で作成し、情報発信を行った。



かながわ県民文化祭 2023

2 施策の効果

県立文化施設の改修工事等を行い、利用者の方に施設をより安全に利用していただくために必要な整備を行うことができた。

学生等を対象とした各種育成事業では、県の施設の機能を生かし、芸術事業に興味を持つ若い人材制作や広報に必要な業務への理解促進など多角的理解の機会を提供することができた。

また、市町村・文化芸術団体等の文化事業を統一的な名称やマークを活用し、一体的かつ効果的に広報を行うことで地域のにぎわい・つながりをつくり、文化芸術に触れる機会を創出することができた。

3 今後の課題

県立文化施設については、必要に応じて改修工事等を行っているが、近年の物価、人件費の高騰を受け、老朽化対策はますます大きな課題となっている。また、令和7年4月から休館する県民ホール本館については、今後のあり方を検討する必要がある。

今後の文化芸術の継承、発展のため、より魅力的な人材育成事業を充実させ文化芸術の担い手確保につながる取組や、市町村や文化芸術団体等との連携を生かしつつ、文化芸術を県内各地で盛り上げていくための取組を推進する必要がある。

II 重点施策の実施状況

4 今後の方向性

県立文化施設については、計画的な維持、保全、拡充に努めていく。県民ホール本館については、関係各機関等とも調整を図りながら、施設の今後のあり方や休館中の対応等を検討していく。ソフト面の環境整備については、関係団体と連携して、ニーズに沿った必要な取組を継続して実施しつつ、施設の今後のあり方なども含め検討していく。

情報発信については、「マグカル・ドット・ネット」において、外国人向けに多言語化翻訳記事の作成を行いつつ、訪日外国人の増減を見極め、適切なタイミングで魅力的な情報を発信するなど、国内外向けのインターネットによる広報を継続して展開していく。

また、引き続き、市町村や文化芸術団体との連携し、コロナ禍でその重要性が再認識された文化芸術活動を盛り上げ、これらを通じた地域課題の解決や地域の活性化につなげていく。

Ⅲ 基本的な施策の実施状況

1 県民の文化芸術活動の充実

(1) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

【施策の方向性】

地域の伝統的な芸能の大切さについての理解、認識を深めるとともに、後継者の育成につながるよう、市町村と連携しながら伝統的な芸能の体験・鑑賞機会の提供、発表機会の確保などに取り組む。

文化財の保護を図るため、未指定文化財を調査し、指定等の保護措置を講ずるほか、文化財の活用・保護の普及啓発のため、展覧会や講座などを開催する。

【主な施策の内容】

重点施策1及び4に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して公募により補助金を交付し、支援を行った。
- ・ 新たに文化財を指定するとともに、既指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。
- ・ 県立歴史博物館等において、資料の収集や収蔵資料の定期的な修繕及び展示を行った。
- ・ 市町村と連携し、「かながわの太鼓」や「かながわ民俗芸能祭」といった、伝統芸能を発表する場を設けた。

(2) 県民の文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

県立文化施設での文化芸術に関する講座・講演会等の開催や、広報誌やホームページなどで文化芸術に関する情報提供を行うことにより、県民の文化芸術に対する関心や理解を深める。

県立文化施設での公演、展覧会などの鑑賞機会の提供や優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する文化芸術団体への支援により、県民の鑑賞機会の充実を図る。

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を運営するとともに、県民が参加できる展覧会やコンクールなどの開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援する。

県内各地で開催される文化芸術の催しや文化芸術団体の活動情報など、県民が文化芸術の鑑賞や活動を行う際に必要とする情報を広報誌やホームページなどで提供する。

【主な施策の内容】

- ・ 神奈川近代文学館や県立金沢文庫等の県立文化施設において、展覧会の開催に合わせてレクチャーコンサートなどのプレ企画や講演会を実施した。
- ・ 県民ホール本館や音楽堂等において、現代音楽やオペラ、バレエ、クラシック音楽コンサートといった様々なジャンルの舞台芸術の公演を実施し、優れた文化芸術の鑑賞機会を提供した。
- ・ 吹奏楽ウィークでは、アートホールを練習場とする吹奏楽団を集め、アートホールを練習で利用する団体に発表の機会を提供するとともに、吹奏楽のメッカとしてのアートホールの認知度向上を図った。
- ・ 「神奈川芸術プレス」や「季刊誌 神奈川芸術劇場 KAAT PAPER」を発行し、県民ホール本館、KAAT 神奈川芸術劇場及び音楽堂の公演情報や県内の文化情報等を周知した。

(3) 芸術家等の育成等に関する支援等

【施策の方向性】

将来の活躍が期待される芸術家等の発掘や育成支援を実施し、また、文化施設で催される様々な公演事業を支える舞台技術者等の育成に取り組む。

県立文化施設などを活用し、芸術家等が創作・練習・稽古等に利用しやすい仕組みづくりを行うなど、創作のための環境の整備を図る。

芸術家等の創造的活動の成果を発表するための展覧会や公演事業などを開催するとともに、県立文化施設の主催事業などで将来の活躍が期待される芸術家等の積極的な登用を行う。

【主な施策の内容】

重点施策2に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を、また、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に「未来賞」を贈呈した。
- ・ 県民ホール本館で実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施する「オーディション事業」により、次代を担う若手芸術家に経験の場を提供することができた。

(4) 文化芸術団体の育成等

【施策の方向性】

文化芸術団体の自主的な活動を支援することにより、文化芸術団体の多様な活動を促進するとともに、文化芸術団体との連携・協働に取り組む。

【主な施策の内容】

重点施策5に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して公募により補助金を交付し、支援を行った。
- ・ 文化芸術団体等が主催する、県内において実施する事業について、県の文化芸術の振興に寄与すると認められるものに、神奈川県の後援名義の使用を承認した。
- ・ かながわ児童劇グループ交流会を実施し、地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供した。

(5) 子どもの文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

県立文化施設で子どもたちが様々な文化芸術を鑑賞する機会を提供する。

子どもたちが自ら行う文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術を体験する機会の充実を図る。

【主な施策の内容】

重点施策2に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 小学生に初めてのホールコンサートを体験してもらい、感動を記憶に刻んでもらうことを目的に、初めての音楽会事業「音楽たまたまて箱」を行った。
- ・ 藤野芸術の家において、気軽に参加できる常設事業や募集型の体験事業、季節限定体験事業を実施し、子どもから大人まで多くの人々が自ら陶芸・木工・ガラス工芸等の制作活動を通し

て、文化芸術に親しむ機会を提供した。

- ・ KAAT 神奈川芸術劇場キッズプログラム「さかさまの世界」では、出演者らが劇場近隣の熊猫幼稚園と横濱中華幼保園に赴いてリサーチ活動を実施し、声で地域の子どもたちに参加してもらったり、試演会を行ったりするなど子どもたちと深くかかわりあいながら創作活動を行った。

(6) 学校教育における文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

小中学校などの学校教育における文化芸術に関する体験学習などの充実を県及び市町村の教育委員会と連携して図るとともに、芸術家等や文化芸術団体が学校教育の中で行う文化芸術活動に必要な協力や支援を実施する。

【主な施策の内容】

重点施策2に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 中・高等学校を対象に、演劇の講習会・発表会を開催した。
- ・ 青少年の舞台表現のためのスキルアップクラスでは、中高生向けの先端的なワークショッププログラムを実施するとともに、参加者のうち希望者には講師が演出する公演にアンサンブルとして出演する機会を与えられることとした。
- ・ 音楽堂アウトリーチ事業により、アーティストが地域単位の教員の勉強会等に講師として訪問し、教員が生徒役となって授業のヒントとなるワークショップを行う形式でのアウトリーチを行った。また、記録動画を撮影してダイジェスト版を制作し、参考として利用できるようアーカイブ化した。
- ・ 県立神奈川総合高等学校舞台芸術科の取組について、アドバイザリーボードの設置など継続的に支援を受ける仕組みを構築し、協議会を開催した。

(7) 高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

高齢者、障がい者、子育て中の保護者などが、文化芸術に親しみ自ら文化芸術活動を楽しめるよう、文化芸術団体と協力しながら、文化芸術の鑑賞機会の提供や自らが文化芸術活動を楽しむための取組を推進するとともに、文化施設のバリアフリー化や利用サービスの向上に努める。

【主な施策の内容】

重点施策2及び4に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 「かながわシニア美術展」を開催し、高齢者の文化芸術活動の成果を発表する場を提供することで、高齢者の社会参加やふれあい・生きがいを推進した。
- ・ 県民ホール本館、KAAT 神奈川芸術劇場、音楽堂にて託児ルームを設置し、主催公演において、乳幼児を育てる県民に対する、文化芸術鑑賞機会の提供に寄与した。
- ・ 公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施し、外出することの難しい特別支援学校や医療施設の子どもたちに鑑賞機会を提供することができた。

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

(1) 文化芸術に関する交流の推進

【施策の方向性】

国民文化祭等への参加や他県との交流事業の実施などにより、文化芸術の地域間交流を推進する。

文化芸術を介した国際交流事業の実施や県立文化施設での海外の作品の鑑賞機会の提供などにより、国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組を推進する。

多文化共生イベントの開催や多文化理解を深めるための講座を実施するなど、多文化理解を推進する。

【主な施策の内容】

重点施策3に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県立歴史博物館において、栃木県や愛知県などの県外の博物館等の展覧会に収蔵資料の貸出しを行い、展覧会の充実に貢献するとともに、博物館同士の連携協力を行った。
- ・ 県立近代美術館において、県外美術館との巡回型の展覧会（「佐藤 忠良」展、「芥川龍之介と美の世界」展）を企画実施し、他県との文化芸術を介した交流に貢献した。
- ・ 県立金沢文庫において、特別展の実施にあたり、他県の博物館や社寺などから文化財 236 点の借入れを行い、展示内容を充実させるとともに博物館以外の文化財保有施設との連携協力を行った。
- ・ 県高等学校総合文化祭の開催や全国高等学校総合文化祭への生徒派遣を通して、高校生の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化の促進を図った。
- ・ 文化芸術の地域間交流推進のため、KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース作品等の公演を他府県で展開した。

(2) 創造的活動等の推進

【施策の方向性】

県立文化施設の活用や文化芸術団体との連携により、新しい文化芸術の創造的活動を推進するとともに、これらを国内外に発信する取組を実施する。

【主な施策の内容】

- ・ 神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図った。
- ・ KAAT 神奈川芸術劇場の長塚芸術監督が神奈川県内のエピソードを題材に創作したオリジナル作品を、KAAT 神奈川芸術劇場を皮切りに、座間市など県内 5 ヶ所の劇場を巡回することで、より多くの県民に観劇体験を提供できた。

(3) 文化資源の活用

【施策の方向性】

県内の文化資源の発掘に努め、その具体的な活用方策を検討する。また、地域の活性化等に活用可能な文化資源については、市町村、文化芸術団体、芸術家、企業などとの連携により有効活用に取り組むとともに、その魅力を広く PR するための情報発信に取り組む。

Ⅲ 基本的な施策の実施状況

【主な施策の内容】

重点施策4及び5に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 湘南邸園文化祭2023を開催し、相模湾沿岸地域の13市町の31の邸園等において、市民団体等により57のイベントを実施することにより、邸宅・庭園等の価値を周知するとともに、保全活用の必要性について啓発を行った。
- ・ 第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東の共同開催における運営事業として、講演会や親子体験教室、ジオツアーを開催するなど、箱根ジオパークに対する地域の機運醸成及びジオパークとしての環境整備を行った。
- ・ 県立図書館・音楽堂をはじめ、県立青少年センター、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーの紅葉ヶ丘地域に所在する5館の連携事業として「紅葉ヶ丘まいらん・秋のスタンプラリー・見学会」を開催した。イベント広報にあたり、伊勢山皇大神宮等地域の様々な組織の協力を得ることで地域ネットワークの強化ができたほか、文化施設を活用して地域の魅力を発信することができた。
- ・ 「日本遺産」新規認定申請等に係る県内市町村等への周知や、既認定の「日本遺産」に係る文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。
- ・ 「観光かながわNOW」において、美術館等のスポット情報を掲載するなど、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信をした。
- ・ 11月の伝統的工芸品月間に合わせ、所蔵する伝統工芸品を専門員の解説付きで公開するとともに、かながわ県民センターにおいて伝統工芸品の小展示を行い、地域に根ざした木工芸品産業に対する県民の興味を喚起し、理解を深めてもらうことができた。

(4) 景観の形成

【施策の方向性】

県内各地の自然景観、歴史的景観、都市景観などの良好な景観の形成に当たっては、文化的諸条件などに配慮し、魅力ある景観づくりに取り組む。

【主な施策の内容】

- ・ 地域の特性を踏まえた景観行政を推進するため、景観行政団体に移行し景観計画を策定することの必要性について、未移行団体に対して啓発を行った。
- ・ 文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県内市町村に周知した。

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

(1) 学校施設、公共的施設の活用等

【施策の方向性】

学校開放などの取組により、空き教室や休日等の学校施設を県民の文化芸術活動のために利用できるよう努める。また、文化施設以外の庁舎などの公共的施設についても、作品の展示などの利用ができるよう取り組む。

【主な施策の内容】

- ・ 県立学校の音楽室などの学習施設やグラウンド・体育館などの体育施設を、県民の学習や文化活動、スポーツ活動の場として提供した。

(2) 県立文化施設の充実

【施策の方向性】

県立文化施設では、文化芸術の鑑賞や活動、交流の場としての機能に加えて、施設の特성에応じて、文化芸術に関する人材の育成や教育普及活動に取り組む。

県立文化施設の機能を最大限に発揮させるため、効果的な事業の実施や効率的な施設運営等について、適切な検証を行う。

県立文化施設の文化芸術発信拠点としての機能を充実させるため、長寿命化や県民ニーズに対応した施設改修や、文化資源を収蔵するための施設整備に取り組む。

【主な施策の内容】

重点施策5に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 大学等と連携した人材養成プログラムでは、東京音楽大学と連携し、主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施した。
- ・ 県立文化施設の指定管理者に対して、県の行政管理課が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づき、協定書に定めた利用者満足度調査を実施した。
- ・ 県民ホール本館、KAAT 神奈川芸術劇場及び音楽堂の3館一体による効率的な運営が行われているかをチェックするため「神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会」を設置し、公募委員を含む委員により指定管理者が行う自主事業公演のモニタリングを行い、その内容について会議を開催した。

(3) 情報通信技術の活用

【施策の方向性】

文化芸術に関する情報や資料などを容易に入手できるよう、ホームページや電子メールを活用した情報提供を行うとともに、東京2020大会を契機とし、多言語による情報提供を推進する。

また、県立文化施設が保管・保有する公開資料を容易に利用できるよう、検索や閲覧に情報通信技術を活用するよう取り組む。

県立文化施設の利用手続において、窓口を訪れる負担などを軽減するため、情報通信技術を活用し、自宅から利用予約が可能となるよう、利用者サービスの向上に取り組む。

県立文化施設に保存・保管されている文化芸術にかかわる資料について、デジタル化、データベ

Ⅲ 基本的な施策の実施状況

ース化を図り、利用者の利便性を高める取組を推進する。

【主な施策の内容】

重点施策4及び5に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県立金沢文庫において国宝「金沢文庫文書」の画像のデータベースをインターネットで公開するなど、情報通信技術を活用した利用者の利便性の向上を図った。
- ・ 施設予約システムにおいて、原則24時間どこからでもインターネットを通じて、県内公共施設の空き状況の照会や予約申込を行えるようにすることで、県民の利便性を向上させるとともに、職員側の施設予約管理に関する事務処理の効率化を図った。

(4) 文化芸術活動に対する支援の促進

【施策の方向性】

文化芸術の振興に寄与する寄附税制等の周知などにより、個人や企業からの寄附や支援が活発に行われるよう取り組む。また、文化芸術活動に参加するサポーターについて検討を行う。

【主な施策の内容】

- ・ かながわキンタロウ寄附金（ふるさと納税）を利用し、文化芸術に触れる機会が少ない方々に対して、オーケストラを鑑賞する機会を提供するための支援を実施した。
- ・ （公財）神奈川芸術文化財団が（公社）企業メセナ協議会に準会員として参加し、情報収集を行った。

(5) 顕彰の実施

【施策の方向性】

文化芸術活動で顕著な成果を収めた人や団体、また、文化芸術の振興に寄与した人や団体の顕彰を実施する。

【主な施策の内容】

- ・ 神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に「未来賞」を贈呈した。

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
(1)地域の伝統的な文化芸術の保存・継承・活用								
ア伝統的な芸能の普及啓発、鑑賞・発表機会の提供								
001文化財や伝統的な芸能を活用した文化芸術の発信								
カナガワリ・古典プロジェクト in 海老名・山北	海老名市を舞台に山北のお峰入り、大谷歌舞伎などのホール公演やワークショップなど様々な企画を実施したほか、山北町ではサブ会場としてお峰入りの歴史・体験ブースの設置やハイキングツアーを行った。	山北町で事前PR等を行い多様な媒体による広報活動等も功を奏し、海老名の公演は過去最大の人数の集客に繋げることができた。	来場者数： (山北町) ブース参加者403人 ツアー参加者30人 (海老名市) 公演850人 ワークショップ29人	(山北町) 2023年10月8日 (海老名市) 2024年2月11日	山北のお峰入り会場 (川村小学校、大野山、神明社他) 海老名市文化会館 海老名市自由通路			重点施策1、4
002伝統的な芸能を支える技術・技能の継承者の育成・支援								
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜、横須賀の2会場を午前・午後2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	129人	①2023年7月22日、23日 ②2023年7月29日、30日 ③2023年8月2日、3日	①横須賀市文化会館 ②秦野市立本町公民館 ③県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、55人(回答者数)から「とても満足・やや満足」との回答があった。		重点施策1
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①279人 ②251人 ③174人 ④160人	①2023年9月27日 ②10月24日 ③11月5日 ④12月7日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③中央農業高等学校 ④平塚中等教育学校			重点施策1
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①26人 ②11人 ③29人	①2024年1月20日 ②2024年2月11日 ③2024年3月3日	①茅ヶ崎市民文化会館練習室1兼ミニホール ②サン・エールさがみはら多目的室 ③青少年センター練習室			重点施策1
003県立文化施設等での伝統的な芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保								
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟6団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	令和4年度同様に、事業の周知を目的として入場料を無料にして開催した。	368人	2023年11月5日	県立青少年センター			重点施策1、4
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に介しての合同公演を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け、伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	出演団体数：5団体 観覧者：846人	2024年2月23日	青少年センター紅葉坂ホール			重点施策1、4
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	昨年度に引き続き親子券を導入した。また、団体申込のうち、希望した学校に対し、事前レクチャーを実施した。	1,209人	2023年7月26日、27日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通過して「大変良かった」「良かった」を合わせると95.8%にのぼった。		重点施策1、4
人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	文楽人形による観客出迎え及び記念写真コーナー設置、文楽関係写真パネル展示を行った。	1,130人	2023年10月15日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通過して「大変良かった」「良かった」を合わせると91.8%にのぼった。		重点施策1、4
004かながわ伝統芸能祭などの伝統芸能普及振興事業の実施								
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	293人	2023年12月3日	はまぎんホールヴィアマーレ			重点施策1、4
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	昨年度に引き続き親子券を導入した。また、団体申込のうち、希望した学校に対し、事前レクチャーを実施した。	1,209人	2023年7月26日、27日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通過して「大変良かった」「良かった」を合わせると95.8%にのぼった。	再掲	重点施策1、4
人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	文楽人形による観客出迎え及び記念写真コーナー設置、文楽関係写真パネル展示を行った。	1,130人	2023年10月15日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通過して「大変良かった」「良かった」を合わせると91.8%にのぼった。	再掲	重点施策1、4
かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 ・複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施することで、参加する子ども達の成長や達成感を高めた。	555人	メインプログラム 2024年1月18日 事前ワークショップ(講談・日本舞踊) 2024年1月14日、2月12日、2月18日	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオ HIKARI、交流スペース	アンケートでは「大変良かった」と「良かった」を合わせると99.0%にのぼった(昨年度は93.3%)。		重点施策1、4
005文化芸術団体への支援や連携による発表機会の確保								
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：90件 助成団体数：36件 助成金交付額：8,093千円	交付申請書の提出期限：2023年2月13日～2023年3月15日(電子申請) 審査会：2023年4月12日 交付決定通知書の送付：2023年4月28日～6月23日				重点施策1、4
006後世に残す伝統的な文化の記録の保存								
伝統的な文化芸術保存ライブラリー	県で実施した伝統的な芸能について、映像及び報告書等の整理をし、後世に残していく取組を実施した。	2019年度から実施した取組であるが、2016年度分から収集した。	—	—	文化課内で紙媒体又はデータで保存			重点施策1
民俗芸能調査事業費	「菊名の船屋踊り」を初めとして、県内に所在する「船屋踊り、万作踊り」について、現状等の記録保存を行うことにより、県内の民俗芸能の保存・継承の基礎資料とするともに、調査において当該芸能の特色を明らかにする。令和4年度から調査を開始し、令和6年度に報告書を刊行予定である。	調査委員・補助調査員による現地調査及び、事務局による関連文献の調査を実施した。	調査員4人、補助調査員2人	現地調査・文献調査2023年4月15日ほか56回	三浦市南下浦町菊名、横須賀市長井ほか			重点施策1

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
イ文化財保護の充実等								
007文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施								
指定文化財保存修理等補助金	指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。	—	・有形文化財保存修理等(14件) ・記念物等保存修理等(27件) ・民俗文化財保存修理等(10件) ・埋蔵文化財発掘調査等(20件) 合計71件	—	—	—	—	—
008県立の博物館での文化財、伝統芸能等に関する資料の収集、保管、展示								
県立金沢文庫における文化財の管理	2万点を超える国宝・重要文化財をはじめとする文化財を適切に管理した。	日々の温湿度管理や収蔵庫内の整理等を行った。	—	—	県立金沢文庫	—	—	—
県立歴史博物館における資料の収集、修繕	神奈川県内の文化と歴史に主眼を置いた資料を収集した。また、収蔵資料の定期的な修繕を行った。	資料の収集について、購入は市場の動向を注視するとともに、寄贈ではコレクションを補完する関連資料の積極的な収集を行った。また、部門毎にまとめた修繕希望資料のリストを集約し、優先順位をつけて上で、順次修繕を行った。	—	—	県立歴史博物館	「高師秀感状」1幅と「西脇清一郎像」1点を購入した。寄贈については、歴史関係資料「横浜正金銀行関係資料」、美術資料は「岩橋教章・章山関係資料」、歴史・考古・民俗の各分野の資料で構成される「笹山丘の上ミュージアム所蔵資料」などを受け入れた。また、「鈴木藤助日記」と「赤羽刀」の2件40点の資料の修繕を実施した。	—	—
009県ホームページ等による文化財に関する情報の提供								
指定文化財の所有・保持者に対する情報提供	指定文化財の所有・保持者に対する周知を行うとともに、県内文化財の目録を時点更新し、ホームページへ掲載した。	—	ページビュー数：6,728件	—	—	—	—	—
ウ伝統工芸品等の地域資源の活用								
010工芸を主とする木製品業者向けにものづくり支援や技術情報の提供、連携・交流								
木製品ものづくり支援事業①	ものづくりに必要な設備機器等を木製品製造業者に貸し出した。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行った。	機器利用件数：947件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	—	重点施策1
木製品ものづくり支援事業②	木製品製造業者からの依頼を受け、新商品の試作等のための加工・製作を行った。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行った。	依頼加工・試作等件数：39件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	—	重点施策1
工芸ヤングフォーラム	小田原・箱根地域の木製品製造業に携わる若手工芸技術者を対象に、交流の場を提供した。	木工技術、産地の歴史等、幅広い知見があり、事業者支援の経験を有する専門家を指導講師として招いた。	述べ参加者数：121人	年11回開催	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	—	重点施策1
工芸品産業担い手育成事業	地域に根付いた工芸品産業の技術・技能を次代に継承するため、若手技術者などに専門家を招き、市場に受け入れられる商品づくりを支援した。	事業者が抱える課題等に的確に対応するため、事業者等からの要望を反映して講座を開催した。	参加人数：63人	年13回開催	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	—	重点施策1
(2) 県民の文化芸術活動の充実								
ア文化芸術に対する関心、理解を深めるための普及啓発								
011県立文化施設での文化芸術に関する講座、講演会等の開催								
舞台芸術講座	一流のアーティストや音楽学者を講師に迎え、レクチャーコンサートや、次年度オペラシリーズのブレ企画を実施した。	レクチャーコンサートでは少女漫画に、ブレ企画ではトークと映像と実演で一人の作曲家に焦点を当て、テーマ設定に企画性を持たせた。	647人	①2023年9月23日(2回) ②2023年11月18日	県民ホール本館	—	—	—
県立近代文学館における講演会	第一線で活躍する作家や研究者を招いて講演会を実施することができた。井伏鱒二展では会場で収録した朗読動画をネットで公開し、参加者がリアルタイムでチャット参加できるイベントを新たに試みた。	1,124人	企画展等に合わせて8回実施	神奈川近代文学館	会場での質疑応答などを通じ読書意欲の増進を図ることができた。	専門性の高い講演内容が好評を博した。オンラインイベントでは日中の催しに参加できない利用者にも参加機会を提供できた。	—	—
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	275人	2023年8月9日、10日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	—	—	—
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、舞台のニーズに合ったプログラム(ステージング)を加え、講習内容を充実させた。	中学生：629人 高校生：483人	中学校：2023年8月5日、6日 高等学校：2023年7月30日、31日	青少年センター	—	—	—
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先端的なワークショッププログラムを実施した。	参加者のうち希望者には講師が演出する公演にアンサンブルとして出演する機会を与えられることとした。	ダンス編30人	2024年2月13日～15日	青少年センター	—	—	プロの公演に参加するというかけがえのない体験機会となり、アンケートでは全員が「大変よかった」と回答した。

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立金沢文庫における講座、講演会等の開催	特別講演会、月例講座、解説講座、社会教育施設公開講座等を開催した。	展覧会の開催に合わせたものや、地域史に関わるものを中心に実施し、横浜市金沢区とも連携した。	特別講演会：5回、569人 特別講座：1回、42人 月例講座：12回、699人 解説講座：11回、523人 社会教育施設公開講座：5回、145人 金沢区連携講座：2回、161人 子ども夏休金沢歴史教室：1回、6人	特別講演会：2023年4月22日他 特別講座：2024年1月20日 月例講座：2023年4月1日他 解説講座：2023年6月24日他 社会教育施設公開講座：2023年10月15日他 金沢区連携講座：2023年4月30日他 子ども夏休金沢歴史教室：2023年8月6日	県立金沢文庫	—		
012広報誌、ホームページによる普及啓発の実施								
広報誌 神奈川芸術劇場 KAAT PAPER発行	長塚芸術監督が掲げる“劇場をひらく”取組の1つとして、毎月、劇場そのものや演劇の魅力を伝える特集企画を立て、芸術監督との対談や、取材記事、主催公演のレビューなどを掲載した。	KAATを知らない方や、演劇を鑑賞したことが無い方にも、興味を持って手に取ってもらえるよう、演劇に寄らない切り口での特集を企画した。また、版型もタブロイド判とし、駅や県有施設などKAAT以外にも配布を行った。	各号5万部発行	年3回発行 春夏号：2023年4月7日 秋号：2023年8月29日 冬号：2023年12月27日	KAAT神奈川芸術劇場他	劇場ホームページにPDF版、電子ブック版を掲載するとともに、対談記事はホームページにロングバージョンを掲載した。		
神奈川芸術プレス発行	冊子を発行・配布することで、公演情報の周知、県内の文化情報等を掲載した。	半期の公演レビューや読み応えのある特集を盛り込み、芸術文化以外の幅広い話題や取組を取り上げた。	年間36,000部	年2回発行（2023年9月、2024年3月発行）	—	—		
県立近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミック、ゲームとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、文学者の誕生日命日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供した。	ホームページアクセス数(公式noteを含む)：343,391件 動画コンテンツ視聴数：計2,912件	通年	神奈川近代文学館ホームページ及びSNS	講演会の動画公開など新たにコンテンツを公開した。		
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2023年度PV（ページビュー）数551,370	通年	インターネット上	—		
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「イベントカレンダー」を作成した。	毎月特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数260,000部	年4回発行 6～8月号 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、商業施設等で配布	—		
県立金沢文庫における普及啓発の実施	金沢文庫で開催する展覧会や関連する講座等のイベントについて、金沢文庫HPや地域の情報誌、美術館・博物館関係の雑誌、新聞等で展覧会の紹介を行った。	展覧会の紹介記事では展覧会の目玉となる作品を紹介し、展覧会の魅力やみどころを伝え、金沢文庫の知名度を高めるように努めた。	—	—	—	—	中外日報（2023年6月23日掲載）他	
県立近代美術館における普及啓発の実施	広報誌『たいせつな風景』を発行し、美術館活動の周知に努めた。また、近代美術館ウェブサイトを通して、開催する展覧会の情報を広く県民に発信した。	ウェブサイトについては、展覧会開催前に代表的な出品作品の画像を含む情報を提供した。	—	—	—	—	広報紙：1回（2024年3月24日発行） ウェブサイト展覧会詳細ページ：展覧会開幕に合わせて、年11件作成	
イ鑑賞機会の充実								
013県立文化施設での公演事業の実施								
県民ホール本館での公演事業の実施	故一柳芸術総監督、沼野芸術参事のディレクションのもと、「KIDDPIVOT キッドピボット」など県民ホール本館における主催・共催公演を実施した。	プロフェッショナルなアーティストによる舞台芸術や音楽、美術作品を、ホールやギャラリーという会場で鑑賞したいという県民ニーズに応える公演を実施した。	43,252人	通年 36演目（37公演）・10企画（13回）・6展覧会（うち、共催等19公演2企画3展覧会）	県民ホール本館ほか	開館50周年（2025年度）に向けて、新しい総合芸術表現を追求・創作する開館50周年シリーズを開始し、世界トップレベルのダンスカンパニー「キッドピボット」公演を行った。		
神奈川芸術劇場等での公演事業の実施	芸術監督長塚圭史氏のもと、昨年度に引き続き、劇場の活動をリズムを持っておこなうべく、プレシーズンと「貌（かたち）」をテーマに掲げたメインシーズンとを構成し、多様な作品制作とその発信に取り組んだ。	国内外の優れたアーティストと協力し、施設の特性を生かした主催・提携・共催公演を実施し、舞台芸術の創造・発信を行った。	41,307人	通年 24演目（180公演）・3企画（3回）・1展覧会（うち、提携・共催等13演目74公演）	KAAT神奈川芸術劇場他	KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト第二弾として、長塚芸術監督が神奈川県内のエピソードを元に創作したオリジナル作品を、KAATを皮切りに県内5ヶ所の劇場を巡回した。		
音楽堂での公演事業の実施	音楽堂のブランドイメージ構築に対応して、室内オペラ・プロジェクトやヘリテージ・コンサートなど、各種プログラムを実施した。	音楽堂初登場の演奏家や日本初演作品等に重点を置き、人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家による上質な公演・企画の実施に留意した。『ヘリテージ・コンサート』では「街なかトークカフェ」、『室内オペラ・プロジェクト』ではプレレクチャーを実施し、音楽への深い理解醸成に努めた。	25,312人	通年 13事業48公演20企画（うち 共催等5事業38公演）	音楽堂ほか	室内オペラ・プロジェクト『シラ』日本初演（令和4年度）が佐川吉男音楽賞◀奨励賞▶を受賞した。		
キエフ（キーウ）・クラシック・バレエ「チャイコフスキー 夢の三大バレエ名場面集」	海外の文化芸術の県民への鑑賞機会の提供のために海外のバレエ公演を実施した。	—	1,719人	2023年10月7日	県民ホール本館	—		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
第56回クリスマス音楽会 ヘンデル「メサイア」全曲	長年継続して音楽堂で開催しているクリスマス音楽会。県民参加による合唱、県内高校生による『メサイア未来プロジェクト』を実施した。	新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインによる舞台上人数制限のため、従来の県民合唱の人数での開催が困難な中、曲の一部を交代制にすることでなるべく多くの参加者が出演できるようにした。昨年度から新しく指揮者になったパロック専門家の大塚直哉氏の指導もあり、少人数でも質の高いパロック的な「メサイア」を実現した。	873人	2023年12月10日	音楽堂	県内の高校生による「メサイア未来プロジェクト」も復活し、合計3校が合唱に参加した。		
劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」	日本屈指の劇団であり、横浜に拠点を置く劇団四季のミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」を、KAAT神奈川芸術劇場でロングラン上演した。	長期公演を持続的にこなせるよう、劇団側や案内係と綿密に連携して実施している。	69,896人	2023年4月25日～7月22日 全77公演	KAAT神奈川芸術劇場			
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟6団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	令和4年度同様に、事業の周知を目的として入場料を無料にして開催した。	368人	2023年11月5日	県立青少年センター		再掲	
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一室に介しての合同公演を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け。伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	出演団体数：5団体 観覧者：846人	2024年2月23日	青少年センター紅葉坂ホール		再掲	
DVD鑑賞会 (かながわアートホール)	月に一度程度、ホールにて、かながわアートホールが所蔵する音源、映像を上演する事業を実施する。	毎回好評である副館長による映画解説を実施するとともに、副館長をモデルにしたゆるキャラを作成し、動員を図る。	4月 217人 5月 190人 6月 169人 7月 186人 8月 198人 9月 208人 3月 262人	2023年4月1日、5月20日、6月21日、7月23日、8月26日、9月2日、2024年3月21日	かながわアートホール			
野外コンサート (かながわアートホール)	アートホール前広場に音楽を溢れさせたいという目的で正面玄関横のテラスをステージとして、コンサートを実施した。	季節の良い春と秋に数回程度実施した。	4月 ①90人、②90人 5月 ①配信視聴862回、②119人 6月 91人 10月 ①150人、②150人	2023年4月22日、29日、5月13日、27日、6月10日、10月14日、21日	かながわアートホール			
赤ちゃんありがとうコンサート	子育て支援事業として、子育て中の親子を対象としたランチタイムコンサートの内容を一部変更して実施した。	乳幼児・未就学児の同伴を可能とし、気兼ねなく親子で楽しめるコンサートを実施した。	入場者：160人 視聴者数 ライブ：10 アライブ：304	2024年3月23日	かながわアートホール			
神奈川フィル・カジュアルコンサート	クラシックやオーケストラに馴染みのない方々向けに、神奈川フィルによるカジュアルコンサートを実施した。	Youtubeによる生配信と、終演後のアーカイブ配信を実施した。	入場者：193人 視聴者数 ライブ：111 アライブ：840	2024年3月31日	かながわアートホール			
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	昨年度に引き続き親子券を導入した。また、団体申込のうち、希望した学校に対し、事前レクチャーを実施した。	1,209人	2023年7月26日、27日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通過して「大変良かった」「良かった」を合わせると95.8%にのぼった。	再掲	
人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	文楽人形による観客出迎え及び記念写真コーナー設置、文楽関係写真パネル展示を行った。	1,130人	2023年10月15日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通過して「大変良かった」「良かった」を合わせると91.8%にのぼった。	再掲	
かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 ・複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施することで、参加することも達の成長や達成感を高めた。	555人	メインプログラム 2024年1月18日 事前ワークショップ(講談・日本舞踊) 2024年1月14日、2月12日、2月18日)	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	アンケートでは「大変良かった」と「良かった」を合わせると99.0%にのぼった(昨年度は93.3%)。	再掲	
青少年センターでの公演事業の実施	青少年センターにおける演劇・ダンス発表会やマグカルシアター公演など、主催・共催・後援による公演等を実施した。	施設運営担当と連携し、利用日程の調整や当日運営を行った。	92,016人	通年 388公演	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室			
青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第308回青少年芸術劇場『What's SAMBASO—古典芸能の可能性』を実施した。	・施設の開館60周年及び紅葉坂ホールリニューアル記念と位置づけ、「三番叟」という演目が持つ様々な魅力を若い人に伝えるため、杉原邦生と木ノ下裕一という比較的若いアーティストによる企画・進行とした。 ・演劇部やダンス部の中高生を多数招待した。	477人	2023年7月23日	青少年センター紅葉坂ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると98.7%にのぼった。 ・神奈川新聞文化部の取材記事が掲載された。		
神奈川県青少年対象演劇鑑賞会	情操豊かで健全な青少年の育成を目的に、カンパニーデラシネラの無言劇による想像力を刺激する作品「はだかの王様」を同演劇鑑賞会で実施した。	鑑賞対象を就学前児童や小学校低学年まで対象年齢を下げつつ、中高生以上の情操豊かで健全な青少年の育成にも役立つ作品を選定した。	324人	2023年5月12日、13日、14日 全6公演	青少年センタースタジオHIKARI			
014県立近代美術館での美術作品の展覧会の開催・普及活動の実施								
県立近代美術館における展覧会の開催、普及活動事業の実施	葉山館では4つの企画展と3つのコレクション展を開催し、鎌倉別館では2つの企画展と2つのコレクション展を実施した。	展覧会については、情操教育に資するため、バランスの取れた企画を実施した。また、教育普及活動については、来館者における鑑賞機会の充実を目的として、多様な形態の活動を実践した。	入館者数：87,775人 ギャラリートーク：8回、130人	展覧会：2023年4月22日～7月2日他 教育普及活動：2023年9月12日他	県立近代美術館葉山館、鎌倉別館			

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立近代美術館における展覧会記念講演会等事業の開催 葉山町での共催による講座の実施	企画展等に関連したトークやパフォーマンス等のイベントを実施した。 また、学芸員による連続講座として「近代美術館入門講座」を開催した。	シンポジウム、パフォーマンス、レクチャーコンサートなど企画の多様性をもたせた。	展覧会関連イベント：11回、572人 近代美術館入門講座：8回、198人	展覧会記念トーク・イベント：2023年6月18日他 近代美術館入門講座：2023年5月26日他	県立近代美術館葉山館、鎌倉別館 葉山町福祉文化会館、逗子市役所	—		
015 県立博物館での文化芸術に関する資料等の展示、展覧会の開催・普及活動の実施								
県立金沢文庫における展覧会の開催	特別展「社寺明細帳図」や特別展「魔墟とイメージ」等の展覧会を6回実施した。	金沢文庫が管理する文化財を中心に、それと関連する外部の文化財の借用を行い、他の研究機関や自治体と連携して魅力ある展覧会を行った。	入館者数：27,115人	特別展「社寺明細帳図」：2023年5月26日～7月23日他	県立金沢文庫	—		
県立歴史博物館における資料の展示	常設展では、各テーマごとに年間を通して展示替えを行った。	展示替えに際しては、小規模なテーマ展「トピック展示」を展開するなどの工夫を行った。	常設展有料入館者数：41,136人	通年展示替えは資料整理休館日を中心に実施。	県立歴史博物館	年間を通じた計画的な展示替えにより、常設展で1,685件の資料を展示した。		
県立歴史博物館における特別展の実施	特別展「あこがれの祥啓」、「関東大震災」、「足柄の仏像」、コレクション展「藤助さんと幕末」、特別陳列「戦国大名北条氏と西相模・伊豆」を実施した。	「ポケット学芸員」を活用した音声・文字による展示ガイドを行った。また、関連事業として講演会や展示解説を積極的に行った。	特別展「あこがれの祥啓」8,848人、「関東大震災」15,006人、「足柄の仏像」17,267人	特別展「あこがれの祥啓」2023年4月29日～6月18日、「関東大震災」同7月29日～9月18日、「足柄の仏像」同10月7日～11月26日、コレクション展「藤助さんと幕末」2024年2月17日～3月24日、特別陳列「戦国大名北条氏と西相模・伊豆」同3月16日～4月14日	県立歴史博物館	—		
県立歴史博物館における各種講座等の開催	県民の生涯学習支援のための特別展関連講座・講演会・体験教室・子ども向け講座等各種催し物を開催した。	コロナ禍に比べ参加人数の上限を緩和し、積極的にイベントの広報を実施する等、より多くの県民に参加してもらえるよう取り組んだ。	一般向け講座他：59回、2,040人、子ども向け催し物：9回、60人 ミュージアムコンサート：1回、47人 県内学校向け学芸員の出張講座：18回、1,977人	特別展「あこがれの祥啓」展示解説他：2023年5月6日他	県立歴史博物館等	—		
016 県立近代文学館での文学資料に関する展示、展覧会の開催・普及活動の実施								
県立近代文学館におけるスライドトーク	企画展等に合わせて展示説明会を開催した。	展覧会の内容を資料画像等を用いて解説し、観覧者に対してより深い理解を促した。SNSでも事前に周知し、集客につとめている。	610人	企画展等に合わせて計21回実施	神奈川県近代文学館	観覧者が、展示担当者へ直接質問する場ともなり、観覧者の展示理解に役立った。武井武雄展では、貴重書の展示箇所以外のページを画像で紹介できたのが効果的だった。		
県立近代文学館における朗読会、上映会等	神奈川県近代文学館のホール等の会場を利用して、朗読会や上映会等のイベントを実施した。	新たな客層を獲得するため、著名な俳優の出演や文学の枠を超えたイベントなどを実施した。武井武雄展では展示の内容に合わせて少人数のワークショップも開催した。	3,034人	企画展等に合わせて25回実施	神奈川県近代文学館	小津安二郎展での上映会をはじめ、文学以外の分野のファン層が文学館に足を運んだ。		
特別展・企画展	各作家の所蔵資料等を活用した特別展・企画展を実施した。 ①特別展「生誕120年 没後60年 小津安二郎展」 ②企画展「本の芸術家・武井武雄展」 ③企画展「『おまけ』と『ふろく』展 子どもの夢の小宇宙」 ④特別展「没後30年 井伏鱒二展 アチラコチラデブンガクカタル」 ④特別展「没後50年 川端康成展 虹をつむぐ人」 ⑤常設展「文学の森へ 神奈川県と作家たち」第2部一芥川龍之介から中島敦まで コーナー展示：没後50年 大佛次郎展一戦後の仕事一 ⑥常設展「文学の森へ 神奈川県と作家たち」第3部一太宰治、三島由紀夫から現代まで ⑦特別展「帰って来た橋本治展」	所蔵資料等を活用し、作家の魅力が伝わる展示を行った。	44,677人 ①12,416人 ②5,136人 ③7,891人 ④8,125人 ⑤1,622人 ⑥9,214人 ⑦273人	①2023年4月1日～5月28日 ②6月3日～7月23日 ③7月29日～9月24日 ④9月30日～11月26日 ⑤12月2日～2024年1月21日 ⑥2024年2月6日～3月24日 ⑦3月30日～3月31日	神奈川県近代文学館	映画、おまけとふろくなど、文学の枠を超えた展示の企画が評価された。冬の常設展ではコミックとのコラボレーションが集客につながった。		
かなぶんキッズクラブ（紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等）	子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会を実施した。	文学の名作を原作にしたプログラムとなるよう心がけた。	570人	①紙芝居：2023年8月4日 ②子ども映画会：2023年8月17日、18日 ③読み聞かせ：2023年8月26日 ④紙芝居：2024年3月24日 ⑤子ども映画会：2024年3月27日 ⑥長崎源之助生誕100年記念の集い	神奈川県近代文学館	例年の内容に加え、2月に横浜ゆかりの長崎源之助生誕100年の催しを企画した。		
017 文化芸術団体との連携による鑑賞機会の提供								
神奈川県芸術劇場（KAAT）での企画制作事業の実施	KAAT神奈川県芸術劇場プロデューサー作品等を県内や他府県で上演した。	KAAT神奈川県芸術劇場の作品を各地で上演した。	11,015人	通年5演目（25公演）・3企画（5回）	まつもと市民芸術館 高槻城公演芸術文化劇場 ほか	—		
県内巡回企画 KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト第二弾 「箱根山の美女と野獣」「三浦半島の人魚姫」	KAATの長塚芸術監督が神奈川県内のエピソードを題材に創作したオリジナル作品を、KAATを皮切りに県内5ヶ所の劇場を巡回した。	観劇体験のない方でも気軽に観劇していただけるよう、親しみやすい題材や広報ビジュアル、上演内容を立案した。	1,413人	2024年2月17日～3月3日	ハーモニーホール座間 川崎市アートセンター 小田原三の丸ホール 逗子文化プラザホール 茅ヶ崎市民文化会館	各地で、芸術監督によるアフタートークやブレイクイベントなどをおこなった。		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
巡回オペラの実施	子供も対象としたオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を上演した。	県域の文化施設に出張して子ども向けの名作オペラを実施し、幅広い県民の鑑賞ニーズに対応した。	557人	①2024年2月24日 ②2024年3月2日	①寒川町民センターホール ②鎌倉芸術館 小ホール	—		
第39回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図る目的で、2023年8月19日に入賞者を対象としたクリスタルコンサート、10月1日に上位入賞者によるトップコンサートを実施した。	—	参加者数：744人 鑑賞者数：1,750人 (クリスタルコンサート及びトップコンサートの鑑賞者数：1,100人)	①クリスタルコンサート：2023年8月19日 ②トップコンサート：2023年10月1日 コンクール全体は2023年3月19日～11月18日	①クリスタルコンサート：横浜市青葉区民文化センター「フィリアホール」 ②トップコンサート：神奈川県立音楽堂	—		
第18回フレッシュ・コンサート	次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図った。	—	382人	2024年1月27日	音楽堂	—		重点施策2
カナガワリ・古典プロジェクト in 海老名・山北	海老名市を舞台に山北のお峰入り、大谷歌舞伎などのホール公演やワークショップなど様々な企画を実施したほか、山北町ではサブ会場としてお峰入りの歴史・体験ブースの設置やハイキングツアーを行った。	山北町で事前PR等を行い多様な媒体による広報活動等も功を奏し、海老名の公演は過去最大の人数の集客に繋げることができた。	来場者数： (山北町) ブース参加者403人 ツアー参加者30人 (海老名市) 公演850人 ワークショップ29人	(山北町) 2023年10月8日 (海老名市) 2024年2月11日	山北のお峰入り会場 (川村小学校、大野山、神明社他) 海老名市文化会館 海老名市自由通路	—	再掲	
ウ県民の文化芸術活動や発表機会の支援								
018県立文化施設での練習・発表等の活動の場の提供								
マグルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	年齢や経歴、作風に関係なく、参加団体同士が自劇団以外の作品に触れ、刺激を受け、自劇団の今後の公演に役者としてオファーしたり、演劇に関する情報を共有したりと、交流や結束が深まり、演劇に携わって間もない新人の方々にとって、刺激的で学ぶ機会にもなり、出会いと交流が深まった。	5,918人	2023年4月～2024年3月	青少年センター スタジオ「HIKARI」、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としていること、出演団体の種別や、東京所在の団体が増えるなど、すそ野が広がっている。		
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を開講した。	募集に際し、演劇コースのある学校等への広報に力を注いだ。	塾生：14人 成果発表公演観覧者数：240人	2023年11月～3月 ※レッスン 成果発表公演：2024年3月23日、24日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完了した。		
かながわパフォーミングアーツアワード2024	「演劇」に限らず、身体性を伴った舞台芸術作品を幅広く対象とするため、本年より「かながわパフォーミングアーツアワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを開催した。	近年の舞台芸術シーン及び本アワードの傾向として、セリフのみで構成された演劇作品だけではなく、ダンス、音楽、映像を取り入れた作品が主流になっていることから、演劇に限定せず、身体表現をともなう舞台芸術を幅広く対象としたアワードに変更した。	【応募数】 57団体 22世紀飛翔枠：6団体 【来場者数】 本戦：166人 ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）25人 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：57人	本戦：2024年3月16日～17日 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：2024年1月7日	本戦：KAAT神奈川芸術劇場 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—		
神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ2023（第7期生）	小学4年生～高校3年生の子どもたちがアートホールに集い、神奈川フィル団員の指導を経て神奈川フィルと共演する。感染症対策のため、弦楽器のみで規模を縮小して実施した。	受講生が楽器ごとに分かれて行うパート練習やそれぞれの合奏練習を行った。	受講者数：44人 入場者：205人 視聴者数 ライブ：110 7-カイ：4,030	2023年8月27日	かながわアートホール	—		
令和5年度かながわミュージカルアワード	神奈川県内で活動する市民ミュージカル団体等を公募し、出張審査によりかながわミュージカルアワードを決定した。	書類審査で1団体を選出し、披露公演日を指定し1団体の公演を行っていたが、各参加団体の公演を審査委員が出張審査しアワードを決定する方式とした。	【応募数】 8団体	2023年7月1日～12月31日	各参加団体の公演会場（神奈川県内に限る）	—		
中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施した。	—	903人	2023年8月4日	青少年センター紅葉坂ホール	—		
青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	各学校(団体)における日頃の取組の成果を発表する場を提供するという「発表会」の本来の趣旨に鑑み、講師による講評を行わないこととした。	1,881人	2023年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	—		
中・高等学校演劇発表会	中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	中学生：1,322人 高校生：1,525人	中学校：2023年12月2日、3日 高等学校：2023年11月18日、19日	青少年センター紅葉坂ホール	—		
かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供する事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力を依頼した。	364人	2024年2月24日、25日 全4公演	青少年センタースタジオHIKARI	出演団体の熱心な意見交流が行なわれ、充実した交流会となった。		
KAAT神奈川芸術劇場主催公演への県民参加	KAAT神奈川芸術劇場主催公演①「虹む街の果て」②「ジャズ大名」に、県民から出演者を募って参加していただいた。	①横浜の野毛を舞台とした物語に、神奈川県民を中心とした多様な国籍の方々と、市民参加の演劇をつくることができた。 ②夢きぼう連、横須賀シニア劇団よっしや！、横浜並木男性合唱団などの団体に、ホールという大舞台に出演し賑わいとともに参加する機会をつくることができた。	2演目（21公演）	①2023年5月13日～21日 ②2023年12月9日～24日	KAAT神奈川芸術劇場	—		
TAK in KAAT（神奈川県演劇連盟の公演）の実施	神奈川県演劇連盟に所属する劇団のうち毎年2団体が、KAAT神奈川芸術劇場にて公演をおこなう機会をつくり、稽古場と上演会場の提供をおこなう。	—	入場者数 ①540人 ②748人	①2023年4月20日～23日 ②2023年8月24日～27日	KAAT神奈川芸術劇場	—		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
吹奏楽ウィーク	アートホールを練習場とする吹奏楽団を集め、公演を行った。	入退場自由とし、滞留性を高めた。	9月17日 入場者：545人 視聴者数 ライブ：144 7-ライブ：6,149 9月18日 入場者：1,160人 視聴者数 ライブ：212 7-ライブ：6,252	2023年9月17日、18日	かながわアートホール	—	—	—
019県美術展の開催								
神奈川県美術展	全国公募による美術展を実施し、作品発表の機会を提供し創作活動の支援を図るため、公募美術展を開催した。 また、障がい者の文化芸術の鑑賞及び創作活動の機会創出のため、ともいきアートサポート事業の一環としてともいきアート展を開催した。	2023年度より、巡回先として鎌倉芸術館で巡回展を行った。 また、部門によって異なる賞金額の解消と賞のランク付けを明確化、運営費の確保のため、特選以下の賞を平準化した。	応募点数：1,289点 応募人数：845人 入選者数：307人 入賞者数：40人 入場者数：5,229人 来場者数 ・1期展 1,744人 ・2期展 2,323人 ・鎌倉展 1,162人	応募作品搬入：【工芸・書・写真部門】2023年7月1日、2日 【平面立体部門】2023年7月8日、9日 展覧会：開催32日間 【1期展】2023年9月6日～9月17日 【2期展】2023年9月20日～10月1日 【鎌倉展】2023年11月3日～11月11日（うち、1日休）	—	【1期展・2期展】：神奈川県民ホールギャラリー 【鎌倉巡回展】 鎌倉芸術館ギャラリー	—	—
020文化芸術団体の創作・発表等の活動への助成等による支援								
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」、「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：90件 助成団体数：36件 助成金交付額：8,093千円	交付申請書の提出期限：2023年2月13日～2023年3月15日（電子申請） 審査会：2023年4月12日 交付決定通知書の送付：2023年4月28日～6月23日	—	—	再掲	—
マガカル開放区	県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施した。	2022年10月より、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら再開。令和5年度は年間通して計28回実施。	出演者数：846人 参加者数：103,056人	4/9, 4/16, 4/23, 4/30, 6/11, 6/18, 6/25, 7/9, 7/16, 7/30, 8/6, 8/20, 9/2, 9/3, 10/1, 10/8, 11/5, 11/19, 12/3, 12/10, 12/24, 1/7, 1/28, 2/13, 3/3, 3/10, 3/17, 3/24	県庁前日本大通り	—	—	重点施策5
バーチャル開放区	県庁前日本大通りで音楽やダンスなど自由に発表できる空間「マガカル開放区」の開催場所を路上からオンライン上に移して、文化芸術オールジャンルの動画コンテンツ「バーチャル開放区」を実施した。	ワンストップで申請できるよう、外部サイトを作成した。	応募件数：154件 視聴結果 ≪HP/PV数≫ 30,260回 ≪再生数≫ 188,600回 (HP、再生数ともに2023年7月14日～2024年3月31日)	動画応募期間 2023年7月14日～10月31日	インターネット上	—	—	重点施策5
マガカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業	マガカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	—	研修室利用者 133団体 1,365人 資料室夜間利用者 298人	—	—	—	—	—
021伝統的な芸能・舞台芸術作品等の公演などの共催等による支援								
県民ホール本館での公演事業の実施	故一柳芸術総監督、沼野芸術参与のディレクションのもと、「KIDDPIVOT キッドピボット」など県民ホール本館における主催・共催公演を実施した。	プロフェッショナルなアーティストによる舞台芸術や音楽、美術作品を、ホールやギャラリーという会場で鑑賞したいという県民ニーズに応える公演を実施した。	43,252人	—	—	—	—	—
神奈川県芸術劇場等での公演事業の実施	芸術監督長塚圭史氏のもと、昨年度に引き続き、劇場の活動をリズムを持っておこなうべく、「プレシーズン」と「貌（かたち）」をテーマに掲げたメインシーズンとを構成し、多様な作品制作とその発信に取り組んだ。	国内外の優れたアーティストと協力し、施設の特徴を生かした主催・提携・共催公演を実施し、舞台芸術の創造・発信を行った。	41,307人	—	—	—	—	—
音楽堂での公演事業の実施	音楽堂のブランドイメージ構築に対応して、室内オペラ・プロジェクトやヘリテージ・コンサートなど、各種プログラムを実施した。	音楽堂初登場の演奏家や日本初演作品等に重点を置き、人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家による上質な公演・企画の実施に留意した。『ヘリテージ・コンサート』では関連企画として「街なかトークカフェ」、『室内オペラ・プロジェクト』ではプレレクチャーを行い、音楽への深い理解に努めた。	25,312人	—	—	—	—	—
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	293人	2023年12月3日	はまぎんホールヴィアマーレ	—	—	再掲
エ文化芸術活動に関する情報の提供								
022文化芸術に関する広報誌の発行								
広報誌 神奈川県芸術劇場 KAAT PAPER発行	長塚芸術監督が掲げる「劇場をひらく」取組の1つとして、毎月、劇場そのものや演劇の魅力を伝える特集企画を立て、芸術監督との対談や、取材記事、主催公演のレビューなどを掲載した。	KAATを知らない方や、演劇を鑑賞したことが無い方にも、興味を持って手に取ってもらえるよう、演劇に寄らない切り口での特集を企画した。また、版型もタブloid判とし、駅や県有施設などKAAT以外でも配布を行った。	各号5万部発行	年3回発行 春夏号：2023年4月7日、 秋号：2023年8月29日、 冬号：2023年12月27日	—	—	—	再掲
神奈川県芸術プレス発行	冊子を発行・配布することで、公演情報の周知、県内の文化情報等を掲載した。	半年の公演レビューや読み応えのある特集を盛り込み、芸術文化以外の幅広い話題や取組を取り上げた。	年間36,000部	年2回発行（2023年9月、2024年3月発行）	—	—	—	再掲

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「イベントカレンダー」を作成した。	毎号特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数 260,000部	年4回発行 6～8月号 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、商業施設等で配布	—	再掲	
023ホームページ、SNS、ポータルサイトによる公演情報、文化芸術活動のための情報の提供								
県立近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミック、ゲームとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、文学者の誕生日の日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供した。	ホームページアクセス数(公式noteを含む)：343,391件 動画コンテンツ視聴数：計2,912件	通年	神奈川近代文学館ホームページ及びSNS	講演会の動画公開など新たにコンテンツを公開した。	再掲	
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2023年度PV(ページビュー)数 551,370	通年	インターネット上	—	再掲	
県立金沢文庫における情報提供の実施	金沢文庫で開催する展覧会や講座などのイベントについて、金沢文庫HPやX(旧Twitter)で広報をおこなった。	展覧会の目玉となる作品や金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の作品紹介を定期的にX(旧Twitter)で紹介し、展覧会や金沢文庫の保管する資料の魅力伝えるよう発信した。	X(旧Twitter)発信件数：285件	—	—	—		
県立近代美術館における情報提供の実施	参考資料を美術館ウェブサイトに掲載し、報道関係者にリンクをメールで配信した。また、X(旧Twitter)上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	参考資料の公開件数：13件 X(旧Twitter)発信数：522回	—	—	—		
県立歴史博物館における情報提供の実施	HP(X(旧Twitter)含む)を活用した情報提供や刊行物、マスメディア(紙・電波媒体、ネット)による情報発信を行った。	新聞等のマスメディアへの露出機会を増やすために、プレスリリース資料を個別に送付する等、きめ細やかな情報提供に努めた。また、インターネットを利用した動画の配信や新たな広報媒体の積極的な開拓・利用を行った。	695件 【内訳】 ・HP(Twitter含む)：432件 ・特別展等チラシ・ポスター：9件 その他：250件(新聞：96、雑誌：40、テレビ：7、ラジオ：4、WEB：93、その他：10) ・催し物のご案内：1件 ・博物館だより：3件	—	—	—		
(3) 芸術家等の育成等に関する支援等								
ア 芸術家や文化芸術を支える活動を行う者の育成								
024 神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施								
神奈川文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を贈呈した。 2001年度に、神奈川文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設した。	県民を贈呈式に無料招待し、広く県民全体で受賞者への祝意を表すとともに、祝賀演奏において受賞者の方に演奏いただき、催し全体で文化を盛り上げることができた。	1,354人	2023年11月3日	神奈川県民ホール大ホール	受賞者6人 (文化賞：4人、未来賞：2人)		
025 舞台技術者等の文化芸術を支える者の研修等による育成支援								
舞台技術講座2024	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供する	①86人 ②16人 ③25人	①2023年6月23日 ②2024年3月6日 ③2024年3月7日	KAAT神奈川芸術劇場	—		
2023年度インターン(KAAT神奈川芸術劇場)	現場での実務を通して、公立文化施設のある方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。	劇場運営コースのインターンでは、KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の人魚姫』の公演事業に関わり、制作業務および当日運営について学んだ。舞台技術コースでは、実際の公演現場で技術スタッフの指導を受けながら実務作業を学び、劇場運営の就業体験を行った。	3人	2024年1月9日～2月17日	KAAT神奈川芸術劇場	—		重点施策2
制作広報インターン事業の実施	シリーズ「新しい視点」の『紅葉坂プロジェクト』『庄司紗矢香』を中心的題材に、制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを実施した。	「新しい視点」の一環として音楽堂公式アカウントでインターンによる広報SNS発信、公演や企画募集のチラシをどこに掲示するか等の広報計画作成を行った。また文化庁の助言もあり、人数を例年より増やした。	6人	2023年8月26日～9月29日	音楽堂	—		重点施策2
昭和音楽大学寄付講座	昭和音楽大学と連携し、劇場職員による講義を実施した。	学部の「芸術文化と社会Ⅱ」「芸術運営論Ⅱ」の講義を実施した。(2科目合同授業)	43人	2023年12月12日 2023年12月19日	昭和音楽大学	—		重点施策2
劇場体験インターン事業	公共ホールでの文化事業の実習として、音楽事業制作と施設運営の両面を学び・体験する事業を実施した。	公立文化施設における文化事業を学ぶため、座学で学んだうえで、制作の現場を体験する内容とした。	2人	2024年1月31日～2月27日	県民ホール本館	—		重点施策2
大学等と連携した人材養成プログラム(県民ホール)	東京音楽大学と連携して、学生たちと教員が声楽、ピアノ、オルガンを案内する形での人材養成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材養成プログラムを実施した。	62人	2024年3月10日	県民ホール本館	—		重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
劇場運営マネジメント講座	県内の劇場・文化施設の施設利用担当者等を主な対象とし、専門性を高く設定した人材育成講座を実施した。	①これからのインクルーシブ社会と公立文化施設の取組、②利用業務の能力をブラッシュアップする「基本を学びなおす」の2つの講座を実施した。	①28人 ②44人	①2024年2月29日 ②2024年3月27日	県民ホール本館	—		重点施策2
026新進芸術家等の育成支援の検討								
オーディション事業（県民ホール）	県民ホールで実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施した。	①25人 ②4人	①2023年4月29日 ②2023年8月30日	県民ホール本館	—		重点施策2
創作環境と劇場の未来を考えた、劇場の創造活動の核を育てていく取組「カイハツ」	劇場が常に考える場、豊かな発想を生み出す場となることを目指し、クリエイションのアイデアをカイハツするプロジェクトとして、2021年度より開始した。	企画・人材カイハツ、創作プロセスカイハツ、戯曲カイハツの3柱を設け、創作環境と劇場の未来を考える企画とした。	135人	2023年4月17日 ～2024年3月15日 6企画（6回）	KAAT神奈川芸術劇場	劇場ホームページにおいて、この取組と実施内容について広報を行った。		重点施策2
若手を中心とした芸術家等から新しい企画案を公募し、実現する『紅葉坂プロジェクト』	演奏家、作曲家、プロデューサー等を問わず、新しい視点による企画案を企画委員が選考し、音楽堂の主催事業として実現する事業を2021年度より開始した。	見識のある企画委員のもとで、音楽堂の空間を活かして、音楽を中心に他ジャンルとのコラボレーション等も含めて新しい表現を考える人材を公募、開発、育成するプロジェクトを実施した。①公開デモンストレーションであるワークショップ2回、②本公演の2回。	①92 ②192	①2023年7月1日 ②2024年3月23日	神奈川県立音楽堂	音楽堂ホームページ、SNS、チラシ、大学等への周知依頼等		重点施策2
第39回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図る目的で、2023年8月19日に入賞者を対象としたクリスタルコンサート、10月1日に上位入賞者によるトップコンサートを実施した。	—	参加者数：744人 鑑賞者数：1,750人 (クリスタルコンサート及びトップコンサートの鑑賞者数：1,100人)	①クリスタルコンサート：2023年8月19日 ②トップコンサート：2023年10月1日 コンクール全体は2023年3月19日～11月18日	①クリスタルコンサート：横浜市青葉区民文化センター「フィリアホール」 ②トップコンサート：神奈川県立音楽堂	—	再掲	重点施策2
イ創作のための環境の整備								
027県立文化施設の練習・稽古等での活用								
マグカルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	年齢や経歴、作風に関係なく、参加団体同士が自劇団以外の作品に触れ、刺激を受け、自劇団の今後の公演に役者としてオファーしたり、演劇に関する情報を共有したりと、交流や結束が深まり、演劇に携わって間もない新人の方々にとって、刺激的で学ぶ機会にもなり、出会いと交流が深まった。	5,918人	2023年4月～2024年3月	青少年センター スタジオ「HIKARI」、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としていること、出演団体の種別や東京所在の団体が増えるなど、すそ野が広がっている。	再掲	重点施策2
マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業	マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	—	研修室利用者 133団体 1,365人 資料室夜間利用者 298人	通年	青少年センター	—	再掲	重点施策2
028新進芸術家の創作環境支援の検討								
2023年度は実施しませんでした。								
ウ創造的活動の成果を発表する機会の確保								
029県美術展の開催								
神奈川県美術展	全国公募による美術展を実施し、作品発表の機会を提供し創作活動の支援を図るため、公募美術展を開催した。 また、障がい者の文化芸術の鑑賞及び創作活動の機会創出のため、ともいきアートサポート事業の一環としてともいきアート展を開催した。	2023年度より、巡回先として鎌倉芸術館で巡回展を行った。 また、部門によって異なる賞金額の解消と賞のランク付けを明確化、運営費の確保のため、特選以下の賞を平準化した。	応募点数：1,289点 応募人数：845人 入選者数：307人 入賞者数：40人 入場者数：5,229人 来場者数 ・1期展 1,744人 ・2期展 2,323人 ・鎌倉展 1,162人	応募作品搬入：【工芸・書・写真部門】2023年7月1日、2日 【平面立体部門】2023年7月8日、9日 展覧会：開催32日間 【1期展】2023年9月6日～9月17日 【2期展】2023年9月20日～10月1日 【鎌倉展】2023年11月3日～11月11日（うち、1日休）	【1期展・2期展】：神奈川県民ホールギャラリー 【鎌倉巡回展】鎌倉芸術館ギャラリー	—	再掲	重点施策2
030文化芸術団体との連携による新進芸術家を起用した演奏会等の開催								
第18回フレッシュ・コンサート	次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図った。	—	382人	2024年1月27日	音楽堂	—	再掲	重点施策2
031県立文化施設主催事業における新進芸術家の積極的登用								
オーディション事業（県民ホール）	県民ホールで実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施した。	①25人 ②4人	①2023年4月29日 ②2023年8月30日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策2
032新進芸術家の発表機会支援の検討								
マグカル開放区	県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施した。	2022年10月より、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら再開。令和5年度は年間通して計28回実施。	出演者数：846人 参加者数：103,056人	4/9, 4/16, 4/23, 4/30, 6/11, 6/18, 6/25, 7/9, 7/16, 7/30, 8/6, 8/20, 9/2, 9/3, 10/1, 10/8, 11/5, 11/19, 12/3, 1/2/10, 12/24, 1/7, 1/28, 2/11, 3/3, 3/10, 3/17, 3/24	県庁前日本大通り	—	再掲	重点施策5
アカデミー登録制度	マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの履修生による登録制グループを結成し、県の広報媒体への出演等により、活動の場を提供する。	多様な活動機会が提供できるよう、予算や活動条件を柔軟に対応できるような実施要領を定めている。	10人（登録者数）	①2023年5月2日 ②2023年8月25日（2名） ③2024年2月9日	①神奈川県庁 ②情報文化センター ③相模原中央支援学校	—		重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
(4)文化芸術団体の育成等								
ア文化芸術団体の育成・支援、連携・協働の推進								
033文化芸術団体への助成等による支援								
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」「高齢者枠」「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：90件 助成団体数：36件 助成金交付額：8,093千円	交付申請書の提出期限：2023年2月13日～2023年3月15日（電子申請） 審査会：2023年4月12日 交付決定通知書の送付：2023年4月28日～6月23日	—	—	再掲	
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：182件 助成団体数：45件 採択額：47,098千円 補助者数：29,777人 オンライン視聴者数：2,618人	1次募集：2023年2月13日～3月15日 募集、4月28日及び5月18日交付決定 2次募集：2023年6月8日～7月11日 募集、8月29日交付決定	—	—		
034文化芸術団体の活動に対する後援								
文化芸術団体の活動に対する後援	—	文化芸術団体等が主催する、県内において実施する事業について、県の文化芸術の振興に寄与すると認められるものに、神奈川県の後援名義の使用を承認した。	後援名義の使用承認実績：150件	—	—	—		
神奈川県文化プログラム認証制度	—	県内で実施する事業・活動について、一定の要件を満たすものを神奈川県文化プログラムとして認証した。	認証件数：554件	—	県内全域	—		
かながわ県民文化祭	—	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	参加プログラム数：291件	—	県内全域	—		
035県実施事業等における文化芸術団体との連携・協働の推進								
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜、横須賀の2会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	129人	①2023年7月22日、23日 ②2023年7月29日、30日 ③2023年8月2日、3日	①横須賀市文化会館 ②秦野市立本町公民館 ③県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、55人（回答者数）から「とても満足・やや満足」との回答があった。	再掲	重点施策5
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①279人 ②251人 ③174人 ④160人	①2023年9月27日 ②10月24日 ③11月5日 ④12月7日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③中央農業高等学校 ④平塚中等教育学校	—	再掲	重点施策5
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器的体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①26人 ②11人 ③29人	①2024年1月20日 ②2024年2月11日 ③2024年3月3日	①茅ヶ崎市民文化会館練習室1兼ミニホール ②サン・エールさがみはら多目的室 ③青少年センター練習室	—	再掲	重点施策5
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟6団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	令和4年度同様に、事業の周知を目的として入場料を無料にして開催した。	368人	2023年11月5日	県立青少年センター	—	再掲	重点施策5
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一室に介しての合同公演を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け、伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	出演団体数：5団体 観覧者数：846人	2024年2月23日	青少年センター紅葉坂ホール	—	再掲	重点施策5
カナガワリ・古典プロジェクト in 海老名・山北	海老名市を舞台に山北のお峰入り、大谷歌舞伎などのホール公演やワークショップなど様々な企画を実施したほか、山北町ではサブ会場としてお峰入りの歴史・体験ブースの設置やハイキングツアーを行った。	山北町で事前PR等を行い多様な媒体による広報活動等も功を奏し、海老名の公演は過去最大の人数の集客に繋げることができた。	来場者数：(山北町)ブース参加者403人 ツアー参加者30人 (海老名市)公演850人 ワークショップ29人	(山北町)2023年10月8日 (海老名市)2024年2月11日	山北のお峰入り会場(川村小学校、大野山、神明社他) 海老名市文化会館 海老名市自由通路	—	再掲	重点施策5
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を開講した。	募集に際し、演劇コースのある学校等への広報に力を注いだ。	塾生：14人 成果発表公演観覧者数：240人	2023年11月～3月 ※レッスン 成果発表公演：2024年3月23日、24日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	再掲	重点施策5
かながわパフォーミングアーツアワード2024	「演劇」に限らず、身体性を伴った舞台芸術作品を幅広く対象とするため、本年より「かながわパフォーミングアーツアワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを開催した。	近年の舞台芸術シーン及び本アワードの傾向として、セリフのみで構成された演劇作品だけではなく、ダンス、音楽、映像を取り入れた作品が主流になっていることから、演劇に限定せず、身体表現をともなう舞台芸術を幅広く対象としたアワードに変更した。	【応募数】57団体 22世紀飛翔枠：6団体 【来場者数】本戦：166人 ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）25人 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：57人	本戦：2024年3月16日～17日 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：2024年1月7日	本戦：KAAT神奈川芸術劇場 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—	再掲	重点施策5
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する舞台公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	8,969人 再生回数：28,116回 公演等回数：37回	2023年4月～2024年3月	オンライン、横須賀市立青少年会館、横須賀芸術劇場、綾瀬市オーエンス文化会館、小田原三の丸ホール、津久井やまゆり園 等	—		重点施策5
令和5年度かながわミュージカルアワード	神奈川県内で活動する市民ミュージカル団体等を公募し、出張審査によりかながわミュージカルアワードを決定した。	書類審査で1団体を選出し、披露公演日を指定し1団体の公演を行っていたが、各参加団体の公演を審査委員が出張審査しアワードを決定する方式とした。	【応募数】8団体	2023年7月1日～12月31日	各参加団体の公演会場（神奈川県内に限る）	—	再掲	重点施策5

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県営団地におけるシニア合唱事業	県営団地において、住民等を対象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリンやピアノ等のコンサートも実施しながら、合唱のレッスンを実施	2,552人	2023年4月～2024年3月	各県営団地（10か所）	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターンシップとして本事業に派遣。学生は運営を支援。県立音楽堂にて成果発表会を実施		重点施策5
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	昨年度に引き続き親子券を導入した。また、団体申込のうち、希望した学校に対し、事前レクチャーを実施した。	1,209人	2023年7月26日、27日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、「大変良かった」「良かった」と95.8%にのぼった。	再掲	重点施策5
人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	文楽人形による観客出迎え及び記念写真コーナー設置、文楽関係写真パネル展示を行った。	1,130人	2023年10月15日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると91.8%にのぼった。	再掲	重点施策5
かながわ伝統文化子ども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 ・複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施することで、参加する子ども達の成長や達成感を高めた。	555人	メインプログラム 2024年1月18日 事前ワークショップ（講談・日本舞踊）2024年1月14日、2月12日、2月18日	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると99.0%にのぼった（昨年度は93.3%）。	再掲	重点施策5
036文化芸術団体相互の連携の促進								
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	293人	2023年12月3日	はまぎんホールヴィアマーレ	—	再掲	重点施策5
かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供する事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力を依頼した。	364人	2024年2月24日、25日 全4公演	青少年センタースタジオHIKARI	出演団体の熱心な意見交流が行なわれ、充実した交流会となった。	再掲	重点施策5
(5)子どもの文化芸術活動の充実 ア文化芸術の鑑賞機会の提供								
037学校等と連携したアウトリーチの展開								
音楽堂アウトリーチ事業	①「先生のためのアウトリーチ」アーティストが地域単位の教員の勉強会「教科研究会」等に講師として訪問し、教員が生徒役となって授業のヒントとなるワークショップを行う形式や、子どもたちを相手にしたモデル授業を視察し、その後気づきを総括するディスカッションを行う形式でのアウトリーチを行った。 ②「子どものためのリハーサル見学」音楽堂共催の神奈川フィル公演当日のリハーサルを小学生～高校生とその保護者に無料で公開した。	①希望する地域に事前訪問し、扱う題材やレベルなどについて講師とともに丁寧にヒアリングして一つ一つのプログラムを創り上げた。 ②オーケストラ事務局、指揮者によるお話し、質疑応答タイムなどで、深い理解を促進した。	①64人 ②348人	①2023年8月25日～2024年1月30日 ②2023年5月27日、2023年7月8日、2024年2月10日	①平塚市立相模小学校、愛川町立中津小学校 ほか ②神奈川県立音楽堂	①記録動画を撮影してダイジェスト版を制作した。今後の参加を検討する教員が閲覧できるよう社会連携ポータルサイトに掲載予定。 ②実施後、音楽堂HPに子どもたちから質問と答えを全文紹介した。		重点施策2
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	—	2023年4月～6月（25回実施）	県内の特別支援学校、小学校、中学校、病院	—		重点施策2
038県立文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施								
KAATキッズプログラム2023「さかさまの世界」	欧州を中心に活躍し高い評価を得る、ダンサー・振付家 伊藤郁女による子どもたちのための新作ダンス作品。	出演者らが劇場近隣の熊貓幼稚園と横濱中華幼稚園に赴いてリサーチ活動を実施。声で地域の子どもたちに参加してもらったり、試演会を行うなど子供たちと深くかかわりあひながら創作活動を行った。	666人	2023年7月1日～9日	KAAT神奈川芸術劇場	クリエイションの過程で、近隣の横濱中華幼稚園にて試演会をおこない、子供たちの反応をみながら創作に豊かに活かすことができた。		重点施策2
KAATキッズプログラム2023「さいごの1つ前」	作・演出は、本作で自身初のキッズ・プログラムを手がける松井周が努め、コロナ禍が生んだ閉塞感や圧迫感に風穴を開ける、驚きと可笑しみのある作品を提供した。	公演前に、作品内に登場する”おてきな地獄”の創作ワークショップをおこない、子供たちがものづくりを体験する機会を創出できただけでなく、演出家・各プランナーの創作のヒントともなり、新たなクリエイションの形となった。	279人	2023年7月21日～22日	KAAT神奈川芸術劇場	令和5年度は神奈川県下（座間と逗子）及び久留米市や松本市等でも実施した。		重点施策2
KAATキッズプログラム2023「くるみ割り人形外伝」	劇作家・演出家として活躍目覚ましい根本宗子による、お芝居に踊り・歌・音楽を織り交ぜた仕掛け満載の音楽劇。	パレエや歌舞伎、音楽など多様なジャンルを織り交ぜながら、子どもも大人も楽しめる音楽劇として創作した。	2,241人	2023年8月5日～13日	KAAT神奈川芸術劇場	—		重点施策2
子どもと大人の音楽堂<子ども編>「せかいほとまち」	夏休みの子ども向け音楽体験企画。多文化共生をテーマに、舞台、ホワイエでのパフォーマンスのほか、ホワイエでのワークショップや様々な国の遊び等の文化紹介、様々な言語による絵本コーナー設置、読み聞かせなど多様な体験ができるワンデイフェスティバル。	神奈川、横浜の多文化環境に留意し、横浜国際交流協会の協力で英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の言語サポートを配置して、当日は多言語場内アナウンスを行うだけでなく、チラシや公立小学校への保護者向けレターも多言語表記にするなど、昨年度に引き続き踏み込んだサービスを行った。	507人（延べ）	2023年7月29日	音楽堂	「紅葉ヶ丘まいらん」参加館とも連携し、外国の絵本コーナーは県立図書館、横浜市中央図書館の協力によるプログラム構成を実現し、中華獅子舞の練り歩き出発点に横浜音楽堂を選ばなど工夫した。		重点施策2
オープンシアター2023	県民ホールにて、ホールを身近に感じてもらう取組として、オープンシアターを開催した。	バックステージツアーや無料ロビーコンサート等も実施した。	1,523人	2023年8月19日	県民ホール本館	大ホール公演では、ダンス劇公演における視覚障がい者向け音声ガイドに取り組んだ。		重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じ、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施した。	—	1,305人	2024年1月～2月	鎌倉市立西鎌倉小学校、大和市立引地台小学校、横須賀市立逸見小学校、平塚市立南原小学校	—	—	重点施策2
赤ちゃんありがとうコンサート	子育て支援事業として、子育て中の親子を対象としたランチタイムコンサートの内容を一部変更して実施した。	乳幼児・未就学児の同伴を可能とし、気兼ねなく親子で楽しめるコンサートを実施した。	入場者：160人 視聴者数 ライブ：10 アーカイブ：304	2024年3月23日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
神奈川フィル・カジュアルコンサート	クラシックやオーケストラに馴染みのない方々向けに、神奈川フィルによるカジュアルコンサートを実施した。	Youtubeによる生配信と、終演後のアーカイブ配信を実施した。	入場者：193人 視聴者数 ライブ：111 アーカイブ：840	2024年3月31日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	昨年度に引き続き親子券を導入した。また、団体申込のうち、希望した学校に対し、事前レクチャーを実施した。	1,209人	2023年7月26日、27日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」「良かった」を合わせると95.8%にのぼった。	再掲	重点施策2
かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供する事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力を依頼した。	364人	2024年2月24日、25日 全4公演	青少年センタースタジオHIKARI	出演団体の熱心な意見交流が行なわれ、充実した交流会となった。	再掲	重点施策2
青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第308回青少年芸術劇場『What's SAMBASO—古典芸能の可能性』を実施した。	・施設の開館60周年及び紅葉坂ホールリニューアル記念と位置づけ、「三番叟」という演目を持つ様々な魅力を若い人に伝えるため、杉原邦生と木ノ下裕一という比較的若いアーティストによる企画・進行とした。 ・演劇部やダンス部の中高生を多数招待した。	477人	2023年7月23日	青少年センター紅葉坂ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると98.7%にのぼった。 ・神奈川新聞文化部の取材記事が掲載された。	再掲	重点施策2
県立金沢文庫における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	小学生を対象に、称名寺や金沢文庫の文化財にちなんだ学習事業を実施した。	期間中の展覧会の展示資料にちなみ、和楽器の実演を行い、子どもたちの興味を誘った。	子ども3人および保護者3人	2023年8月6日	県立金沢文庫	—	—	重点施策2
神奈川県青少年対象演劇鑑賞会	情操豊かで健全な青少年の育成を目的に、カンパニーデラシネラの無言劇による想像力を刺激する作品「はだかの王様」を同演劇鑑賞会で実施した。	鑑賞対象を就学前児童や小学校低学年まで対象年齢を下げつつ、中学生以上の情操豊かで健全な青少年の育成にも役立つ作品を選定した。	324人	2023年5月12日、13日、14日 全6公演	青少年センタースタジオHIKARI	—	再掲	重点施策2
県立近代美術館における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	18歳以下の来館者への「夏のためね(おたのしみと学びのセット)」の無償配布とそれを用いたワークショップの実施	オリジナルの配布教材を開発した。	教材配布数：924個	教材配布時期：2023年7月22日～8月27日 ワークショップ参加者：計65人	教材配布場所：葉山館、鎌倉別館	—	—	重点施策2
県立歴史博物館における子どもたちを対象とした鑑賞事業等の実施	子ども向け催し物を開催するとともに、近隣館と共同企画した夏休み子ども向けイベント「ミュージアムミッション」の開催、子ども向け講座や展示解説を複数回実施した。オンライン上で公開する子ども向けのページ「おうちでかながわけんぱく」についても引き続き内容の充実を図った。	新型コロナウイルス感染防止対策の観点からWEBで実施していたミュージアムミッションについて、今年度は実地での開催とした。また、子ども向け展示解説や講座など、子ども向けのイベントを従来より増やした。	【参加者】 子ども向け催し物：60人 【来館者】 ミュージアムミッション：477人	ミュージアムミッション 2023年7月21日(金)～8月31日(木)	県立歴史博物館	—	—	重点施策2
039文化芸術団体との連携による子どもたちを対象とした音楽体験事業等の実施								
巡回オペラの実施	子供も対象としたオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を上演した。	県域の文化施設に出張して子ども向けの名作オペラを実施し、幅広い県民の鑑賞ニーズに対応した。	557人	①2024年2月24日 ②2024年3月2日	①寒川町民センターホール ②鎌倉芸術館 小ホール	—	再掲	重点施策2
神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ2023(第7期生)	小学4年生～高校3年生の子どもたちがアートホールに集い、神奈川フィル団員の指導を経て神奈川フィルと共演する。感染症対策のため、弦楽器のみで規模を縮小して実施した。	受講生が楽器ごとに分かれて行うパート練習やそれぞれの合奏練習を行った。	受講者数：44人 入場者：205人 視聴者数 ライブ：110 アーカイブ：4,030	2023年8月27日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
神奈川フィルハーモニー管弦楽団公開リハーサル	アートホールで行う神奈川フィルのリハーサルを無料公開した。	希望者にはヘッドホンを貸出し、指揮者の声が聞こえ、オーケストラが「音楽を創る」様子を楽しむことができる工夫をした。	302人	毎月(不定期)	かながわアートホール	—	—	重点施策2
初めての音楽会事業「音楽たまで箱」	小学生に初めてのホールコンサートを体験してもらい、感動を記憶に刻んでもらう。	通常のホールコンサートと同様の演出を行った。	入場者：300人	2023年6月27日	かながわアートホール	—	—	重点施策2
040県立近代文学館での児童文学を題材とした展覧会等の実施								
朗読コンサート「本の芸術家・武井武雄」展に寄せて	神奈川近代文学館のホール等の会場を利用して、常設展に即した内容の朗読コンサートを開催した。	—	138人	2023年7月17日	神奈川近代文学館	朗読コンサート後、多くの参加者が展覧会場にも入場してくれた。	—	重点施策2
イ文化芸術活動の体験機会の充実								
041子どもを対象とした公募美術展開催等の創作活動の支援								
神奈川県美術展中高生特別企画展	青少年の作品発表の機会の提供、創作活動の支援及び県美展の活性化を図るため、県美術展と併催し、公募美術展を開催した。	高文連の美術分野の分け方と統一し、平面立体と工芸の2ジャンルを平面・立体・工芸の1ジャンルに一本化した。	応募点数：532点 応募人数：383人 入選者数：81人 入賞者数：18人 来場者数 4,067人	応募作品搬入：2023年7月1日、2日 展覧会：2023年9月6日～10月1日(うち2日休・開催2日間)	神奈川県民ホールギャラリー	—	—	重点施策2
042文化芸術団体との連携・協働による子どもたちの文化芸術活動の推進								
巡回オペラの実施	子供も対象としたオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を上演した。	県域の文化施設に出張して子ども向けの名作オペラを実施し、幅広い県民の鑑賞ニーズに対応した。	557人	①2024年2月24日 ②2024年3月2日	①寒川町民センターホール ②鎌倉芸術館 小ホール	—	再掲	重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAATキッズプログラム2023「さいごの1つ前」	作・演出は、本作で自身初のキッズ・プログラムを手がける松井周が努め、コロナ禍が生んだ閉塞感や圧迫感に風穴を開ける、驚きと可笑しみのある作品を提供した。	公演前に、作品内に登場する“すてきな地獄”の創作ワークショップをおこない、子供たちがものづくりを体験する機会を創出できただけでなく、演出家・各プランナーの創作のヒントともなり、新たなクリエイションの形となった。	1,452人	2023年7月21日～8月26日	KAAT神奈川芸術劇場ハーモニーホール座間 逗子文化プラザホール 久留米シティプラザ まつもと市民芸術館 美濃加茂市文化会館	令和5年度は神奈川県下(座間と逗子)及び久留米市や松本市等でも実施した。		重点施策2
KAATキッズプログラム2023「くるみ割り人形外伝」	劇作家・演出家として活躍目覚ましい根本宗子による、お芝居に踊り・歌・音楽を織り交ぜた仕掛け満載の音楽劇。	バレエや歌舞伎、音楽など多様なジャンルを織り交ぜながら、子どもも大人も楽しめる音楽劇として創作し、他県(豊橋、松本、北九州)でもツアーをおこなった。	3,515人	2023年8月5日～9月10日	KAAT神奈川芸術劇場 徳の国とよはし芸術劇場PLAT まつもと市民芸術館 J:COM北九州芸術劇場	KAAT神奈川芸術劇場を皮切りに、新作公演を豊橋、松本、北九州の3ヶ所で上演することができた。		重点施策2
043青少年センター、藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供								
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を開講した。	募集に際し、演劇コースのある学校等への広報に力を注いだ。	塾生:14人 成果発表公演観覧者数:240人	2023年11月～3月 ※レッスン 成果発表公演:2024年3月23日、24日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	再掲	重点施策2
青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第308回青少年芸術劇場『What's SAMBASO—古典芸能の可能性』を実施した。	・施設の開館60周年及び紅葉坂ホールリニューアル記念と位置づけ、「三番叟」という演目が持つ様々な魅力を若い人に伝えるため、杉原邦生と木ノ下裕一という比較的若いアーティストによる企画・進行とした。 ・演劇部やダンス部の中高生を多数招待した。	477人	2023年7月23日	青少年センター紅葉坂ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると98.7%にのぼった。 ・神奈川新聞文化部の取材記事が掲載された。	再掲	重点施策2
藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供	【体験事業】 多くの方が気軽に陶芸やガラス工芸などの芸術体験を親しむための常設事業、募集型の体験事業や季節限定体験事業を実施した。 【活動支援事業】 地域との連携により「藤野ぐるっつ陶器市」の会場として、10名程の作家を招聘し実施した。また、絵画や写真等の展示・芸術活動発表の場を提供した。なお、藤野村歌舞伎公演は、新型コロナウイルス制限緩和により、感染対策を講じて人数制限無く実施し、藤野席書き大会も同様に実施した。地元講師を迎えた工芸講座は、作家の準備が令和5年度中は整わず中止したが、電動ロクロの講座や夏休みに子ども向けの講座を実施した。	【体験事業】 体験事業では、季節に合った期間限定メニューの実施のほか、前年度人気のあったメニューに新たな体験メニューを追加して実施するなど、何回でも新たな体験を楽しめる工夫を行った。 【活動支援事業】 活動支援事業では、地域人材や資源を活用し、藤野村歌舞伎公演は感染対策を講じて、人数制限無く実施した。また、藤野席書き大会も換気を十分にするなど、感染対策を講じて実施した。	【体験事業】 体験事業合計 木工体験 7,935人 陶芸体験 5,224人 ガラス工芸等11,128人 【活動支援事業】 活動支援事業合計 21,710人 絵画等展示 1,705人	【体験事業】通年 【活動支援事業】 絵画等展示 通年	藤野芸術の家	体験活動事業において、大人向けや親子を対象とした電動ロクロの講座や夏休みに自由研究に適した教室「本格ベースボール作り・ひょうたんスピーカー作り(一日2回)」を実施し好評だった。		重点施策2
044伝統芸能ワークショップの実施								
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜、横須賀の2会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	129人	①2023年7月22日、23日 ②2023年7月29日、30日 ③2023年8月2日、3日	①横須賀市文化会館 ②秦野市立本町公民館 ③県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、55人(回答者数)から「とても満足・やや満足」との回答があった。	再掲	重点施策2
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①279人 ②251人 ③174人 ④160人	①2023年9月27日 ②10月24日 ③11月5日 ④12月7日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③中央農業高等学校 ④平塚中等教育学校	—	再掲	重点施策2
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①26人 ②11人 ③29人	①2024年1月20日 ②2024年2月11日 ③2024年3月3日	①茅ヶ崎市民文化会館練習室1兼ミニホール ②サン・エールさがみはら多目的室 ③青少年センター練習室	—	再掲	重点施策2
045県立近代文学館での子どもたちが読書に親しむための事業の実施								
かなぶんキッズクラブ(紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等)	子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会を実施した。	文学の名作を原作にしたプログラムとなるよう心がけた。	570人	①紙芝居:2023年8月4日 ②子ども映画会:2023年8月17日、18日 ③読み聞かせ:2023年8月26日 ④紙芝居:2024年3月24日 ⑤子ども映画会:2024年3月27日 ⑥長崎源之助生誕100年記念の集い	神奈川近代文学館	例年の内容に加え、2月に横浜ゆかりの長崎源之助生誕100年の催しを企画した。	再掲	重点施策2
046子どもを対象とした民俗芸能フェスティバルの開催								
かながわ伝統文化子ども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びとあった、生活に密着した地域の伝統文化を持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 ・複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施することで、参加することも達の成長や達成感を高めた。	555人	メインプログラム 2024年1月18日 事前ワークショップ(講談・日本舞踊)2024年1月14日、2月12日、2月18日)	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると99.0%にのぼった(昨年度は93.3%)。	再掲	重点施策2
(6)学校教育における文化芸術活動の充実								
ア文化芸術に関する体験学習等の充実								
047文化芸術団体との連携による音楽体験事業等の実施								
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	—	2023年4月～6月(25回実施)	県内の特別支援学校、小学校、中学校、病院	—	再掲	重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じ、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施した。	—	1,305人	2024年1月～2月	鎌倉市立西鎌倉小学校、大和市立引地台小学校、横須賀市立逸見小学校、平塚市立南原小学校	—	再掲	重点施策2
048かながわ伝統芸能祭などの伝統芸能普及振興事業の実施								
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜、横須賀の2会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	129人	①2023年7月22日、23日 ②2023年7月29日、30日 ③2023年8月2日、3日	①横須賀市文化会館 ②秦野市立本町公民館 ③県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を開いたアンケートの結果、55人(回答者数)から「とても満足・やや満足」との回答があった。	再掲	重点施策2
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①279人 ②251人 ③174人 ④160人	①2023年9月27日 ②10月24日 ③11月5日 ④12月7日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③中央農業高等学校 ④平塚中等教育学校	—	再掲	重点施策2
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	293人	2023年12月3日	はまぎんホールヴィアマーレ	—	再掲	重点施策2
かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 ・複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施することで、参加することも達の成長や達成感を高めた。	555人	メインプログラム 2024年1月18日 事前ワークショップ(講談・日本舞踊) 2024年1月14日、2月12日、2月18日	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると99.0%にのぼった(昨年度は93.3%)。	再掲	重点施策2
049文化芸術による子供の育成事業(文化庁事業)の県内での展開								
文化芸術による子供育成総合事業—コミュニケーション能力総合事業—<学校申請方式>による芸術家と連携した授業を実施するもの。	文化庁「文化芸術による子供育成総合事業—コミュニケーション能力総合事業—<学校申請方式>」による芸術家と連携した授業を実施するもの。	—	1校が採択となった。	5月10日、17日、31日、6月7日、7月19日	藤沢清流高校	—	—	重点施策2
文化芸術による子供育成推進事業	子どもたちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、ワークショップ等を実施することにより、子供たちの豊かな想像力やコミュニケーション能力等を養い、文化芸術に対する知識および教養の向上を図った。	一方的に公演を行うだけでなく、児童・生徒と共演したり、実技指導をするなど、児童・生徒が芸術体験できるよう工夫している。	巡回公演事業：29校実施 派遣事業：22校実施 子供夢・アート・アカデミー：2校実施	2023年6月～2024年2月	各学校の教室・体育館など	—	—	—
050中学・高校文化部活動の充実・支援の実施								
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	275人	2023年8月9日、10日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	—	再掲	—
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、荷台のニーズに合ったプログラム(ステージング)を加え、講習内容を充実させた。	中学生：629人 高校生：483人	中学校：2023年8月5日、6日 高等学校：2023年7月30日、31日	青少年センター	—	再掲	—
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	青少年の舞台表現の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先端的なワークショッププログラムを実施した。	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先端的なワークショッププログラムを実施した。	ダンス編30人	2024年2月13日～15日	青少年センター	プロの公演に参加するというかけがえのない体験機会となり、アンケートでは全員が「大変よかった」と回答した。	再掲	—
中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施した。	—	903人	2023年8月4日	青少年センター紅葉坂ホール	—	再掲	—
青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	各学校(団体)における日頃の取組の成果を発表する場を提供するという「発表会」の本来の趣旨に鑑み、講師による講習を行わないこととした。	1,881人	2023年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	—	再掲	—
中・高等学校演劇発表会	中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	中学生：1,322人 高校生：1,525人	中学校：2023年12月2日、3日 高等学校：2023年11月18日、19日	青少年センター紅葉坂ホール	—	再掲	—
演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。	中学校演劇部のニーズや演劇界の情勢などを考慮し講師を選定した。	中学校：217人	2023年12月16日、2024年1月20日、2月3日、3月10日	横須賀市はまゆう会館、桐光学園、厚木市立厚木中学校、平塚市立江陽中学校	講師による講習や、他校との練習ができたことで、日頃の学内部活動では得られないものがあったという意見が多かった。	—	—
文化部活動指導者研修講座の実施	文化部の部活動インストラクターを対象とした研修講座を実施した。	講座を受講し、条件を満たしており、1年以上の指導実績があり、校長が認めれば、部活動の校外の活動について単独引率を可能としている。	文化部部活動インストラクター7人	2023年9月10日	県立総合教育センター	—	—	—
051県中学・高等学校総合文化祭の開催								
県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	53,652人	2023年10月21日～2024年1月14日	県内各所	—	—	—

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
052 県立高校における文化芸術にかかわる科目等の充実及び文化芸術の発展に寄与する人材の育成								
生徒を対象とした舞台技術研修	2021年度に新設された神奈川総合高校・舞台芸術科を対象とした講座を実施。教育課程カリキュラムの一環としたプログラムを提供する。	施設見学や芸術監督から直に話を聞くことで文化施設での業務全体を体験できるようにした。	①②のべ100人 ③30人 ④32人	①2023年7月14日 ②2023年7月26日～28日 ③2023年8月14日 ④2023年9月25日	KAAT神奈川芸術劇場	—	—	重点施策2
県立高校における舞台芸術に関する学科の新設と支援	県立高校改革実施計画(Ⅱ期)に基づき、県立神奈川総合高校に舞台芸術科を設置。令和6年3月に一期生が卒業した。	アドバイザーボードを設置し、神奈川総合高等学校舞台芸術科の取組について継続的に支援を受ける仕組みを構築した。	協議会構成アドバイザーボード構成員2人、神奈川総合高等学校6人、高校教育課3人、計11人参加予定	—	神奈川総合高等学校	—	—	重点施策2
053 芸術家等や文化芸術団体との連携した教育の実施								
大学等と連携した人材養成プログラム(県民ホール)	東京音楽大学と連携して、学生たちと教員が声楽、ピアノ、オルガンを案内する形での人材育成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施した。	62人	2024年3月10日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策2
054 学校と文化施設との連携の推進								
音楽堂アウトリーチ事業	①「子どものためのリハーサル見学」音楽堂共催の神奈川フィル公演当日のリハーサルを小学生～高校生とその保護者に無料で公開した。 ②「子どものためのリハーサル見学」音楽堂共催の神奈川フィル公演当日のリハーサルを小学生～高校生とその保護者に無料で公開した。	①希望する地域に事前訪問し、扱う題材やレベルなどについて講師とともに丁寧にヒアリングして一つのプログラムを創り上げた。 ②オーケストラ事務局、指揮者によるお話、質疑応答タイムなどで、深い理解を促進した。	①64人 ②348人	①2023年8月25日～2024年1月30日 ②2023年5月27日、2023年7月8日、2024年2月10日	①平塚市立相模小学校、愛川町立中津小学校 ほか ②神奈川県立音楽堂	①記録動画を撮影してダイジェスト版を制作した。今後の参加を検討する教員が閲覧できるよう社会連携ポータルサイトに掲載予定。 ②実施後、音楽堂HPに子どもたちから質問と答えを全文紹介した。	再掲	重点施策2
国立劇場「親子で楽しむ歌舞伎教室」の告知	(本県の取組) ・政令市を除く市町村教育委員会を通じて、公立小・中学校等にチラシを周知した。(イベントには直接関与していない。) (イベント内容) ・歌舞伎俳優が、歌舞伎の魅力や芝居の見どころなどを紹介 ・歌舞伎の鑑賞	—	把握していない	2023年7月16日・20日～24日	国立劇場	—	—	—
(7) 高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実								
ア 高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実								
055 美術展など高齢者を対象とした文化芸術事業の実施								
かながわシニア美術展	県内在住で1965年4月1日以前生まれ(2024年3月31日時点で59歳以上の者)のアマチュアを対象に、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の5部門で作品を公募し、入選作品を展示するとともに、優秀作品の表彰を行った。	過去出品者や神奈川県老人クラブ連合会をはじめ、県内の高齢者団体、県施設へ募集要項や開催通知を配布し、周知に努めた。	応募者数: 237人 出品者数: 226人 入選者数: 226人 総来場者数: 460人	2023年8月31日～9月2日(作品展示期間)	神奈川県民ホール ギャラリー	—	—	重点施策2、4
056 県立施設における文化芸術活動の場の提供などによる障がい者の自主的な活動の支援								
ライトセンター普及啓発事業	神奈川県ライトセンターにおいて、視覚障がい者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供した。	機関紙「ライトセンターだより」やホームページによる情報提供などで広い周知を行った。	653人	月1回～月3回(クラブ活動により異なる)	神奈川県ライトセンター	—	—	重点施策2、4
神奈川県障害者社会参加推進センター事業(文化・芸術祭の開催)(県委託事業)	障がい当事者の文化的活動(絵画、工作、ダンス、合唱等)の発表を行う場を用意し、社会参加の推進を図った。	展示のレイアウト変更に臨機応変に対応したほか、舞台発表団体の立ち位置等の確認作業を入念に行った。	延べ300人	12月2、3日	横須賀市文化会館	—	—	重点施策2、4
障がい者芸術文化活動普及支援事業	「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」を設置し、相談支援事業やワークショップの実施・コーディネーターの養成等の人材育成事業等を行った。	コーディネーター養成のための研修会や勉強会、事業成果発表の報告会をオンラインでも開催し、多くの方に気軽に見てもらえるように工夫した。	相談件数: 170件 研修等参加者数: 延べ79人(全3回) ワークショップ実施事業参加者数: 延べ265人(7箇所24回) 事業成果発表: 22人(全1回)	相談: 平日11時～17時 研修: ①10月20日、②12月11日～12月25日、③2月5日 ワークショップ実施事業: ①②1月18日、2月1、8日③12月8、19日、1月10日④10月28日、11月25日、12月9日⑤9月12日、11月7日、12月14日⑥11月18日、12月1、9日⑦2月21、28日、3月13日 事業成果発表: 2024年2月20日16～18時	相談: 神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター 研修: ①横浜市神奈川区民文化センター ②オンライン配信③社のホールはしもとワークショップ実施事業: 障害福祉サービス事業所等 事業成果発表: 神奈川県民ホール	—	—	重点施策2、4
インクルージョン事業「楽絵ん祭」	障がい児を対象とした音楽・紙芝居等の公演を行った。	地元保土ヶ谷で活動をしている団体と協働しながら運営を行った。	入場者: 100人	2023年7月29日	かながわアートホール	—	—	—
057 特別支援学校、障がい者施設、高齢者施設等での文化芸術団体によるアウトリーチ事業の実施								
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	—	2023年4月～6月(25回実施)	県内の特別支援学校、小学校、中学校、病院	—	再掲	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(創作×地域展示)①	県立小田原支援学校(小中学部・高等部)及び湯河原校舎(中学部、高等部)にアーティストを派遣し、授業でワークショップを実施するとともに、創作作品の展示会をギャラリーで開催した。	創作中の生徒たちの様子がわかる写真や教師からのコメントなどをパネル展示した。	ワークショップ計2日間 27人 展示会来場者数 261人	ワークショップ 2023年7月18日 2023年9月19日 2023年9月28日 展示会 2023年12月20日～12月25日	ワークショップ 県立小田原支援学校及び湯河原校舎 展示会 ギャラリーNEW新九郎	—	—	重点施策2、4

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
ともいきアートサポート事業(創作×地域展示)②	県立津久井支援学校にアーティストを派遣し、授業でワークショップを実施するとともに、創作作品の展示会をギャラリーで開催した。	ワークショップを実施し、創作作品を展示するだけでなく、生徒同士で創作作品を用いたファッションショーを行い、創作作品の見せ方等生徒が自分で考える工夫をした。	ワークショップ 18人参加 展示会 来場者数186人	ワークショップ 2024年1月11日、1月18日、2月22日、2月29日 計4日 展示会 2024年3月6日～10日	ワークショップ 県立津久井支援学校 展示会 もみじホール城山ギャラリー	—	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(創作×地域展示)③	県立茅ヶ崎支援学校にアーティストを派遣し、授業でワークショップを実施するとともに、創作作品の展示会を美術館で開催した。	生徒が使用する粘土について、様々な色(13色)を用意し、生徒自身が選ぶことで、自主性を尊重したワークショップを実施した。	ワークショップ 12人参加 展示会 来場者数2,509人	ワークショップ 2023年9月19日、9月26日 計2日 展示会 2023年11月18日～12月10日	ワークショップ 県立茅ヶ崎支援学校 展示会 茅ヶ崎市美術館	—	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(創作×地域展示)④	県立伊勢原支援学校伊志田分教室にアーティストを派遣し、授業でワークショップを実施するとともに、創作作品の展示会を大学の博物館スペースで開催した。	・オンライン展示も同時開催した。 ・学芸員を目指す大学生が実習として授業でアシスタントとして参加した。	ワークショップ 15人参加 展示会 来場者数 2,013人	ワークショップ 2023年6月12日、6月23日、7月14日 計3日 展示会 2024年3月1日～31日	ワークショップ 県立伊勢原支援学校伊志田分教室 展示会 東海大学松前記念館	—	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(創作×地域展示)⑤	特別支援学校の児童・生徒の鑑賞・創作の場づくりを目指して、特別支援学校の教員等を対象に、外部アーティストを招へいた場合の指導案づくりに向けた、参加体験を含んだ研修講義を企画、実施した。	・県内各地で実施し、様々な地域の教員が参加できるようにした。	ワークショップ 21人参加	ワークショップ 2023年7月27日、8月3日、8月21日 計3日	・横浜市民ギャラリーあざみ野 ・県立スポーツセンター ・横須賀美術館	—	—	重点施策2、4
058県立文化施設での託児サービス等の実施								
託児サービスの実施	県民ホール及びKAAT 神奈川芸術劇場、音楽堂にて託児ルームを設置し、運用した。	乳幼児を育てる県民に対する、文化芸術の鑑賞機会の提供に寄与するため、主催公演において、託児ルームを設置した。	県民ホール本館：19人 KAAT神奈川芸術劇場：53人 音楽堂：6人	県民ホール本館：主催公演 12公演(10演目)※利用申込があったのは、4回(4演目) KAAT神奈川芸術劇場：主催公演 22回(9演目) 音楽堂：主催公演 8公演※利用申し込みがあったのは6公演	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂	—	—	重点施策2、4
059文化芸術を通じた共生社会の実現に向けた取組みの検討								
オープンシアター2023	県民ホールにて、ホールを身近に感じてもらう取組として、オープンシアターを開催した。	バックステージツアー等も実施した。	1,523人	2023年8月19日	県民ホール本館	大ホール公演では、ダンス劇公演における視覚障がい者向け音声ガイドに取り組んだ。	再掲	重点施策2、4
鑑賞サポート事業	芸術文化がより多くの人の心に届くよう、その間にある障壁を、さまざまな鑑賞サポートの実施や、鑑賞携帯のあり方を工夫して解消していく。	これまでの鑑賞サポートに関する研究や知見の集積を生かし、3館での公演において効果的な鑑賞サポートを実施した。	115人(申し込みが必要なサポートの申込者数。申し込み不要なサポートは含まれない)	2023年6月～2024年3月(29回)	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂等	—	—	重点施策2、4
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する舞台公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	8,969人 再生回数：28,116回 公演等回数：37回	2023年4月～2024年3月	オンライン、横須賀市立青少年会館、横須賀芸術劇場、綾瀬市オーエンス文化会館、小田原三の丸ホール、津久井やまゆり園 等	—	再掲	重点施策2、4
県営団地におけるシニア合唱事業	県営団地において、住民等を対象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリンやピアノ等のコンサートも実施しながら、合唱のレッスンを実施	2,552人	2023年4月～2024年3月	各県営団地(10か所)	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターンシップとして本事業に派遣。学生は運営を支援。県立音楽堂にて成果発表会を実施	再掲	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(常設展示)①	県立青少年センター・スタジオHIKARIの「交流スペース」に通年で、障がいのあるアーティストなどの作品の常設展示を行った。	・3か月をめぐりにアート3団体の作品を入れ替えて展示した。 ・県のたより7月号企画面で広く県民に広報周知を図った。	第1期展 来場者数 5,531人、オンライン 711ビュー、動画 85回再生 第2期展 4,564人、オンライン 813ビュー、動画78回再生 第3期展 9,088人、オンライン 909ビュー、動画 17回再生	第1期展 2023年4月18日～7月23日 第2期展 2023年8月1日～11月5日 第3期展 2023年11月14日～2024年3月17日	県立青少年センター・スタジオHIKARIの「交流スペース」	—	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(常設展示)②	ブランチ茅ヶ崎2に通年で、障がいのあるアーティストなどの作品の常設展示を行った。	・3か月をめぐりにアート3団体の作品を入れ替えて展示した。 ・県のたより7月号企画面で広く県民に広報周知を図った。	第1期展 観覧者数約62,300人、オンライン 763ビュー、動画 85回再生 第2期展 約58,600人、オンライン 891ビュー、動画25回再生 第3期展 約67,500人、オンライン 921ビュー、動画 12回再生	第1期展 2023年4月28日～8月6日 第2期展 2023年8月23日～12月3日 第3期展 2023年12月13日～2024年3月24日	ブランチ茅ヶ崎2サノイチイベントスペース及び2階エントランス	—	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(常設展示)③	ブランチ横浜南部市場内のカフェで、障がいのあるアーティストなどの作品の常設展示を行った。	・半年をめぐりにアート2団体の作品を入れ替えて展示した。 ・県のたより7月号企画面で広く県民に広報周知を図った。	第1期展 観覧者数約4,500人 第2期展 観覧者数約4,500人	第1期展 2023年4月19日～9月30日 第2期展 2023年10月4日～2024年3月24日	ブランチ横浜南部市場内のカフェ (kino-COCOCHI/Mr. Head stamp)	—	—	重点施策2、4

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
ともいきアートサポート事業(常設展示)④	大和ハウスの住宅展示場で、障がいのあるアーティストなどの作品の常設展示を行った。	・半年をめぐりにアート2団体の作品を入れ替えて展示した。 ・県のたより7月号企画面で広く県民に広報周知を図った。	第1期展 観覧者数 514人 第2期展 観覧者※確認中	第1期展 2023年4月14日～9月30日 第2期展 2023年10月2日～2024年3月24日	第1期展 →xevoΣ藤沢展示場 第2期展 →厚木xevoΣ展示場	—	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(巡回展示)①	神奈川県庁新庁舎1階ロビーで障がいのあるアーティストなどの作品の展示を行った。	①、②ともに新規の団体が展示を実施した。	①1,673人 ②1,586人	①2023年7月21日～31日 ②2023年11月1日～13日	神奈川県庁新庁舎1階ロビー	—	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(巡回展示)②	神奈川県民ホールで障がいのあるアーティストなどの作品の展示を行った。	神奈川県美術展1期展、中高校生特別企画展と併催した。展示団体は以下の2団体	来場者数 1,744人 ホームページアクセス数8.5万回	2023年9月6日～9月17日	神奈川県民ホール	—	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業(リース支援事業)	障害福祉サービス事業所の作品を知事執務室でリース展示した。	2～3か月ごとに展示替えを行った。	—	2023年4月～2024年3月	知事執務室	—	—	重点施策2、4
(1)文化芸術に関する交流の推進								
ア地域間交流の推進								
060他県との文化芸術を介した交流の推進								
神奈川芸術劇場(KAAT)での企画制作事業の実施	KAAT神奈川芸術劇場プロデューサー作品等を他府県で上演した。	KAAT神奈川芸術劇場の作品を各地で上演した。	9,279人	通年 4演目(15公演)・1企画(1回)	まつもと市民芸術館 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 高槻城公演芸術文化劇場 久留米シティプラザ J:OCM北九州芸術劇場 京都芸術劇場 春秋座 神戸文化ホールほか	—	再掲	
県立金沢文庫における文化財の貸出、借入れ	金沢文庫での特別展の実施にあたり、他の博物館や社寺などから資料の借入れを行った。	—	—	—	—	—	—	他の博物館や社寺などからの借入れ：236点
県立近代美術館における巡回展の実施	国内外の近現代美術の調査研究に基づく、巡回型の展覧会を実施した。	—	入館者数 「佐藤忠良」展：2023年4月22日～7月2日、 人、「芥川龍之介と美の世界」展：2023年2月10日～4月7日	「佐藤忠良」展：2023年4月22日～7月2日、 「芥川龍之介と美の世界」展：2023年2月10日～4月7日	近代美術館	—	—	
県立歴史博物館における収蔵資料の貸出	県外の博物館等の展覧会への収蔵資料の貸出を行った。	貸出先における展示環境等の把握に努め、より良い形での公開ができるよう貸出先と調整を行った。	—	—	—	—	—	栃木市立美術館、十日町市博物館、愛知県美術館、豊田市美術館、神戸市立博物館、福山城博物館、山口県立萩美術館・浦上記念館などの博物館・美術館へ貸出を行った。
061国民文化祭への県内文化芸術団体の参加促進								
国民文化祭	国民文化祭の開催県である沖縄県と連携し、参加団体へ国民文化祭の開催及び参加を周知した。	—	—	各イベントによる	石川県内	—	—	
062全国高等学校総合文化祭への参加								
全国高等学校総合文化祭への参加	全国高等学校総合文化祭への生徒派遣を通して、相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	全国高等学校総合文化祭・鹿児島大会(開会式・専門部門26部門各会場、閉会式県内参加者数：847人)	2023年7月29日～8月4日	鹿児島県内各所(開会式：西原商会アリーナ)	—	—	
063県高等学校総合文化祭の開催								
県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	53,652人	2023年10月21日～2024年1月14日	県内各所	—	再掲	
イ国際文化交流の推進								
064神奈川の文化芸術の海外発信								
横浜国際舞台芸術ミーティング 2023 (YPM2023)	舞台芸術に係るプロフェッショナルが公演・ディスカッション・ワークショップ等の多彩なプログラムを通じて、情報交換・相互学習・ネットワークの構築の場を提供した。	横浜市や地域のステークホルダーとの共同を進め、多様な表現を実現し社会をみつめる機会を県民に提供した。	513人	2023年12月10日～17日	KAAT神奈川芸術劇場ほか	—	—	重点施策3
キエフ(キーウ)・クラシック・バレエ「チャイコフスキー 夢の三大バレエ名場面集」	海外の文化芸術の県民への鑑賞機会の提供のために海外のバレエ公演を実施した。	—	1,719人	2023年10月7日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策3
065三県省道やベトナム等との文化交流事業の推進								
ベトナム文化等交流事業	「ベトナムフェスタin神奈川2023」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2023」を開催した。	日越外交関係樹立50周年、日本ASEAN友好協力50周年記念事業として実施。ベトナム現地では文化交流プログラム開催会場をより賑わいのある場所に変更した。	ベトナムフェスタ約20万人 KANAGAWA FESTIVAL約9万5千人	ベトナムフェスタ2023年9月8日～10日 KANAGAWA FESTIVAL2023年11月16日～19日	ベトナムフェスタ 日本大通り、神奈川県庁、象の鼻パーク等 KANAGAWA FESTIVAL ハノイ市・戦没者記念像前広場	—	—	重点施策3

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
友好県省道交流会議	神奈川県、中国・遼寧省、韓国・京畿道の3地域で、2年ごとに各地持ち回りで開催し、共通課題や文化交流等の促進について議論を行い、課題解決のために連携・協力し、ネットワークの形成を図る。	コロナ禍を経て4年ぶりに3地域の代表者が対面で集う場になったことを生かし、連携・協力のための関係を深化させた。	約50人	2023年8月29日	韓国・京畿道	-		重点施策3
三県省道スポーツ交流事業	神奈川県、中国・遼寧省、韓国・京畿道の青少年によるスポーツの親善試合や交流事業実施のため、神奈川県選手団を京畿道に派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	-	-	-	-	-		重点施策3
066国際児童画展の開催								
カナガワビエンナーレ国際児童画展	次代を担う子どもたちの夢と創造力を育み、絵画を通じてお互いの生活や文化を理解し、交流を深めるふれあいの場となることを目的として、昭和56年(1981年)から隔年で開催している(応募資格:満4歳以上15歳以下。テーマは自由。)	広く世界各地から作品を募集し、また受賞作品の地球市民かながわプラザでの展覧会や巡回展等を行った。	①第22回カナガワビエンナーレ国際児童画展 5,153人 ②第22回カナガワビエンナーレ国際児童画展巡回展(県内13会場) 17,444人	①2023年7月11日～8月27日 ②2023年9月4日～2024年3月31日	地球市民かながわプラザ等	-		重点施策3
067アーティストインレジデンス								
2023年度は実施しませんでした。								
ウ多文化理解の推進								
068「あーすフェスタかながわ」など多文化理解を推進するためのイベントの実施								
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する舞台公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	8,969人 再生回数:28,116回 公演等回数:37回	2023年4月～2024年3月	オンライン、横須賀市立青少年会館、横須賀芸術劇場、綾瀬市オーエンス文化会館、小田原三の丸ホール、津久井やまゆり園等	-	再掲	重点施策3
あーすフェスタかながわ2023	多様な国籍文化や民俗の違いを理解し、認め合うことのできる多文化共生社会の実現をめざし、「あーすフェスタかながわ2023」を開催した。	実施会場拡大や企画内容の充実を図りながら、象の鼻パーク周辺で開催した。来場者の回遊性を考え、従来の企画に加えてスタンプラリー企画等を行った。	約1.2万人	2023年12月3日	象の鼻パーク、神奈川県庁本庁舎	アンケートの結果、約88.4%の人が「とてもたのしかった」「たのしかった」と回答している。		重点施策3
069地球市民かながわプラザ等での多文化理解を推進するための講座等の実施								
地球市民かながわプラザ指定管理事業(学習センター事業、情報・相談センター事業、サポート・ネットワーク事業)	多文化共生の地域社会づくりに向け、多文化理解を推進するため、地球市民かながわプラザにおいて、展示学習などの学習センター事業、映像・図書資料の収集提供や外国籍県民相談等の情報・相談センター事業やNPO等活動支援などのサポート・ネットワーク事業等を実施した。	指定管理により、子どもから大人まで幅広い年齢層にプラザの理念や趣旨を魅力的に伝え、家族連れや友達同士で楽しく遊べるプログラムを実施する展示学習事業や大人も対象とした企画展及び関連イベントをバランスよく実施し、また校外学習の受け入れ等を行った。	395,226人	2023年4月1日～2024年3月31日	地球市民かながわプラザ	-		重点施策3
070かながわ国際交流財団との連携による留学生との交流を図る取組の推進								
高等学校等多文化理解推進事業	青少年世代が多様な文化や言語を持つ人たちとより密接にかかわり共生してゆくため、多文化共生について学ぶ授業、講演会等を実施した。	講演だけではなく、ワークショップなど、より理解を深められる手法を検討し実施している。	15校(699人)	2023年6月～2023年12月	県内高校(15校)	-		重点施策3
青少年国際交流セミナー等開催事業①	①多文化共生社会を担う青少年世代に自発的、主体的な学びの場を提供するためのセミナーを開催した。 ②日本と外国の異なる文化や多様な価値観等について理解を深めるための参加型セミナーを実施した。	企画段階から県立高校と意見交換を行い、昨年度まではオンラインであったが対面とした。	①22人 ②17人	①2023年12月16日 ②2023年7月15日、2023年10月21日	①TKP横浜西口カンファレンスセンター等 ②神奈川県民センター、オンライン	-		重点施策3
青少年国際交流セミナー等開催事業②	多文化共生社会の実現をけん引できるリーダー的人材育成のため、大学生や若手社会人等を対象に、市民による多文化共生活動への理解を深めるためのセミナーを実施した。	セミナーは対面とし、フィールドワークは対面での現地視察を行った。	31人	2023年7月16日	横浜市霧が丘地域ケアプラザ地域包括支援センター	-		重点施策3
(2)創造的活動等の推進								
ア創造的活動の推進と発信								
071県立文化施設における新たな舞台芸術作品等の創造・発信								
神奈川県芸術劇場における新たな舞台芸術作品の創造や新作公演の実施	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演、アトリウムでの現代美術の展覧会を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	30,165人	10演目(102公演)・3企画(3回)・1展覧会	KAAT神奈川県芸術劇場	-		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
かながわパフォーミングアーツアワード2024	「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、本年より「かながわパフォーミングアーツアワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを開催した。	近年の舞台芸術シーン及び本アワードの傾向として、セリフのみで構成された演劇作品だけではなく、ダンス、音楽、映像を取り入れた作品が主流になっていることから、演劇に限定せず、身体表現をとともう舞台芸術を幅広く対象としたアワードに変更した。	【応募数】 57団体 22世紀飛翔杯：6団体 【来場者数】 本戦：166人 ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）25人 22世紀飛翔杯選抜大会（県内高校生選抜大会）：57人	本戦：2024年3月16日～17日 22世紀飛翔杯選抜大会（県内高校生選抜大会）：2024年1月7日	本戦：KAAT神奈川芸術劇場 22世紀飛翔杯選抜大会（県内高校生選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—	再掲	
令和5年度かながわミュージカルアワード	神奈川県内で活動する市民ミュージカル団体等を公募し、出張審査によりかながわミュージカルアワードを決定した。	書類審査で1団体を選出し、披露公演日を指定し1団体の公演を行っていたが、各参加団体の公演を審査委員が出張審査しアワードを決定する方式とした。	【応募数】 8団体	2023年7月1日～12月31日	各参加団体の公演会場（神奈川県内に限る）	—	再掲	
072文化芸術団体や民間企業・芸術系大学等との連携による先駆的で発信性の高い文化芸術の創造								
神奈川芸術劇場における新たな舞台芸術作品の創造や新作公演の実施	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演、アトリウムでの現代美術の展覧会を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	30,165人	10演目（102公演）・3企画（3回）・1展覧会	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	
県内巡演企画KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト第二弾「箱根山の美女と野獣」「三浦半島の人魚姫」	KAATの長塚芸術監督が神奈川県内のエピソードを題材に制作したオリジナル作品を、KAATを皮切りに県内5ヶ所の劇場を巡回した。	観劇体験のない方でも気軽に観劇していただけるよう、親しみやすい題材や広報ビジュアル、上演内容を立案した。	1,413人	2024年2月17日～3月3日	ハーモニーホール座間 川崎市アートセンター 小田原三の丸ホール 逗子文化プラザホール 茅ヶ崎市民文化会館	各地で、芸術監督によるアフタートークやブレイイベントなどをおこなった。		
073新進芸術家等への支援の検討								
創作環境と劇場の未来を考えた劇場の創造活動の核を育てていく取組「カイハツ」	劇場が常に考える場、豊かな発想を生み出す場となることを目指し、クリエイションのアイデアをカイハツするプロジェクトとして、2021年度より開始した。	企画・人材カイハツ、創作プロセスカイハツ、戯曲カイハツの3柱を設け、創作環境と劇場の未来を考える企画とした。	135人	2023年4月17日～2024年3月15日 6企画	KAAT神奈川芸術劇場	劇場ホームページにおいて、この取組と実施内容について広報を行った。	再掲	
第39回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図る目的で、2023年8月19日に入賞者を対象としたクリスタルコンサート、10月1日に上位入賞者によるトップコンサートを実施した。	—	参加者数：744人 鑑賞者数：1,750人 （クリスタルコンサート及びトップコンサート）の鑑賞者数：1,100人	①クリスタルコンサート：2023年8月19日 ②トップコンサート：2023年10月1日 コンクール全体は2023年3月19日～11月18日	①クリスタルコンサート：横浜市青葉区民文化センター「フィリアホール」 ②トップコンサート：神奈川県立音楽堂	—	再掲	
(3)文化資源の活用								
ア文化芸術事業の発信力の強化								
074神奈川発のコンテンツの創出								
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する舞台公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	8,969人 再生回数：28,116回 公演回数：37回	2023年4月～2024年3月	オンライン、横須賀市立青少年会館、横須賀芸術劇場、綾瀬市オーエンズ文化会館、小田原三の丸ホール、津久井やまゆり園 等	—	再掲	
県営団地におけるシニア合唱事業	県営団地において、住民等を対象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリンやピアノ等のコンサートも実施しながら、合唱のレッスンを実施	2,552人	2023年4月～2024年3月	各県営団地（10か所）	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターンシップとして本事業に派遣。学生は運営を支援。県立音楽堂にて成果発表会を実施	再掲	
075「マグル」の全県展開								
神奈川文化プログラム認証制度	県内で実施する事業・活動について、一定の要件を満たすものを神奈川県文化プログラムとして認証した。	—	認証件数：554件	—	県内全域	—	再掲	
かながわ県民文化祭	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	県の媒体を活用した広報活動を実施するとともに、X（旧twitter）を活用したリツイートキャンペーンを実施し、事業の周知を図った。	参加プログラム数：291件	—	県内全域	—	再掲	
マグル開放区	県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施した。	2022年10月より、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら再開。令和5年度は年間通して計28回実施。	出演者数：846人 参加者数：103,056人	4/9, 4/16, 4/23, 4/30, 6/11, 6/18, 6/25, 7/9, 7/16, 7/30, 8/6, 8/20, 9/2, 9/3, 10/1, 10/8, 11/5, 11/19, 12/3, 12/10, 12/24, 1/7, 1/28, 2/11, 3/3, 3/10, 3/17, 3/24	県庁前日本大通り	—	再掲	重点施策5
バーチャル開放区	県庁前日本大通りで音楽やダンスなど自由に発表できる空間「マグル開放区」の開催場所を路上からオンライン上に移して、文化芸術オールジャンルの動画コンテスト「バーチャル開放区」を実施した。	ワンストップで申請できるよう、外部サイトを作成した。	応募件数：154件 視聴結果 《HP/PV数》 30,260回 《再生数》 188,600回 （HP、再生数ともに2023年7月14日～2024年3月31日）	動画応募期間 2023年7月14日～10月31日	インターネット上	—	再掲	重点施策5
マグル展開促進補助金	県が推進する「マグル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以上上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：182件 助成団体数：45件 採択額：47,098千円 参加者数：29,777人 オンライン視聴者数：2,618人	1次募集： 2023年2月13日～3月15日 募集、4月28日及び5月18日交付決定 2次募集： 2023年6月8日～7月11日 募集、8月29日交付決定	—	—	再掲	

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
076舞台芸術に関わる人材の育成								
2023年度インターン(KAAT神奈川芸術劇場)	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。	劇場運営コースのインターンでは、KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の人魚姫』の公演事業に関わり、制作業務および当日運営について学んだ。舞台技術コースでは、実際の公演現場で技術スタッフの指導を受けながら実務作業を学び、劇場運営の就業体験を行った。	3人	2024年1月9日～2月17日	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	重点施策5
舞台技術講座2024	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供する	①86人 ②16人 ③25人	①2023年6月23日 ②2024年3月6日 ③2024年3月7日	KAAT神奈川芸術劇場	—	—	—
制作広報インターン事業の実施	シリーズ「新しい視点」の『紅葉坂プロジェクト』『庄司紗矢香』を中心的題材に、制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを実施した。	「新しい視点」の一環として音楽堂公式アカウントでインターンによる広報SNS発信、公演や企画募集のチラシをどこに掲示するか等の広報計画作成を行った。また文化庁の助言もあり、人数を例年より増やした。	6人	2023年8月26日～9月29日	音楽堂	—	再掲	重点施策5
昭和音楽大学寄付講座	昭和音楽大学と連携し、劇場職員による講義を実施した。	学部の「芸術文化と社会Ⅱ」「芸術運営論Ⅱ」の講義を実施した。(2科目合同授業)	43人	2023年12月12日 2023年12月19日	昭和音楽大学	—	再掲	重点施策5
劇場体験インターン事業	公共ホールでの文化事業の実習として、音楽事業制作と施設運営の両面を学び・体験する事業を実施した。	公立文化施設における文化事業を学ぶため、座学で学んだうえで、制作の現場を体験する内容とした。	2人	2024年1月31日～2月27日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策5
大学等と連携した人材養成プログラム(県民ホール)	東京音楽大学と連携して、学生たちと教員が声楽、ピアノ、オルガンを案内する形での人材育成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施した。	62人	2024年3月10日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策5
劇場運営マネジメント講座	県内の劇場・文化施設の施設利用担当者を主な対象とし、専門性を高く設定した人材育成講座を実施した。	①これからのインクルーシブ社会と公立文化施設の取組、 ②利用業務の能力をブラッシュアップする「基本を学びなおす」の2つの講座を実施した。	①28人 ②44人	①2024年2月29日 ②2024年3月27日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策5
オーディション事業(県民ホール)	県民ホールで実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施した。	①25人 ②4人	①2023年4月29日 ②2023年8月30日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策5
マグカルシスター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	年齢や経歴、作風に関係なく、参加団体同士が自劇団以外の作品に触れ、刺激を受け、自劇団の今後の公演に役者としてオファーしたり、演劇に関する情報を共有したりと、交流や結束が深まり、演劇に携わって間もない新人の方々にとって、刺激的で学ぶ機会にもなり、出会いと交流が深まった。	5,918人	2023年4月～2024年3月	青少年センター スタジオ「HIKARI」 かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としていること、出演団体の種別やかながわアートホールが増えるなど、すそ野が広がっている。	再掲	重点施策5
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学ぶ舞台塾を開講した。	募集に際し、演劇コースのある学校等への広報に力を注いだ。	塾生：14人 成果発表公演観覧者数：240人	2023年11月～3月 ※レッスン 成果発表公演：2024年3月23日、24日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	再掲	重点施策5
かながわパフォーミングアーツアワード2024	「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、本年より「かながわパフォーミングアーツアワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを開催した。	近年の舞台芸術シーン及び本アワードの傾向として、セリフのみで構成された演劇作品だけではなく、ダンス、音楽、映像を取り入れた作品が主流になっていることから、演劇に限定せず、身体表現ともなる舞台芸術を幅広く対象としたアワードに変更した。	【応募数】 57団体 22世紀飛翔枠：6団体 【来場者数】 本戦：166人 ライブ視聴者数(瞬間最多視聴者数)25人 22世紀飛翔枠選抜大会(県内高校生枠選抜大会)：57人	本戦：2024年3月16日～17日 22世紀飛翔枠選抜大会(県内高校生枠選抜大会)：2024年1月7日	本戦：KAAT神奈川芸術劇場 22世紀飛翔枠選抜大会(県内高校生枠選抜大会)：県立神奈川総合高等学校	—	再掲	重点施策5
令和5年度かながわミュージカルアワード	神奈川県内で活動する市民ミュージカル団体等を公募し、出張審査によりかながわミュージカルアワードを決定した。	書類審査で1団体を選出し、披露公演日を指定し1団体の公演を行っていたが、各参加団体の公演を審査委員が出張審査しアワードを決定する方式とした。	【応募数】 8団体	2023年7月1日～12月31日	各参加団体の公演会場(神奈川県内に限る)	—	再掲	重点施策5
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	275人	2023年8月9日、10日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	—	再掲	重点施策5
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先端的なワークショッププログラムを実施した。	参加者のうち希望者には講師が出演する公演にアンサンブルとして出演する機会を与えられることとした。	ダンス編30人	2024年2月13日～15日	青少年センター	プロの公演に参加するというかけがえのない体験機会となり、アンケートでは全員が「大変よかった」と回答した。	再掲	重点施策5
演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。	中学校演劇部のニーズや演劇界の情勢などを考慮し講師を選定した。	中学校：217人	2023年12月16日、2024年1月20日、2月3日、3月10日	横須賀市はまゆう会館、桐光学園、厚木市立厚木中学校、平塚市立江陽中学校	講師による講習や、他校との練習ができたことで、日頃の学内活動では得られないものがあつたという意見が多かった。	再掲	重点施策5
県立高校における舞台芸術に関する学科の新設と支援	県立高校改革実施計画(Ⅱ期)に基づき、県立神奈川総合高校に舞台芸術科を設置。令和6年3月に一期生が卒業した。	アドバイザーボードを設置し、神奈川総合高等学校舞台芸術科の取組について継続的に支援を受ける仕組みを構築した。	協議会構成アドバイザーボード構成員2人、神奈川総合高等学校6人、高校教員3人、計11人参加予定	—	神奈川総合高等学校	—	再掲	重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績									
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策	
077文化プログラムの展開とレガシーづくり									
神奈川県文化プログラム認証制度	県内で実施する事業・活動について、一定の要件を満たすものを神奈川県文化プログラムとして認証した。	—	認証件数：554件	—	県内全域	—	再掲	重点施策 4	
かながわ県民文化祭	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	県の媒体を活用した広報活動を実施するとともに、X（旧twitter）を活用したツイートキャンペーンを実施し、事業の周知を図った。	参加プログラム数：291件	—	県内全域	—	再掲	重点施策 4	
イ文化資源を活用した地域の活性化									
078相模湾沿岸地域一帯に残る邸宅・庭園や歴史的建造物を保全・活用した地域づくりの推進									
湘南邸園文化祭2023	9月～12月にかけて相模湾沿岸の13市町の邸園等において、31の市民団体等により57のイベントを実施した。	—	延べ約51,000人	2023年9月9日～12月10日	相模湾沿岸地域一帯の邸宅・庭園等	—			
079県西地域の豊かな自然環境や歴史的・文化的遺産などを保全・活用した箱根ジオパーク等の取組みの推進									
箱根ジオパーク推進協議会事業	<ul style="list-style-type: none"> 保全活動の実施 普及活動の実施 フォトコンテスト作品展の開催 ガイド養成講座の実施 サポーター講座の開催 ジオツアーの実施 教育活動の実施 箱根ジオパーク特産品の募集・認定 サインの整備 パンフレット等作成 第13回日本ジオパーク全国大会in関東の共同開催 	<ul style="list-style-type: none"> サイン整備事業において、多言語版ページを作成した。 ガイド養成講座において、オンラインで開催することで参加しやすい方法とした。 ジオツアーはオンラインで実施した。 第13回日本ジオパーク全国大会in関東の共同開催における運営事業として、講演会や親子体験教室、ジオツアーを開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> サポーター講座（第一回：28人 第二回：13人） ジオツアー20人 教育部会一般講座87人 小学生を対象とした講座（春休み：17人 夏休み：153人） 	通年	通年	—			
080「鎌倉」の世界文化遺産登録の推進									
「鎌倉」の世界文化遺産登録の推進	世界遺産登録を目指す「鎌倉」の構成資産について、適切な保存管理と積極的な公開活用を図るため、県費補助金による助成を行った。また、文化財保護ポスター事業に係り「世界遺産登録をめざす鎌倉」部門の最優秀作品をポスターとして県内各地に掲示し、機運の醸成を図った。	—	—	—	—	—			
081日本遺産の新たな認定の推進と活用による地域活性化									
「日本遺産」に関する情報提供及び支援	「日本遺産」の新規認定申請について、県内市町村等に周知を行った。また、既認定の「日本遺産」について、文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。	—	—	—	—	「日本遺産」の「候補地域」の募集について、県内市町村等に周知を行った。また、既認定の「日本遺産」について、文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。			
082地域に伝承されてきた文化等の発掘・発信・体験の促進									
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜、横須賀の2会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	129人	①2023年7月22日、23日 ②2023年7月29日、30日 ③2023年8月2日、3日	①横須賀市文化会館 ②秦野市立本町公民館 ③県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、55人（回答者数）から「とても満足・やや満足」との回答があった。	再掲		
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①279人 ②251人 ③174人 ④160人	①2023年9月27日 ②10月24日 ③11月5日 ④12月7日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③中央農業高等学校 ④平塚中等教育学校	—	再掲		
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①26人 ②11人 ③29人	①2024年1月20日 ②2024年2月11日 ③2024年3月3日	①茅ヶ崎市市民文化会館練習室1兼ミニホール ②サン・エールさがみはら多目的室 ③青少年センター練習室	—	再掲		
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟6団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	令和4年度同様、事業の周知を目的として入場料を無料にして開催した。	368人	2023年11月5日	県立青少年センター	—	再掲		
カナガワ・古典プロジェクト in 海老名・山北	海老名市を舞台に山北のお峰入り、大谷歌舞伎などのホール公演やワークショップなど様々な企画を実施したほか、山北町ではサブ会場としてお峰入りの歴史・体験ブースの設置やハイキングツアーを行った。	山北町で事前PR等を行い多様な媒体による広報活動等も功を奏し、海老名の公演は過去最大の人数の集客に繋げることができた。	来場者数： （山北町） ブース参加者403人 ツアー参加者30人 （海老名市） 公演850人 ワークショップ29人	（山北町） 2023年10月8日 （海老名市） 2024年2月11日	山北のお峰入り会場（川村小学校、大野山、神明社他） 海老名市文化会館 海老名市自由通路	—	再掲		
かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	<ul style="list-style-type: none"> ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施することで、参加することも達の成長や達成感を高めた。 	555人	メインプログラム 2024年1月18日 事前ワークショップ（講談・日本舞踊）2024年1月14日、2月12日、2月18日	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると99.0%にのぼった（昨年度は93.3%）。	再掲		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立歴史博物館における特別展の実施	特別展「あこがれの祥啓」、「関東大震災」、「足柄の仏像」、コレクション展「藤助さんと幕末」、特別陳列「戦国大名北条氏と西相模・伊豆」を実施した。	「ポケット学芸員」を活用した音声・文字による展示ガイドを行った。また、関連事業として講演会や展示解説を積極的に行った。	特別展「あこがれの祥啓」8,848人、「関東大震災」15,006人、「足柄の仏像」17,267人	特別展「あこがれの祥啓」2023年4月29日～6月18日、「関東大震災」同7月29日～9月18日、「足柄の仏像」同10月7日～11月26日、コレクション展「藤助さんと幕末」2024年2月17日～3月24日、特別陳列「戦国大名北条氏と西相模・伊豆」同3月16日～4月14日	県立歴史博物館	—	再掲	
民俗芸能調査事業費	「菊名の飴屋踊り」を初めとして、県内に所在する「飴屋踊り、万作踊り」について、現状等の記録保存を行うことにより、県内の民俗芸能の保存・継承の基礎資料とするとともに、調査において当該芸能の特色を明らかにする。令和4年度から調査を開始し、令和6年度に報告書を刊行予定である。	調査委員・補助調査員による現地調査及び、事務局による関連文献の調査を実施した。	調査員4人、補助調査員2人	現地調査・文献調査2023年4月15日ほか56回	三浦市南下浦町菊名、横須賀市長井ほか	—	再掲	
083県立文化施設の地域の賑わい創出等への活用								
KAATフレンドシッププログラム	街の一部である劇場、またあらゆる人々に「ひらかれた」劇場を目指し、外を歩く人々からもを見渡せるKAATのアトリウムを会場として、演劇・音楽・ダンス・現代美術・トークイベント等を開催。	中華街の春節にあわせて、巨大なランタンを展示するほか、定期的に1回ボックスツアーを開催。	775人	4企画（5回）	KAAT神奈川芸術劇場アトリウム ほか	—		
前川建築見学ツアー	ボランティアグループbridgeと協働し、音楽堂の見学ツアーを定期的に実施した。	主催公演とあわせた開催とすることや、フルコース、無料のショートコースを設けるなど参加しやすい形式を取り入れた。	226人	2023年5月2日～2024年2月3日	音楽堂	—		
音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーの5館の連携事業	5館共同で「紅葉ヶ丘まいらん・秋のスタンプラリー・見学会」を開催し、地域を回遊するスタンプラリーなどを実施したほか、「せかいほとみだち！」の日は同時開催の横浜能楽堂オープンデーと共同で、県立図書館、能楽堂、市民ギャラリーの協力プログラムを取り入れた。	「紅葉ヶ丘まいらん」では5館それぞれで写真パネル展や無料入場のイベントを開催した。音楽堂ではこの機に無料のミニコンサート付き建築見学会を実施して地域の新しい客層を呼び込んだ。	300人（11月3日／音楽堂単独） 7月29日は「子どもと大人の音楽堂 せかいほとみだち！」に掲載	2023年7月29日、11月3日	音楽堂、県立図書館、県立青少年センター、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーほか周辺地域	イベント広報にあたり、横浜市中区役所、伊勢山皇大神宮等地域の様々な組織の協力の得ることで地域ネットワークの強化ができた。		
084ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信								
観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信した。	美術館等のスポット情報を掲載する。トップページ等にてイベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マガカル・ドット・ネット」と「観光かながわNOW」をリンクさせる。	—	通年	—	—		
無形民俗文化財及び民俗行事等の情報提供	神奈川県無形民俗文化財及び民俗行事等の開催日時の掲載を行った。	—	ページビュー数：1,828件	—	—	「民俗芸能記録保存調査（飴屋踊り、万作踊り）」の調査を行うことができた。		
085地域の産品の普及、伝統的工芸品の製品フェア開催など文化資源の普及、育成								
関東ブロック伝統的工芸品展2023	関東甲信越静地区の伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行った。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	来場者数：6,400人	2023年12月26日から31日まで	横浜高島屋	—		
伝統的工芸品祭 銀座名匠市	大消費地での全国伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行った。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	来場者数：25,571人	2024年2月23日から28日まで	松屋銀座	—		
工芸技術所所内公開と寄木ストラップ作り	かながわサイエンスサマの参加行事として、工芸技術所の所蔵品を専門員の解説付きで案内するとともに、寄木ストラップ作りの体験を行った。	地元広報誌での情報掲載や、地元小学校への個別広報等、広く周知活動を行った。	来場者数：144人	2023年8月4日	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		
工芸技術所所蔵品公開	11月の伝統的工芸品月間に合わせ、所蔵する伝統工芸品を専門員の解説付きで公開するとともに、かながわ県民センターにおいて伝統工芸品の小展示を行った。	県のたよりや、地元広報誌での情報掲載等、広く周知活動を行った。	来場者数：23人（中小企業支援課小田原駐在事務所会場）	2023年11月24日、11月29日、11月30日（中小企業支援課小田原駐在時事務所会場） 2023年11月20日から30日まで（かながわ県民センター会場）	中小企業支援課小田原駐在事務所及びかながわ県民センター	—		
伝統的工芸品と宿泊事業者とのマッチング事業	有名宿泊施設と連携して、本県の伝統的工芸品を宿泊施設にて展示・販売する。なお、京王プラザホテルにおいては、あわせて箱根寄木細工制作体験を行った。	有名宿泊施設と本県の伝統的工芸品産地との連携を構築した。	・京王プラザホテルにおける箱根寄木細工制作体験：26人 ・展示については、いずれの施設においてもロビーでの展示であるため、来場者数不明	①2023年12月15日から2024年1月31日 ②2024年2月1日から3月31日	①ホテル椿山荘東京 ②京王プラザホテル	—		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
086フィルムコミッション活動支援事業の推進								
フィルムコミッション活動支援事業	神奈川ロケーションサポートデスクの設置（制作会社からの問合せに対して、お薦めロケ地のPRや、フィルムコミッションの紹介、市町村との調整などの機能を担う。）	公益社団法人神奈川県観光協会の実施する各種観光プロモーション事業と効果的かつ一体的に実施するため、2018年4月から同協会に神奈川ロケーションサポートデスク事業を移管。	神奈川ロケーションサポートデスクへの問い合わせ件数…130件 4月…20件 5月…13件 6月…8件 7月…8件 8月…16件 9月…16件 10月…8件 11月…12件 12月…4件 1月…6件 2月…7件 3月…12件	通年	(公社)神奈川県観光協会	—		
087各市町村における文化活動の情報交換・連携								
かながわ県民文化祭	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	県の媒体を活用した広報活動を実施するとともに、X（旧twitter）を活用したリツイートキャンペーンを実施し、事業の周知を図った。	参加プログラム数：291件	—	県内全域	—	再掲	重点施策5
市町村文化行政連絡会議	文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進するため、県内市町村と連携しながら取り組むことを目的とした会議を開催するもの。	県からの一方的な発信にならないよう、参加した各市町村からそれぞれの文化政策について発言をしていただき、情報共有を行っている。	34人	2024年2月19日	オンライン開催	—		重点施策5
(4) 景観の形成								
ア良好な景観の形成								
088「神奈川景観づくり基本方針」に基づく魅力ある景観づくりの推進								
景観計画策定等に係る意見交換会	神奈川景観づくり基本方針では、景観づくりを推進する上で市町村の役割の重要性から「全ての市町村が景観行政団体となるよう支援する」旨を定めており、未移行団体の町と意見交換を実施した。	—	7町1村	2024年1月24日～25日	WEB開催（ZOOM）	—		
089文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討								
文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討	文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県の関係部局及び県内市町村に周知した。	—	—	—	—	文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県の関係部局及び県内市町村に周知した。		
(1) 学校施設、公共施設の活用等								
ア公共施設等の活用								
090学校施設、公共施設の文化芸術活動の練習、稽古、発表の場としての活用								
マガル開放区	県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施した。	2022年10月より、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら再開。令和5年度は年間通して計28回実施。	出演者数：846人 参加者数：103,056人	4/9, 4/16, 4/23, 4/30, 6/11, 6/18, 6/25, 7/9, 7/16, 7/30, 8/6, 8/20, 9/2, 9/3, 10/1, 10/8, 11/5, 11/19, 12/3, 12/10, 12/24, 1/7, 1/28, 2/11, 3/3, 3/10, 3/17, 3/24	県庁前日本大通り	—	再掲	重点施策5
県立学校施設開放事業	県立学校の図書室・音楽室などの学習施設や、グラウンド・体育館などの体育施設を県民の学習・文化活動やスポーツ活動の場として提供した。	地域住民が利用しやすいよう、土曜日又は日曜日のいずれか半日以上を原則開放日として設定している。	学習施設：開放校数23校、利用人数2,973人 体育施設：開放校数138校、利用人数182,395人	通年	各県立学校	—		
(2) 県立文化施設の充実								
ア県立文化施設の機能の充実								
091県立文化施設（ホール、劇場等）の計画的な維持・保全・拡充								
県民ホール本館の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	県民ホール本館	ピンスポット修理工事など、27件の修繕・工事を実施した。		重点施策5
KAAT神奈川芸術劇場の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	KAAT神奈川芸術劇場	ホール吊物機構、舞台連絡設備改修（ITV・音声連絡設備）など、20件の修繕・工事を実施した。		重点施策5
県立音楽堂の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	音楽堂	バックヤード電動シャッター修理、電気錠バッテリー交換工事、ホール3階南階段モニター更新工事、3点吊りマイクワイヤー交換を実施した。		重点施策5
県立近代文学館の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等を実施した。	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	神奈川近代文学館	空調関連設備、電動書架などの修繕・工事を実施した。		重点施策5
青少年センターホール等の整備・改修	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設利用者への影響をなるべく少なくするように工夫しながら、改修工事を実施する。	—	通年	青少年センターホール等	ホール照明設備の更新、舞台用エレベーターの改修工事等を行った。		重点施策5

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
092施設の機能としての人材育成								
2023年度インターン(KAAT神奈川芸術劇場)	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。	劇場運営コースのインターンでは、KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の人魚姫』の公演事業に関わり、制作業務および当日運営について学んだ。舞台技術コースでは、実際の公演現場で技術スタッフの指導を受けながら実務作業を学び、劇場運営の就業体験を行った。	3人	2024年1月9日～2月17日	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	重点施策5
生徒を対象とした舞台技術研修	2021年度に新設された神奈川総合高校・舞台芸術科を対象とした講座を実施。教育課程カリキュラムの一環としたプログラムを提供する。	施設見学や芸術監督から直接話を聞くことで文化施設での業務全体を体験できるようにした。	①②のべ100人 ③30人 ④32人	①2023年7月14日 ②2023年7月26日～28日 ③2023年8月14日 ④2023年9月25日	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	重点施策5
制作広報インターン事業の実施	シリーズ「新しい視点」の『紅葉坂プロジェクト』『庄司紗夕香』を中心的題材に、制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを実施した。	「新しい視点」の一環として音楽堂公式アカウントでインターンによる広報SNS発信、公演や企画募集のチラシをどこに掲示するか等の広報計画作成を行った。また文化庁の助言もあり、人数を例年より増やした。	6人	2023年8月26日～9月29日	音楽堂	—	再掲	重点施策5
昭和音楽大学寄付講座	昭和音楽大学と連携し、劇場職員による講義を実施した。	学部の「芸術文化と社会Ⅱ」「芸術運営論Ⅱ」の講義を実施した。(2科目合同授業)	43人	2023年12月12日 2023年12月19日	昭和音楽大学	—	再掲	重点施策5
劇場体験インターン事業	公共ホールでの文化事業の実習として、音楽事業制作と施設運営の両面を学び・体験する事業を実施した。	公立文化施設における文化事業を学ぶため、座学で学んだうえで、制作の現場を体験する内容とした。	2人	2024年1月31日～2月27日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策5
大学等と連携した人材養成プログラム(県民ホール)	東京音楽大学と連携して、学生たちと教員が声楽、ピアノ、オルガンを案内する形で人材養成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材養成プログラムを実施した。	62人	2024年3月10日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策5
劇場運営マネジメント講座	県内の劇場・文化施設の施設利用担当者を主な対象とし、専門性を高く設定した人材養成講座を実施した。	①これからのインクルーシブ社会と公立文化施設の取組、 ②利用業務の能力をブラッシュアップする「基本を学びなおす」の2つの講座を実施した。	①28人 ②44人	①2024年2月29日 ②2024年3月27日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策5
オーディション事業(県民ホール)	県民ホールで実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材養成プログラムを実施した。	①25人 ②4人	①2023年4月29日 ②2023年8月30日	県民ホール本館	—	再掲	重点施策5
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	275人	2023年8月9日、10日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	—	再掲	重点施策5
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、荷台のニーズに合ったプログラム(ステージング)を加え、講習内容を充実させた。	中学生：629人 高校生：483人	中学校：2023年8月5日、6日 高等学校：2023年7月30日、31日	青少年センター	—	再掲	重点施策5
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先端的なワークショッププログラムを実施した。	参加者のうち希望者には講師が演出する公演にアンサンブルとして出演する機会を与えられることとした。	ダンス編30人	2024年2月13日～15日	青少年センター	プロの公演に参加するというかけがえのない体験機会となり、アンケートでは全員が「大変よかった」と回答した。	再掲	重点施策5
イ運営方法の点検等								
093施設利用者を対象としたアンケート調査の実施								
利用者満足度調査	来館者・貸館利用者・ホームページ閲覧者等を対象に満足度調査を実施した。	調査回答数を増やすため、期間を2カ月程度で実施。	—	2023年11月1日～12月31日	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂、各館ホームページ	—	—	—
094施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証								
神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会	3館一体による効率的な運営が行われているか、チェックするため、公募委員を含む6名により指定管理者が行う自主事業公演のモニタリングを行い、その内容について年1回会議を開催した。	—	—	2023年4月1日～2024年3月31日	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂等	—	—	—
095施設運営全般についてのモニタリングの実施								
行政によるモニタリング(月報、事業報告書、モニタリング結果報告、指定管理業務総括調査)	指定管理者に対して、県の行政管理課が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づくモニタリングを実施した。	—	—	月例報告書の確認：毎月 モニタリング結果報告書作成：年1回	—	—	—	—
(3)情報通信技術の活用								
ア情報の発信								
096ホームページ、SNS、ポータルサイト、電子メールを活用した文化芸術情報の提供の強化								
県立近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミック、ゲームとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展示紹介、資料紹介等に加え、文学者の誕生日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供した。	ホームページアクセス数(公式noteを含む)：343,391件 動画コンテンツ視聴数：計2,912件	通年	神奈川近代文学館ホームページ及びSNS	講演会の動画公開など新たにコンテンツを公開した。	再掲	重点施策5

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2023年度PV（ページビュー）数 551,370	通年	インターネット上	—	再掲	重点施策5
観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信した。	美術館等のスポット情報を掲載する。トップページ等にてイベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マグカル・ドット・ネット」と「観光かながわNOW」をリンクさせる。	—	通年	—	—	再掲	重点施策5
外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip—Kanagawa Travel Info—」から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Tokyo Day Trip—Kanagawa Travel Info—」と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	—	通年	—	—	—	重点施策5
県立金沢文庫における情報提供の実施	金沢文庫で開催する展覧会や講座などのイベントについて、金沢文庫HPやX（旧Twitter）で広報をおこなった。	展覧会の目玉となる作品や金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の作品紹介を定期的にX（旧Twitter）で紹介し、展覧会や金沢文庫の保管する資料の魅力伝えるよう発信した。	X（旧Twitter）発信件数：285件	—	—	—	再掲	重点施策5
県立近代美術館における情報提供の実施	参考資料を美術館ウェブサイトに掲載し、報道関係者にリンクをメールで配信した。また、X（旧Twitter）上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	参考資料の公開件数：13件 X発信数：522回	—	—	—	再掲	重点施策5
県立歴史博物館における情報提供の実施	HP（X（旧Twitter）含む）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	新聞等のマスメディアへの露出機会を増やすために、プレスリリース資料を個別に送付する等、きめ細やかな情報提供に努めた。また、インターネットを利用した動画の配信や新たな広報媒体の積極的な開拓・利用を行った。	695件 【内訳】 ・HP（Twitter含む）：432件 ・特等チラシ・ポスター：9件 その他：250件（新聞：96、雑誌：40、テレビ：7、ラジオ：4、WEB：93、その他：10） ・催し物のご案内：1件 ・博物館だより：3件	—	—	—	再掲	
097保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用								
県立金沢文庫における「国宝 金沢文庫文書データベース」の公開	金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の画像を、PCやスマートフォンで検索・閲覧できるデータベースを改良し、他の史料データベースとの連携を可能にして、利便性を向上させた。	より検索しやすいシステムに改良するとともに、公開件数を増加させた。	アクセス件数：35,568件	—	—	—	—	
イ利便性の向上								
098施設利用予約システムの運用								
施設予約システムの運用	公共施設利用予約の共同運営を実現するための神奈川電子自治体共同運営サービスを県と市町村が共同して提供する。	原則24時間どこからでもインターネットを通じて、県内公共施設の空き状況の照会や予約申込を行えるようにすることで、県民の利便性を向上させるとともに、職員側の施設予約管理に関する事務処理の効率化を図る。	2023年度利用件数 1,098,922件（県のみ） （内訳） ・抽選申込数 948,505件 ・予約申込数 150,417件	通年	—	—	—	
ウ文化芸術にかかわる資料、作品、情報等の保存								
099県立文化施設等における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進								
県立近代文学館における所蔵資料のデータベース化	所蔵資料（図書、雑誌、特別資料）のデータベース化は、利用者の利便性向上のために重要であることから、当年度もインターネット公開を進めた。	独自の入力項目等により、近代文学の専門館としてのデータ水準を維持している。	特別資料検索利用登録者：140人（累計2,781人）	通年	神奈川近代文学館	本年度の図書、雑誌、特別資料を合わせた電算化入力件数は12,738冊（件）となり、累計は1,290,351冊（件）となった。特別資料（原稿、自筆資料、書簡など）に関しては、新たに8,650件のデータがインターネットで検索可能となった。	—	
県立金沢文庫における「国宝 金沢文庫文書データベース」の公開	金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の画像を、PCやスマートフォンで検索・閲覧できるデータベースを改良し、他の史料データベースとの連携を可能にして、利便性を向上させた。	より検索しやすいシステムに改良するとともに、公開件数を増加させた。	アクセス件数：35,568件	—	—	—	再掲	
県立近代美術館における収蔵資料等のアーカイブ事業	開館以来の活動により蓄積された貴重な記録資料の整理・保存並びに提供ができる環境を整備した。	アーカイブ化した資料はインターネット上で公開を行っている。	公開件数：3,617件	—	—	—	—	

IV 施策事業の実施状況一覧

令和5年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立歴史博物館における博物館情報システムデータ整備	収蔵資料のデータベース化を推進した。	—	登録件数：22,269件	—	—	—	—	—
エ東京2020大会を契機とした取組								
100多言語による情報提供								
マグル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2023年度PV（ページビュー）数 551,370	通年	インターネット上	—	再掲	重点施策4、5
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「イベントカレンダー」を作成した。	毎月特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数 260,000部	年4回発行 6～8月号 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、商業施設等で配布	—	再掲	重点施策4、5
外国籍県民施策推進事業費	①多言語情報紙「こんにちは神奈川県」の作成 ②多言語による県民情報提供	記事や発行趣旨に合ったイラストを盛り込み、より適切な表現になるよう多言語の翻訳チェックを行い、外国籍県民等が手に取りやすい紙面の作成をしている。	6言語（日本語併記） 1回当たり20,300部発行 A4版4ページ。	①8月、11月、3月の年3回の発行 ②年間随時	①県機関、市町村、都道府県、国際関係協会・センター、医療機関等約800箇所 ②ホームページ上	—	—	重点施策4、5
外国語観光情報ウェブサイト多言語化・運用管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip—Kanagawa Travel Info—」から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Tokyo Day Trip—Kanagawa Travel Info—」と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	再掲	重点施策4、5
(4)文化芸術活動に対する支援の促進								
ア文化芸術活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進								
101寄付税制等に関する周知								
かながわキントラウ寄附金（ふるさと納税）	県のふるさと納税及びかながわキントラウブックキップの寄附メニューに文化事業のメニューとして「あらゆる人が文化芸術に触れ笑顔になれる社会を！」を掲載し、寄附を募った。	—	73人、6団体	通年	—	寄附総額 10,128,318円	—	—
102文化芸術団体への寄附の促進								
神奈川芸術文化財団への寄附の促進	神奈川芸術文化財団HPや主催公演プログラムに芳名一覧を掲載するとともに、募集告知を行い寄附を集めた。	チケット売場情報を掲載するメールマガジンにて小口寄附の募集を告知した。	賛助会員数 法人：47社 個人：18人 永年個人：3人	通年	—	個別協賛：7件 その他寄附：91件 広告協力：4社	—	—
県立近代文学館への寄附の促進「友の会」	神奈川近代文学館「友の会」は、近代文学館を積極的に利用していただく方に向けて、入館料無料、行事や刊行物の会員価格割引、会員限定行事の開催など、さまざまな事業を行った。	—	会員数：990人	—	—	会員数は新型コロナウイルス感染症に伴う休館等の影響から徐々に回復しつつある。	—	—
県立近代文学館への寄附の促進「神奈川近代文学館を支援する会」	「神奈川近代文学館を支援する会」は、法人、団体、事業主または個人を対象に近代文学館の広報や支援に協力いただくとともに寄附による税額控除を行っている。	—	会員数：105人(123口)	—	—	会員による支援によって、近代文学館の事業が充実するとともに、広報活動を幅広く行うことができた。	—	—
103メセナ企業等に関する情報の提供								
企業メセナ協議会の相談窓口	「助成認定制度」の相談窓口として周知や積極的な活用を促進した。	県民ホールの入り口でのプレートを設置やパンフレットの設置等を行った。	—	通年	—	公益財団法人企業メセナ協議会の準会員として、報告会等に参加し、情報収集を行う。	—	—
マグル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2023年度PV（ページビュー）数 551,370	通年	インターネット上	—	再掲	—
104メセナ企業と芸術家を結びつける方策の検討								
2023年度は実施しませんでした。								
(5)顕彰の実施								
ア顕彰の実施								
105神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施								
神奈川文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川県に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を贈呈した。2001年度に、神奈川文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設した。	県民を贈呈式に無料招待し、広く県民全体で受賞者への祝意を表すとともに、祝賀演奏において受賞者の方に演奏を盛り上げることができた。	1,354人	2023年11月3日	神奈川県民ホール大ホール	受賞者6人 (文化賞：4人、未来賞：2人)	再掲	—

V 進行管理のための参考指標等

1 総合計画「かながわグランドデザイン」における文化芸術の位置付け

総合計画は、県政運営の総合的・基本的指針として、神奈川の将来のあるべきすがたを描き、それに向けて県がどのような政策を展開するのか、県民の皆様にお示しするものです。

県では、2012年に「かながわグランドデザイン基本構想」及び「かながわグランドデザイン実施計画」を策定するとともに、2015年には「かながわグランドデザイン第2期実施計画」を策定し、様々な課題への対応を着実に進めてきました。

そして、2018年度に「第2期実施計画」が最終年度を迎えたことから、2025年を年次目標とした「基本構想」の実現に向けて、2019～2022年度の4年間に取り組む政策を示した「第3期実施計画」を策定しました。

第3期実施計画においては、5つの「めざすべき姿」を掲げ、重点施策を分野横断的にとりまとめた23のプロジェクトなどに着実に取り組むこととしています。文化芸術は「ひとのチカラを最大限に生かす神奈川」の実現を目指す柱Ⅳ「ひとのチカラ」のプロジェクト15「文化芸術～文化芸術の魅力で人を引きつけ、心豊かで活力ある地域の実現～」として位置付けられています。

また、超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、プロジェクトをさらに複合的に実施する取組を「神奈川の戦略」として8つの戦略をまとめており、神奈川の戦略6「マグネット・カルチャーの推進」として、文化芸術だけでなく各関連分野が有機的な連携を図りながら、「マグカル」の取組を推進することとしています。

なお、総合計画を補完する個別計画として「かながわ文化芸術振興計画」が位置付けられています。

プロジェクト15 文化芸術～文化芸術の魅力で人を引きつけ、心豊かで活力ある地域の実現～

文化芸術により真にゆとりと潤いを実感できる心豊かな県民生活と、活力に満ちた地域づくりの実現が求められています。特に、東京2020大会に向け、伝統芸能を含む文化芸術により地域のにぎわいを創出するとともに、その成果をレガシーとして、大会後もコミュニティの再生・活性化に生かしていくことが必要です。そこで、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグカル（マグネット・カルチャー）の取組のさらなる展開を図るとともに、笑いがあふれる社会の実現を後押しします。また、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで、あらゆる人の文化芸術活動の充実を図ることで、共生社会づくりに寄与するとともに、心豊かな県民生活の実現に向けて取り組みます。

指標

○ 県文化芸術事業参加者数

○ 神奈川県民ホール、神奈川芸術劇場、
県立音楽堂、かながわアートホール及び
神奈川近代文学館の利用者満足度

2018年度	1,514,142人
2019年度	1,590,900人
2020年度	470,453人
2021年度	846,262人
2022年度 (目標値)	1,259,423人 (1,694,000人)
2023年度	1,418,437人

2018年度	97%
2019年度	97%
2020年度	97%
2021年度	95%
2022年度 (目標値)	97% (97%)
2023年度	98%

V 進行管理のための参考指標等

具体的な取組

A 県民の文化芸術活動の充実

- 県内各地域の伝統的な文化芸術を次代に継承していくため、市町村との連携による地域の伝統芸能の発表の場を設け、県内外に発信していくとともに、技術・技能の継承者の育成に取り組みます。
- 年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで、あらゆる人が文化芸術に親しめるよう、鑑賞・参加機会を確保するとともに、年齢や障がいなどで異なる鑑賞・参加の手法などを整理し、文化芸術を通じた共生社会実現の環境づくりを進めます。
- 神奈川の文化芸術の将来を担う人材を輩出するため、県立施設などにおいて、あらゆる人を対象とした鑑賞事業、体験事業を実施していきます。特に、県立青少年センターではマグカルシアターなどの取組を軸として舞台芸術の裾野を広げるとともに、神奈川芸術劇場では国際的に通用する人材を育成する取組を推進します。

KPI（重要業績評価指標）※1	年度	目標値	実績値	進捗率
① 伝統芸能の体験・ワークショップ等の回数(回)	2018		12	
	2019	13	12	92.3%
	2020	13	1	7.6%
	2021	14	3	21.4%
	2022	14	20	142.8%
	2023	※2 —	17	—
② 共生共創事業の公演等の参加者数(人)	2018		2,532	
	2019	5,000	6,947	138.9%
	2020	5,400	4,267	79.0%
	2021	5,700	4,764	83.5%
	2022	6,000	8,152	135.8%
	2023	※2 —	8,969	—
③ マグカルシアター等参加者数(人)	2018		6,572	
	2019	10,000	7,252	72.5%
	2020	10,200	2,912	28.5%
	2021	10,400	6,083	58.4%
	2022	10,500	8,357	79.5%
	2023	※2 —	8,764	—

※1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業が中止等となったことで、実績値が目標値を下回った。

※2 第3期かながわグランドデザイン（2019－2022）に位置付けたKPIにおいては2023年度の目標値を設定していないため、参考として実績値のみ記載。

V 進行管理のための参考指標等

B 文化資源を活用した地域づくりの推進

- 文化資源を活用した地域づくりを進めるため、文化芸術の魅力を発信する文化プログラムについて、官民一体となったオール神奈川による展開と定着を図ります。特に東京2020大会を契機に、インバウンドも意識した展開を図り、その後もレガシーとして地域の継続的な活性化につなげます。
- 県内の文化資源の発掘に努め、その具体的な活用を進めます。また、地域の活性化などに活用可能な文化資源については、市町村、文化芸術団体、芸術家などとの連携により有効活用を図ります。

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 神奈川文化プログラム認証件数(件)	2018		425	
	2019	430	497	115.6%
	2020	460	486	105.6%
	2021	460	277	60.2%
	2022	460	605	131.5%
	2023	※2 —	554	-
② 県文化芸術振興審議会が選定した質の高い文化芸術活動を行う非営利活動団体数(団体)	2018		36	
	2019	37	38	102.7%
	2020	38	41	107.8%
	2021	39	50	128.2%
	2022	40	43	107.5%
	2023	※2 —	43	-

V 進行管理のための参考指標等

C 文化芸術の振興を図るための環境整備

- 地域からの持続的な文化芸術の振興が図られるよう、市町村との会議による情報交換や、市町村や文化芸術団体と協力した事業の実施や人材育成の支援に取り組みます。
- 県内外にマグカルファンが広がるよう、県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」による情報発信や「イベントカレンダー」の発行など、県内各地の文化芸術イベント情報の掲載に加え多言語対応を行うなど、積極的な情報発信を推進します。

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県立文化施設で育成した文化芸術を担う人材数(計画期間中の累計)(人)	2018		—	
	2019	145	85	58.6%
	2020	290	282	97.2%
	2021	435	556	127.8%
	2022	580	872	150.3%
	2023	※ ー	1,264	-
② 「マグカル・ドット・ネット」のページビュー数(PV)	2018		357,231	
	2019	364,600	398,712	109.4%
	2020	372,200	307,480	82.6%
	2021	379,800	414,764	109.2%
	2022	387,400	478,223	123.4%
	2023	※ ー	551,370	-

SDGsとの関係について

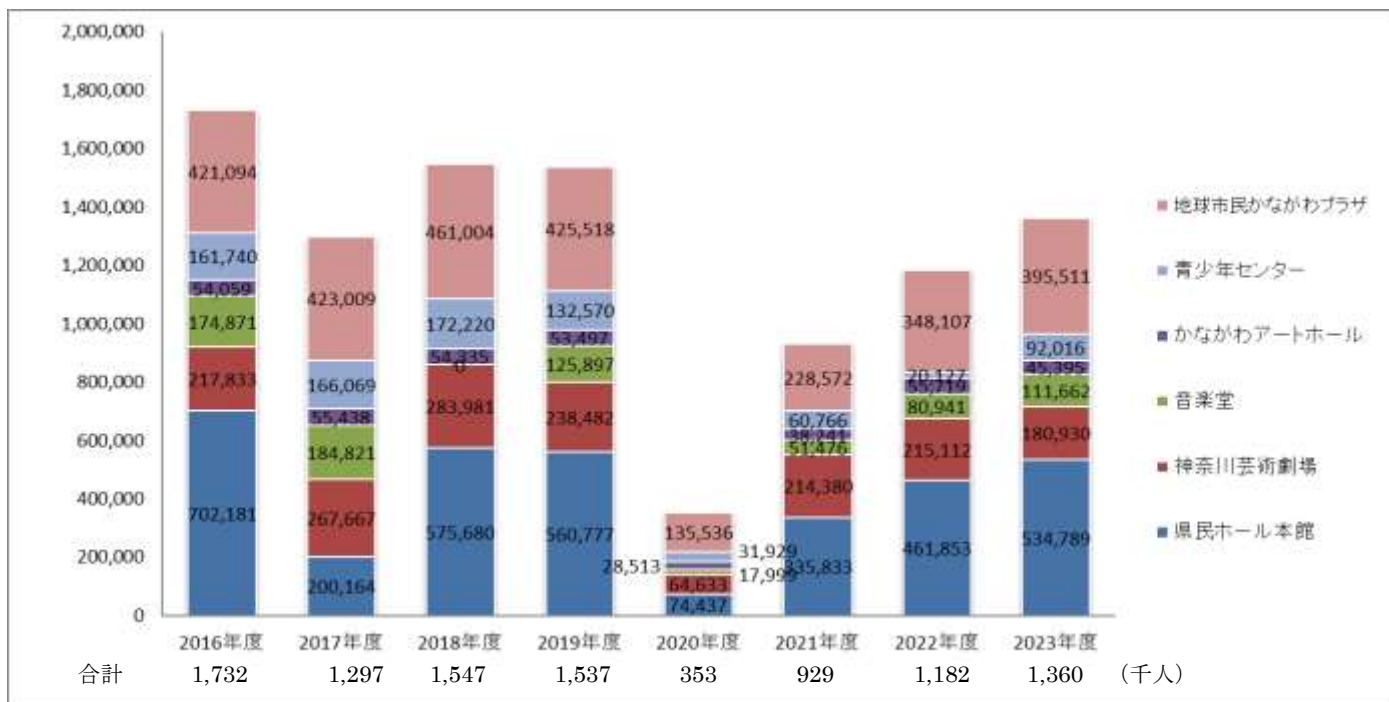
「第3期実施計画」では23のプロジェクトとSDGsの17のゴールとの関連を分析し、整理しています。プロジェクト15「文化芸術」は、ゴール3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール4「質の高い教育をみんなに」、ゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」に関連しています。



V 進行管理のための参考指標等

2 県立文化施設の利用者数

(1) ホール・劇場等



○休館期間

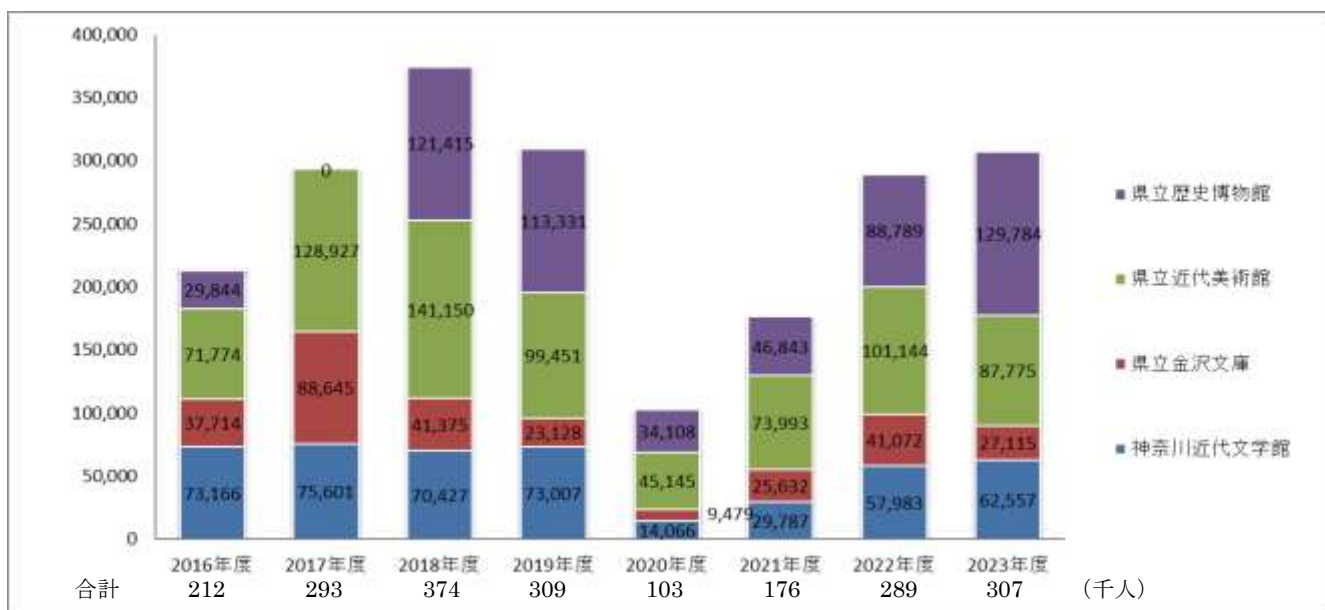
県民ホール本館：2013年12月2日から2014年9月30日、
2017年7月3日から2018年3月31日、
2018年4月1日から5月31日（大ホールのみ）
音楽堂：2018年4月1日から2019年5月31日

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る休館期間】

県民ホール本館：2020年4月7日から8月31日
2021年1月9日から10月24日（既に予約済みのものは除く）
KAAT 神奈川芸術劇場：2020年4月7日から7月13日
2021年1月9日から10月24日（既に予約済みのものは除く）
音楽堂：2020年4月7日から8月31日
2021年1月9日から10月24日（既に予約済みのものは除く）
かながわアートホール：2020年4月13日から6月19日
2021年1月9日から10月24日（既に予約済みのものは除く）
青少年センター：2020年4月7日から8月31日
2021年1月8日から10月24日（既に予約済みのものは除く）
地球市民かながわプラザ：2020年4月9日から5月31日
2021年1月9日から10月25日（既に予約済みのものは除く）

V 進行管理のための参考指標等

(2) 美術館・博物館等



※県立近代美術館：葉山館、鎌倉別館のこと

○休館期間等

県立金沢文庫：2019年11月18日から2020年3月26日

県立近代美術館

鎌倉別館：2016年2月1日から7月29日、

2016年12月26日から2017年3月31日

2017年9月4日から2019年10月11日

2020年7月6日から2021年9月30日

葉山館：2020年1月から6月（展示休止）

県立歴史博物館：2016年6月1日から2018年4月27日

神奈川県近代文学館：2021年12月1日から2022年3月31日

2023年1月31日から2月10日

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る休館期間】

神奈川県近代文学館：2020年3月4日から6月12日

2021年1月12日から3月19日

2021年3月20日から10月24日（事前予約した方に限り入館可能）

県立金沢文庫、県立近代美術館、県立歴史博物館：

2020年3月4日から6月8日

2021年1月12日から3月21日

2021年3月26日から10月25日（事前予約した方に限り入館可能）

2022年1月21日から3月21日（事前予約した方に限り入館可能）

V 進行管理のための参考指標等

3 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度

(1) 全県

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

質問項目	年度	生活重要度		生活満足度	
		重要	重要でない	満たされている	満たされていない
文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	2023	49.5%	14.2%	22.2%	24.4%
	2022	51.4%	14.4%	21.8%	22.3%
	2021	49.9%	14.9%	20.2%	24.0%
	2020	51.3%	12.2%	21.3%	22.0%
	2019	48.4%	14.4%	26.4%	19.5%
自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	2023	76.4%	2.3%	20.3%	35.0%
	2022	79.2%	2.8%	21.3%	35.4%
	2021	76.4%	3.3%	21.4%	36.2%
	2020	75.6%	3.5%	20.4%	31.3%
	2019	71.9%	5.1%	17.5%	33.6%
自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが行われること	2023	63.0%	6.1%	17.7%	18.0%
	2022	65.7%	6.8%	19.2%	18.0%
	2021	63.8%	6.5%	20.2%	18.0%
	2020	67.1%	5.6%	21.6%	17.1%
	2019	65.8%	4.9%	19.1%	16.7%

(2019、2020、2021、2022、2023 年度県民ニーズ調査)

V 進行管理のための参考指標等

(2) 地域別

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

「文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること」

重要性に関する意識

(人、%)

満足度

(人、%)

	全 体	非 常 に 重 要 で あ る	か な り 重 要 で あ る	ど ち ら と も い え な い	さ ほ ど 重 要 で な い	ま つ た く 重 要 で は な い	分 か ら な い	無 回 答
居住地域別	1,241 100.0	185 14.9	429 34.6	386 31.1	146 11.8	30 2.4	32 2.6	33 2.7
横 浜	499 100.0	80 16.0	188 37.7	140 28.1	55 11.0	9 1.8	16 3.2	11 2.2
川 崎	150 100.0	24 16.0	52 34.7	45 30.0	19 12.7	3 2.0	3 2.0	4 2.7
相模原	82 100.0	13 15.9	24 29.3	25 30.5	13 15.9	2 2.4	3 3.7	2 2.4
横須賀三浦	92 100.0	17 18.5	35 38.0	22 23.9	9 9.8	4 4.3	1 1.1	4 4.3
県 央	112 100.0	9 8.0	33 29.5	43 38.4	15 13.4	5 4.5	4 3.6	3 2.7
湘 南	188 100.0	29 15.4	54 28.7	71 37.8	24 12.8	4 2.1	5 2.7	1 0.5
県 西	60 100.0	9 15.0	20 33.3	17 28.3	7 11.7	2 3.3	-	5 8.3
無回答	58 100.0	4 6.9	23 39.7	23 39.7	4 6.9	1 1.7	-	3 5.2
性別	1,241 100.0	185 14.9	429 34.6	386 31.1	146 11.8	30 2.4	32 2.6	33 2.7
男 性	563 100.0	81 14.4	168 29.8	190 33.7	78 13.9	23 4.1	13 2.3	10 1.8
女 性	607 100.0	98 16.1	231 38.1	170 28.0	63 10.4	6 1.0	19 3.1	20 3.3
無回答	71 100.0	6 8.5	30 42.3	26 36.6	5 7.0	1 1.4	-	3 4.2
年代別	1,241 100.0	185 14.9	429 34.6	386 31.1	146 11.8	30 2.4	32 2.6	33 2.7
18～19歳	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	1 33.3
20歳代	51 100.0	12 23.5	17 33.3	11 21.6	4 7.8	2 3.9	2 3.9	3 5.9
20歳代以下	54 100.0	13 24.1	17 31.5	11 20.4	5 9.3	2 3.7	2 3.7	4 7.4
30歳代	116 100.0	35 30.2	30 25.9	26 22.4	22 19.0	1 0.9	2 1.7	-
40歳代	200 100.0	34 17.0	68 34.0	55 27.5	29 14.5	8 4.0	5 2.5	1 0.5
50歳代	289 100.0	47 16.3	95 32.9	86 29.8	37 12.8	13 4.5	7 2.4	4 1.4
60歳代	247 100.0	26 10.5	85 34.4	103 41.7	24 9.7	2 0.8	2 0.8	5 2.0
70～74歳	125 100.0	9 7.2	49 39.2	44 35.2	11 8.8	-	4 3.2	8 6.4
75歳以上	150 100.0	17 11.3	63 42.0	38 25.3	13 8.7	3 2.0	10 6.7	6 4.0
無回答	60 100.0	4 6.7	22 36.7	23 38.3	5 8.3	1 1.7	-	5 8.3

	全 体	十 分 満 た さ れ て い る	か な り 満 た さ れ て い る	ど ち ら と も い え な い	い あ ま り 満 た さ れ て い な い	ほ と ん ど 満 た さ れ て い な い	分 か ら な い	無 回 答
居住地域別	1,241 100.0	20 1.6	255 20.5	510 41.1	213 17.2	90 7.3	114 9.2	39 3.1
横 浜	499 100.0	10 2.0	132 26.5	186 37.3	86 17.2	27 5.4	44 8.8	14 2.8
川 崎	150 100.0	4 2.7	29 19.3	69 46.0	24 16.0	7 4.7	13 8.7	4 2.7
相模原	82 100.0	2 2.4	14 17.1	30 36.6	13 15.9	11 13.4	10 12.2	2 2.4
横須賀三浦	92 100.0	1 1.1	20 21.7	36 39.1	15 16.3	11 12.0	5 5.4	4 4.3
県 央	112 100.0	-	17 15.2	47 42.0	18 16.1	7 6.3	19 17.0	4 3.6
湘 南	188 100.0	2 1.1	27 14.4	88 46.8	32 17.0	19 10.1	18 9.6	2 1.1
県 西	60 100.0	1 1.7	6 10.0	22 36.7	18 30.0	6 10.0	2 3.3	5 8.3
無回答	58 100.0	-	10 17.2	32 55.2	7 12.1	2 3.4	3 5.2	4 6.9
性別	1,241 100.0	20 1.6	255 20.5	510 41.1	213 17.2	90 7.3	114 9.2	39 3.1
男 性	563 100.0	11 2.0	102 18.1	236 41.9	100 17.8	49 8.7	54 9.6	11 2.0
女 性	607 100.0	8 1.3	140 23.1	237 39.0	106 17.5	36 5.9	57 9.4	23 3.8
無回答	71 100.0	1 1.4	13 18.3	37 52.1	7 9.9	5 7.0	3 4.2	5 7.0
年代別	1,241 100.0	20 1.6	255 20.5	510 41.1	213 17.2	90 7.3	114 9.2	39 3.1
18～19歳	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	1 33.3
20歳代	51 100.0	1 2.0	12 23.5	20 39.2	6 11.8	3 5.9	8 15.7	1 2.0
20歳代以下	54 100.0	2 3.7	12 22.2	20 37.0	7 13.0	3 5.6	8 14.8	2 3.7
30歳代	116 100.0	8 6.9	30 25.9	38 32.8	18 15.5	6 5.2	15 12.9	1 0.9
40歳代	200 100.0	1 0.5	48 24.0	79 39.5	28 14.0	24 12.0	18 9.0	2 1.0
50歳代	289 100.0	2 0.7	58 20.1	118 40.8	48 16.6	28 9.7	29 10.0	6 2.1
60歳代	247 100.0	3 1.2	47 19.0	110 44.5	51 20.6	14 5.7	17 6.9	5 2.0
70～74歳	125 100.0	2 1.6	22 17.6	55 44.0	20 16.0	3 2.4	14 11.2	9 7.2
75歳以上	150 100.0	2 1.3	29 19.3	57 38.0	34 22.7	10 6.7	10 6.7	8 5.3
無回答	60 100.0	-	9 15.0	33 55.0	7 11.7	2 3.3	3 5.0	6 10.0

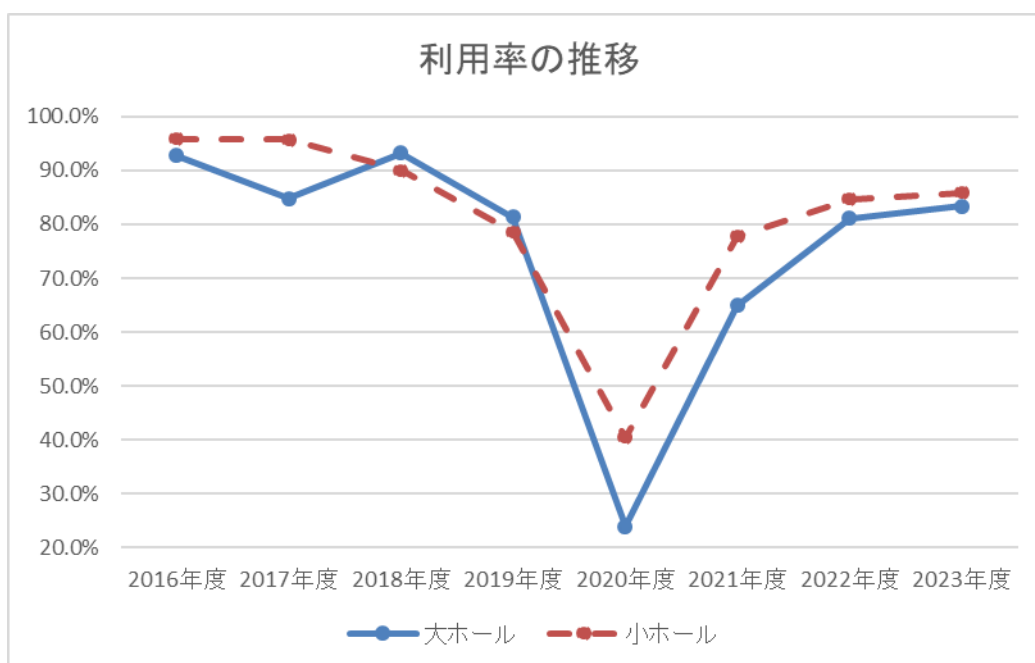
(2023年度県民ニーズ調査)

V 進行管理のための参考指標等

4 県立文化施設の利用率（ホール・劇場等）

（1）県民ホール本館

年度	大ホール			小ホール		
	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率
2016年度	333	309	92.8%	340	326	95.9%
2017年度	92	78	84.8%	93	89	95.7%
2018年度	282	263	93.3%	339	305	90.0%
2019年度	337	274	81.3%	341	268	78.6%
2020年度	297	71	23.9%	304	123	40.5%
2021年度	334	217	65.0%	338	263	77.8%
2022年度	322	261	81.1%	325	275	84.6%
2023年度	325	271	83.4%	325	279	85.8%

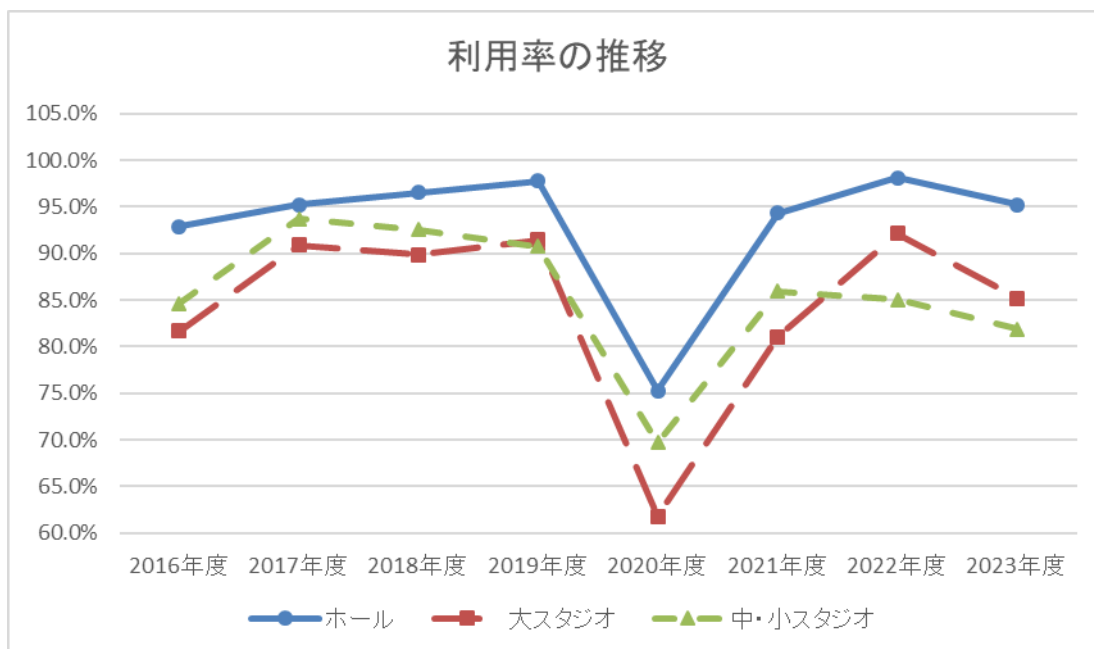


※ 2017年7月3日から2018年5月31日までの期間については、改修工事のため休館

V 進行管理のための参考指標等

(2) KAAT 神奈川芸術劇場

利用状況 年度	ホール			大スタジオ			中・小スタジオ		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2016年度	323	300	92.9%	333	272	81.7%	351	297	84.6%
2017年度	315	300	95.2%	330	300	90.9%	349	327	93.7%
2018年度	319	308	96.6%	336	302	89.9%	349	323	92.6%
2019年度	317	310	97.8%	340	311	91.5%	345	313	90.7%
2020年度	291	219	75.3%	306	189	61.8%	320	223	69.7%
2021年度	281	265	94.3%	338	274	81.1%	349	300	86.0%
2022年度	317	311	98.1%	319	294	92.2%	354	301	85.0%
2023年度	293	279	95.2%	324	276	85.2%	353	289	81.9%



V 進行管理のための参考指標等

(3) 音楽堂

利用状況 年度	ホール		
	利用可能日数 (日)	利用日数 (日)	利用率
2016年度	295	256	86.8%
2017年度	297	275	92.6%
2018年度	-	-	0.0%
2019年度	246	199	80.9%
2020年度	273	85	31.1%
2021年度	295	187	63.4%
2022年度	278	231	83.1%
2023年度	293	246	84.0%



※ 2018年4月1日から2019年5月31日までの期間については、改修工事のため休館

V 進行管理のための参考指標等

(4) かながわアートホール

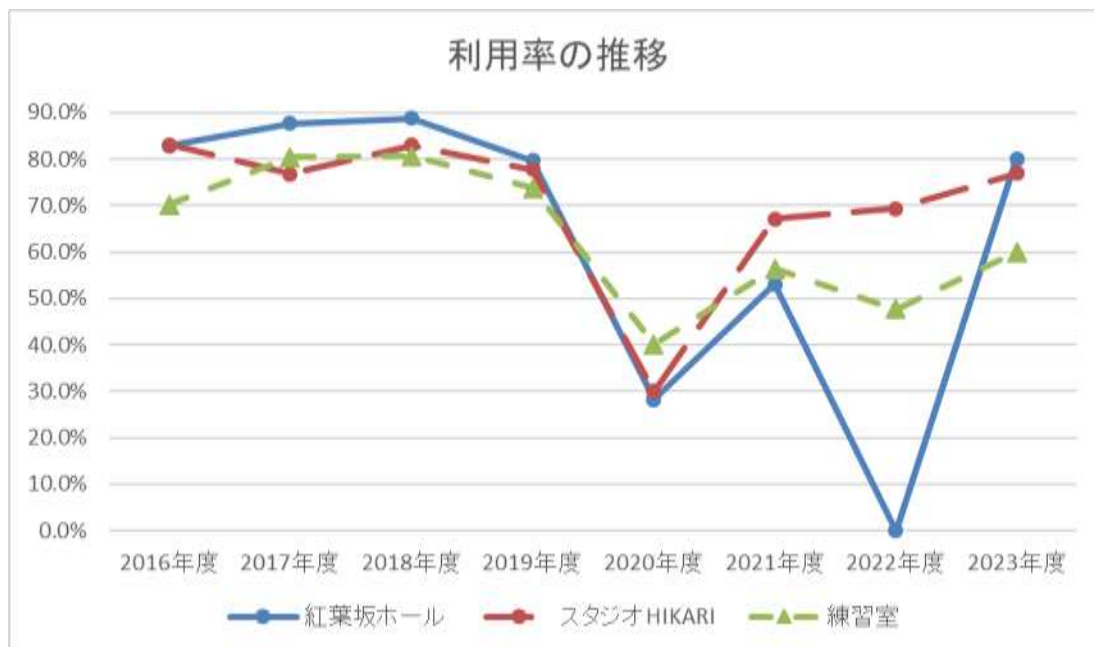
利用状況 年度	ホール			第1スタジオ			第2スタジオ			第3スタジオ			第4スタジオ			第5スタジオ		
	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率
2016年度	336	306	91.1%	344	338	98.3%	344	239	69.5%	344	279	81.1%	344	240	69.8%	344	292	84.9%
2017年度	332	297	89.5%	342	330	96.5%	342	242	70.8%	342	311	90.9%	342	261	76.3%	342	312	91.2%
2018年度	320	287	89.7%	344	335	97.4%	344	261	75.9%	344	327	95.1%	344	278	80.8%	344	322	93.6%
2019年度	338	301	89.1%	345	338	98.0%	345	269	78.0%	345	320	92.8%	345	293	84.9%	345	325	94.2%
2020年度	278	224	80.6%	279	255	91.4%	279	180	64.5%	279	222	79.6%	279	218	78.1%	279	227	81.4%
2021年度	335	292	87.2%	341	320	93.8%	341	243	71.3%	341	233	68.3%	341	222	65.1%	341	262	76.8%
2022年度	322	314	97.5%	340	340	100.0%	341	286	83.9%	342	297	86.8%	342	305	89.2%	341	303	88.9%
2023年度	203	195	96.1%	342	337	98.5%	341	268	78.6%	341	284	83.3%	342	311	90.9%	340	304	89.4%



V 進行管理のための参考指標等

(5) 青少年センター

利用状況 年度	紅葉坂ホール			スタジオHIKARI			練習室		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2016年度	297	246	82.8%	325	270	83.1%	335	235	70.1%
2017年度	301	264	87.7%	323	248	76.8%	321	258	80.4%
2018年度	302	268	88.7%	306	254	83.0%	294	237	80.6%
2019年度	295	235	79.7%	328	255	77.7%	247	182	73.7%
2020年度	291	82	28.2%	326	98	30.1%	279	112	40.1%
2021年度	292	155	53.1%	326	219	67.2%	259	146	56.4%
2022年度	-	-	0.0%	306	212	69.3%	239	114	47.7%
2023年度	201	161	80.1%	317	244	77.0%	250	150	60.0%



※ 「多目的プラザ」を、2019年3月から、「スタジオ HIKARI」としてリニューアルオープン

※ 「紅葉坂ホール」は、2022年度は、改修工事のため休館

V 進行管理のための参考指標等

(6) 地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）

利用状況 年度	プラザホール			映像ホール			多目的室			創作スタジオ			ワークショップ		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2016年度	342	197	57.6%	344	237	68.9%	359	322	89.7%	359	351	97.8%	359	341	95.0%
2017年度	340	220	64.7%	345	258	74.8%	359	327	91.1%	359	351	97.8%	359	335	93.3%
2018年度	340	224	65.9%	345	236	68.4%	359	332	92.5%	359	356	99.2%	359	348	96.9%
2019年度	340	207	60.9%	345	220	63.8%	360	311	86.4%	360	347	96.4%	360	339	94.2%
2020年度	292	72	24.7%	295	143	48.5%	306	187	61.1%	306	274	89.5%	306	244	79.7%
2021年度	350	194	55.4%	351	181	51.6%	359	304	84.7%	359	345	96.1%	359	342	95.3%
2022年度	350	243	69.4%	352	206	58.5%	359	335	93.3%	359	354	98.6%	359	351	97.8%
2023年度	337	210	62.3%	358	170	47.5%	360	319	88.6%	360	357	99.2%	360	352	97.8%



V 進行管理のための参考指標等

5 過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合

都道府県	標本数	推定人口	総数	スポーツ観 覧・観戦(テ レビ・ス マートフォ ン・パソコ ンなどは除 く)	美術鑑賞(テ レビ・ス マートフォ ン・パソコ ンなどは除 く)	演芸・演 劇・舞踊鑑 賞(テレビ・ スマート フォン・パ ソコンなど は除く)	映画館での 映画鑑賞	映画館以外 での映画鑑 賞(テレビ・DVD・パ ソコンなど)	コンサート などによる クラシック 音楽鑑賞	コンサート などによる ポピュラー 音楽・歌謡 曲鑑賞
		(千人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	171,360	112,462	86.3	14.5	11.4	6.7	29.8	52.7	3.9	5.9
北海道	5,175	4,614	85.4	15.5	8.8	4.6	23.3	51.7	3.9	5.6
青森県	3,243	1,090	78.6	11.9	8.4	3.2	21.1	43.5	1.9	3.4
岩手県	3,418	1,075	82.9	13.2	8.9	4.5	19.2	45.1	3.8	4.5
宮城県	3,399	2,065	87.0	19.2	9.2	6.4	29.0	51.6	3.8	5.5
秋田県	3,515	849	82.1	15.0	9.0	4.4	21.9	46.6	3.3	3.6
山形県	3,665	944	82.4	13.1	10.9	4.5	27.1	46.2	4.1	4.3
福島県	3,601	1,632	81.5	11.2	9.8	3.5	21.2	46.7	2.5	3.5
茨城県	3,451	2,572	85.3	12.1	8.5	3.8	28.6	50.2	2.9	3.1
栃木県	3,523	1,730	83.9	13.4	7.1	3.9	25.9	47.7	2.7	3.9
群馬県	3,587	1,724	85.2	11.6	8.7	4.2	27.9	51.0	4.0	4.5
埼玉県	6,153	6,622	88.4	14.7	9.4	7.6	32.8	55.6	4.2	6.4
千葉県	4,670	5,670	87.0	13.7	8.7	6.3	31.6	53.8	3.3	6.3
東京都	3,496	12,724	91.4	15.1	17.8	12.6	37.4	62.4	6.2	8.3
神奈川県	5,273	8,344	89.2	15.2	12.3	7.8	34.4	58.8	4.8	7.9
新潟県	3,606	1,955	84.0	13.7	12.5	4.5	26.6	49.1	2.9	5.1
富山県	3,584	922	82.6	14.0	13.1	5.8	30.9	48.0	4.2	4.6
石川県	3,365	997	86.2	12.7	13.4	5.6	30.5	50.1	4.2	5.2
福井県	3,538	677	85.2	12.4	13.8	4.8	31.3	50.8	4.6	5.0
山梨県	3,216	725	83.1	14.5	12.1	5.4	24.9	47.5	4.1	5.3
長野県	3,569	1,824	84.8	14.3	11.7	5.9	26.0	48.2	4.1	5.1
岐阜県	3,764	1,764	84.9	11.0	8.7	5.2	27.3	48.2	2.9	4.2
静岡県	3,822	3,241	85.1	13.1	10.5	5.1	27.5	50.0	3.8	4.5
愛知県	6,028	6,728	89.3	16.0	12.1	6.8	33.5	56.3	3.9	6.7
三重県	3,524	1,574	84.2	12.2	8.4	5.1	27.9	48.9	2.4	5.5
滋賀県	3,445	1,261	86.4	14.1	11.1	5.2	29.1	50.7	3.1	4.3
京都府	2,845	2,311	85.6	15.2	15.4	8.8	30.3	53.1	4.4	7.6
大阪府	4,520	7,913	86.7	14.7	11.7	8.2	33.5	54.0	3.8	7.7
兵庫県	4,512	4,871	85.4	13.9	12.4	6.4	27.6	51.2	4.5	5.9
奈良県	3,305	1,183	86.2	13.3	12.1	6.7	28.3	51.1	3.2	6.1
和歌山県	3,214	816	83.3	11.9	8.1	3.8	25.0	46.3	2.8	3.8
鳥取県	3,444	484	81.7	12.0	12.5	4.4	23.0	44.7	2.8	3.4
島根県	3,420	586	82.5	12.5	9.8	4.6	23.3	44.6	3.2	3.7
岡山県	3,284	1,666	85.0	12.4	11.2	4.3	23.9	48.8	3.6	4.1
広島県	3,406	2,474	85.1	22.9	11.4	5.5	29.9	49.9	3.8	5.3
山口県	3,146	1,177	83.9	12.4	8.7	3.7	22.7	46.4	2.6	3.4
徳島県	3,088	632	80.6	12.1	7.2	4.0	23.3	43.7	2.0	3.0
香川県	3,143	837	82.9	11.5	9.3	4.2	25.5	46.9	3.2	3.8
愛媛県	3,347	1,178	84.3	13.0	8.8	3.9	23.1	48.9	2.2	3.3
高知県	2,837	606	81.7	10.8	9.9	3.5	24.2	47.6	2.2	4.3
福岡県	4,383	4,509	85.8	17.4	11.1	7.1	31.1	52.8	3.5	6.1
佐賀県	3,427	703	82.1	13.6	10.3	5.4	25.7	45.0	3.7	4.4
長崎県	3,096	1,135	79.7	13.0	8.9	3.6	20.9	43.6	2.7	3.5
熊本県	3,420	1,511	84.1	15.3	9.6	5.4	29.6	47.8	2.9	5.1
大分県	3,100	979	82.3	17.1	12.8	5.4	25.2	45.2	3.6	4.4
宮崎県	3,084	928	81.6	13.7	9.7	4.2	20.8	44.3	3.9	3.9
鹿児島県	3,002	1,377	81.0	13.3	8.7	4.0	24.2	45.3	2.6	4.3
沖縄県	2,707	1,263	80.0	14.1	6.4	3.5	22.5	48.4	2.3	2.4

V 進行管理のための参考指標等

都道府県	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	楽器の演奏	邦楽(民謡、日本古来の音楽を含む)	コーラス・声楽	カラオケ	邦舞・おどり	洋舞・社交ダンス	書道	華道	茶道
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	53.5	10.2	3.0	1.7	13.5	1.0	1.1	3.4	1.3	0.8
北海道	51.9	9.5	2.7	1.3	14.8	1.0	0.9	3.0	1.0	0.7
青森県	43.4	5.5	2.7	1.0	10.9	1.0	0.7	2.2	1.0	0.5
岩手県	46.0	7.1	2.7	2.1	11.2	1.1	0.7	3.2	1.4	0.9
宮城県	54.1	9.8	2.9	1.5	13.0	0.8	0.7	3.0	0.9	0.5
秋田県	45.1	6.9	2.5	1.3	11.8	1.0	0.6	2.7	1.5	0.9
山形県	45.0	7.5	2.9	1.8	12.5	0.8	0.8	3.5	1.9	1.0
福島県	47.7	7.3	2.7	1.5	11.1	1.0	0.9	2.5	1.1	0.7
茨城県	50.3	8.5	2.4	1.2	12.0	0.6	1.2	3.7	1.2	0.8
栃木県	48.9	8.5	2.1	1.3	12.6	0.6	1.1	2.7	0.9	0.5
群馬県	52.0	8.7	2.4	1.5	13.3	0.9	1.2	3.2	1.2	0.7
埼玉県	56.3	11.2	2.9	1.9	13.0	0.7	1.4	3.9	1.2	0.5
千葉県	55.4	9.9	3.2	1.5	12.5	1.1	1.1	2.8	0.9	0.6
東京都	64.4	14.5	3.5	2.1	16.1	1.5	1.7	3.0	1.0	0.8
神奈川県	59.5	12.1	3.2	2.2	14.0	0.9	1.6	3.4	1.0	0.9
新潟県	48.2	8.0	2.7	1.4	12.1	0.8	1.0	3.7	1.4	0.7
富山県	44.3	8.6	2.2	1.2	11.2	0.9	0.8	3.0	1.5	1.3
石川県	51.0	8.5	2.8	0.9	12.3	0.8	0.6	3.5	2.0	1.2
福井県	49.3	8.8	3.1	1.4	12.7	1.3	0.9	3.5	1.5	1.1
山梨県	47.8	9.6	2.9	1.6	12.3	0.9	0.8	3.9	1.4	0.8
長野県	49.0	9.7	2.3	2.1	14.0	0.8	1.0	3.7	2.0	0.7
岐阜県	48.4	8.5	2.6	1.6	11.8	0.8	0.9	3.9	1.7	1.1
静岡県	50.1	9.7	3.0	1.9	12.8	1.3	1.0	2.8	1.6	0.8
愛知県	57.1	11.2	3.2	1.6	14.9	1.0	1.1	4.1	1.3	0.9
三重県	49.1	8.3	2.5	1.5	12.5	1.2	1.0	3.8	1.4	1.1
滋賀県	52.8	10.3	2.9	1.5	14.1	0.9	0.9	3.8	1.8	0.9
京都府	53.7	11.4	3.3	1.7	13.4	0.9	1.3	3.5	1.7	1.2
大阪府	54.2	10.0	3.4	1.3	14.6	0.8	1.1	3.3	1.2	0.7
兵庫県	52.7	10.1	2.6	1.9	11.7	0.7	0.8	4.0	1.5	0.8
奈良県	51.1	10.4	2.5	1.8	12.9	0.8	0.9	3.9	1.9	1.3
和歌山県	45.8	8.3	2.9	1.1	13.0	0.8	1.2	3.6	1.8	1.0
鳥取県	47.1	9.1	2.1	1.5	12.3	1.2	1.2	3.3	1.5	1.1
島根県	45.4	8.4	2.4	1.5	12.5	1.0	0.6	2.9	2.1	1.2
岡山県	51.2	9.2	2.2	1.6	11.2	0.9	0.8	3.5	1.7	1.1
広島県	51.3	9.0	3.4	1.9	14.4	1.2	0.9	3.6	1.3	1.3
山口県	47.6	9.0	2.4	1.5	12.2	0.6	1.1	3.5	1.7	1.2
徳島県	44.3	7.7	1.5	1.1	9.8	0.8	0.5	3.2	1.5	0.9
香川県	47.6	8.2	2.5	1.7	13.7	1.2	0.8	4.2	1.8	1.0
愛媛県	48.2	7.4	2.1	1.4	14.0	0.7	0.7	2.8	1.3	0.7
高知県	45.7	8.6	2.5	0.9	12.0	1.3	0.7	2.9	1.1	0.6
福岡県	52.5	8.6	3.5	1.4	13.9	1.2	1.6	3.0	1.2	1.1
佐賀県	46.8	7.8	2.8	1.6	12.2	1.0	0.8	4.5	1.3	0.8
長崎県	44.3	7.1	2.2	1.7	12.0	1.2	0.9	3.8	1.1	0.7
熊本県	48.3	8.5	2.0	1.6	14.6	0.9	0.8	3.9	1.2	0.7
大分県	47.5	6.7	2.9	1.1	11.3	0.8	0.6	3.3	1.1	0.6
宮崎県	47.1	8.5	2.7	2.0	12.7	1.1	0.6	3.3	1.4	0.6
鹿児島県	45.7	8.9	2.7	1.6	15.0	1.5	1.0	4.0	1.3	0.5
沖縄県	49.2	10.2	5.5	1.1	13.4	1.1	0.9	3.9	0.7	0.5

V 進行管理のための参考指標等

都道府県	和裁・洋裁	編み物・手芸	趣味としての料理・菓子作り	園芸・庭いじり・ガーデニング	日曜大工	絵画・彫刻の制作	陶芸・工芸	写真の撮影・プリント	詩・和歌・俳句・小説などの創作	趣味としての読書（マンガを除く）
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	5.5	8.8	19.0	26.0	11.0	3.4	1.6	21.9	2.2	31.6
北海道	5.9	10.7	18.7	27.0	12.4	3.1	1.3	21.2	1.8	29.4
青森県	4.1	8.3	13.9	24.4	10.3	1.7	0.9	14.6	1.5	22.7
岩手県	5.7	10.5	17.5	28.8	12.9	2.6	1.6	18.2	1.6	25.3
宮城県	5.2	9.2	20.2	27.3	11.4	2.5	1.8	21.5	2.7	33.0
秋田県	5.8	9.6	17.5	26.9	12.7	2.1	1.1	15.9	1.2	24.6
山形県	5.7	9.3	17.1	29.1	11.3	2.6	1.9	17.8	1.9	25.2
福島県	4.3	8.2	16.0	27.6	11.4	2.3	1.4	17.0	2.1	25.2
茨城県	4.8	7.9	18.8	32.2	13.0	3.4	1.4	22.2	1.8	29.3
栃木県	4.7	7.4	16.7	29.4	11.1	2.9	1.7	19.3	1.6	25.8
群馬県	5.0	7.9	17.5	32.8	11.6	3.2	1.7	21.7	2.1	27.5
埼玉県	6.1	9.1	19.4	28.2	11.8	3.5	1.4	23.6	2.0	34.4
千葉県	6.2	9.2	19.3	26.0	10.5	3.4	1.4	22.4	2.4	33.7
東京都	5.9	8.4	21.9	22.3	9.6	4.5	2.1	27.2	3.5	43.4
神奈川県	6.3	9.7	20.6	25.7	10.7	4.0	1.9	26.7	2.5	38.7
新潟県	5.4	8.3	17.5	28.5	10.9	3.1	1.1	19.0	1.9	28.2
富山県	4.3	7.7	16.1	25.1	11.4	2.5	1.1	18.3	1.7	26.3
石川県	4.9	8.1	18.2	25.2	9.8	2.9	1.7	18.1	1.8	28.3
福井県	4.8	7.6	18.4	25.7	11.1	3.0	2.1	19.2	1.8	27.0
山梨県	4.9	9.1	18.8	29.6	11.5	3.9	1.6	19.2	2.8	28.3
長野県	5.3	8.9	20.1	32.3	12.2	3.1	1.7	19.8	2.6	30.3
岐阜県	4.9	7.8	17.8	27.6	12.2	2.9	1.4	18.5	2.0	25.1
静岡県	5.8	9.5	18.5	28.4	10.8	3.7	1.7	21.0	2.2	29.3
愛知県	6.2	8.8	20.1	26.4	10.9	3.5	2.0	23.8	1.6	31.0
三重県	5.3	8.5	18.4	28.4	12.1	3.0	1.7	20.0	1.6	26.8
滋賀県	5.5	9.2	20.1	27.8	13.6	3.9	2.1	21.8	2.1	29.1
京都府	6.1	9.3	19.5	24.8	10.6	4.4	2.0	23.5	3.1	33.4
大阪府	5.2	9.1	19.3	19.5	10.0	3.5	1.4	21.2	1.9	31.8
兵庫県	5.9	9.7	19.2	24.1	11.2	3.7	2.0	21.1	1.9	30.8
奈良県	5.4	9.1	18.6	28.4	10.9	3.8	1.8	21.4	2.0	31.3
和歌山県	5.2	7.6	16.2	28.6	12.0	3.0	1.7	17.8	1.7	23.9
鳥取県	4.9	8.3	18.6	26.0	10.0	3.1	1.0	17.7	1.9	27.1
島根県	4.4	8.7	16.7	28.9	11.8	2.7	1.7	17.1	2.0	27.1
岡山県	5.4	9.5	20.0	30.1	11.4	3.0	1.5	20.0	2.0	27.1
広島県	4.9	8.4	18.3	25.1	12.5	3.5	1.2	21.0	2.1	28.0
山口県	5.6	9.0	16.1	28.3	10.3	3.0	1.3	19.1	1.9	25.8
徳島県	5.2	8.3	17.2	27.6	10.7	2.5	0.9	16.0	1.6	24.4
香川県	4.9	7.9	17.5	27.4	9.9	3.3	1.1	18.0	2.0	27.0
愛媛県	4.1	7.9	17.1	28.7	10.9	2.3	1.0	18.9	2.4	26.3
高知県	4.9	8.1	15.6	26.0	10.3	2.4	1.3	16.9	1.6	24.4
福岡県	5.1	8.2	18.9	23.1	9.3	3.2	1.5	21.2	2.0	29.3
佐賀県	5.4	8.3	17.6	27.6	11.3	3.2	1.3	18.9	1.5	23.9
長崎県	5.0	7.5	15.7	26.1	10.5	2.5	1.2	16.6	1.5	24.1
熊本県	5.4	8.6	17.2	29.2	12.0	3.0	0.8	21.3	1.6	25.8
大分県	4.5	6.8	16.5	26.4	9.3	2.7	1.3	17.5	1.5	25.0
宮崎県	4.9	6.8	16.3	28.1	11.9	3.0	1.4	18.6	1.6	23.9
鹿児島県	5.3	8.7	17.9	28.9	12.5	2.6	1.8	19.6	1.9	26.4
沖縄県	4.2	6.7	16.1	20.2	12.1	2.7	0.8	15.9	1.3	23.9

V 進行管理のための参考指標等

都道府県	マンガを読む	囲碁	将棋	パチンコ	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	遊園地、動物園、水族館などの見物	キャンプ	その他
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	36.8	0.9	3.0	6.3	42.9	19.0	6.0	3.7
北海道	35.5	0.7	2.7	7.8	44.2	16.3	9.1	3.8
青森県	29.3	0.8	2.2	7.6	34.4	10.7	5.3	2.5
岩手県	31.3	0.9	2.2	8.0	36.9	8.2	3.7	2.8
宮城県	38.9	0.9	2.7	7.5	42.5	17.9	6.2	3.2
秋田県	29.9	0.5	1.4	6.7	33.7	14.6	4.0	3.1
山形県	32.7	0.6	2.2	6.9	35.8	12.6	5.9	2.9
福島県	34.3	0.8	2.6	7.0	37.4	13.0	4.7	2.9
茨城県	34.7	0.8	2.7	6.0	41.2	17.4	4.9	3.6
栃木県	33.0	0.6	2.6	6.2	40.5	18.5	5.2	3.2
群馬県	34.8	1.1	2.6	5.4	40.1	16.5	4.8	2.5
埼玉県	38.8	1.0	3.4	5.5	44.0	18.5	6.3	4.4
千葉県	36.8	1.0	2.9	5.2	43.7	19.1	5.8	3.6
東京都	43.2	1.1	3.6	4.4	48.3	23.7	6.7	5.0
神奈川県	41.2	0.9	3.2	5.2	47.9	24.0	6.8	3.9
新潟県	35.1	1.1	3.1	5.3	38.3	16.7	5.1	4.1
富山県	32.7	0.8	2.5	6.5	36.6	16.6	4.3	3.7
石川県	38.6	0.5	2.8	8.1	42.5	14.7	4.6	3.8
福井県	35.1	0.7	2.9	7.9	39.9	14.8	5.0	3.9
山梨県	32.1	1.0	3.3	5.9	36.8	14.7	6.0	3.0
長野県	34.6	1.1	2.4	5.8	36.9	13.4	5.8	3.3
岐阜県	33.9	0.8	2.0	7.8	41.8	15.5	5.4	3.6
静岡県	36.5	1.0	3.3	6.6	42.8	16.7	5.6	3.7
愛知県	40.2	1.0	3.4	7.9	48.4	25.5	8.9	4.2
三重県	34.6	0.7	3.3	7.9	41.1	15.0	4.7	3.6
滋賀県	37.1	0.4	3.0	5.7	43.9	16.9	7.3	3.7
京都府	37.2	1.0	3.2	4.7	43.2	23.9	5.8	3.3
大阪府	38.2	0.9	3.4	8.0	45.7	22.1	5.5	3.7
兵庫県	34.8	1.1	3.0	5.1	41.9	19.0	5.4	3.2
奈良県	32.9	1.0	2.8	4.6	42.4	18.0	5.7	3.4
和歌山県	30.9	0.8	2.3	7.4	37.7	16.3	5.2	3.3
鳥取県	30.8	1.0	3.1	6.8	34.2	10.5	4.2	3.3
島根県	32.3	1.0	3.3	7.6	35.6	12.2	3.6	2.8
岡山県	33.5	1.1	3.4	5.9	39.8	15.0	5.6	3.3
広島県	34.9	0.7	2.5	6.8	41.1	16.3	6.8	3.3
山口県	31.8	0.9	2.1	6.7	37.6	16.1	4.3	3.2
徳島県	32.1	0.7	3.3	5.3	37.3	12.2	4.1	2.9
香川県	33.6	1.0	3.8	6.5	39.6	17.6	4.7	2.8
愛媛県	34.4	0.6	2.6	6.8	39.4	13.2	3.8	2.8
高知県	32.5	1.0	2.8	7.7	37.2	18.1	6.5	2.9
福岡県	36.6	1.1	2.4	6.6	42.5	19.5	6.0	4.2
佐賀県	31.7	0.7	2.8	8.6	36.8	16.4	5.4	3.0
長崎県	29.7	1.3	3.0	7.3	34.9	13.0	3.3	2.7
熊本県	33.1	0.8	2.6	8.2	38.2	17.1	6.5	2.9
大分県	30.9	1.0	2.8	7.4	36.0	16.4	4.7	2.3
宮崎県	29.5	0.8	2.2	8.4	35.9	13.4	5.3	2.5
鹿児島県	31.7	0.7	2.7	8.6	35.2	16.0	6.6	2.4
沖縄県	33.0	0.8	2.1	3.6	36.5	13.7	4.1	2.1

「令和3年『社会生活基本調査』都道府県、趣味・娯楽の種類別行動者率（10歳以上）」

のデータを加工して作成

令和3年 社会生活基本調査 調査対象 全国約9万1千世帯の10歳以上の世帯員（第1次抽出単位を国勢調査調査区とし、第2次抽出単位を世帯とする層化2段抽出法）
 調査期日 令和3年10月20日（5年ごと）
 調査方法 調査員による調査票の配布及び収集

VI 年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）

県の文化芸術振興の総合的な目標等を定めた「かながわ文化芸術振興計画（計画期間：2019年度～2023年度）」において、「重点施策」及び「基本的な施策」に位置付けた各事業の実施状況を取りまとめたものとして、2024年8月27日開催の第36回審議会において、県から報告を受けたところである。

当審議会として報告を受けた内容について審査を行い、課題等について、次のとおり意見を述べ、この年次報告のまとめとする。

- **△△△△について**
～と考える。

- **△△△△について**
～の必要がある。

- **△△△△について**

- **△△△△について**